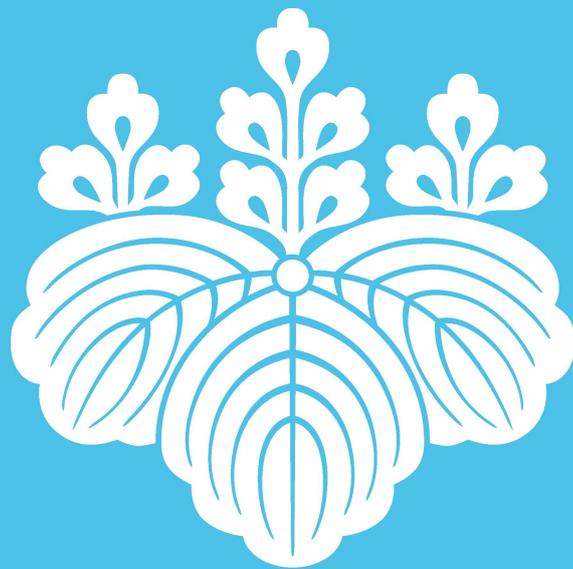


韻 報

第 36 号



2021 ~ 2022

筑波大学 陸上競技部

筑波大学陸上競技部 部報第36号

—目次—

1. 挨拶

部長	尾縣 貢	-----	1
副部長	大山 圭悟	-----	2
副部長	谷川 聡	-----	3
監督	榎本 靖士	-----	4
コーチ	宮崎 明世	-----	5
コーチ	木越 清信	-----	6
コーチ	弘山 勉	-----	7
コーチ	前村 公彦	-----	8
アシスタントコーチ	中野 美沙	-----	9
アシスタントコーチ	武井 隼児	-----	10
アシスタントコーチ	大林 太朗	-----	11
アシスタントコーチ	山田 里美	-----	12
アシスタントコーチ	木路 修平	-----	13
主将	兵藤 秋穂	-----	14
副主将	小林 裕季	-----	14
副主将	吉岡 美玲	-----	15
主事	木塚 宙敬	-----	15
主事	田中 彩菜	-----	16
2.	令和3/令和4年度 筑波大学陸上競技部 役員	-----	17
3.	令和3/令和4年度 筑波大学陸上競技部 役員(部員)	-----	21
4.	筑波大学陸上競技部 組織図	-----	22
5.	令和3年度 対校戦全成績	-----	23
6.	令和3年度 個人記録集	-----	28
7.	筑波大学 歴代10傑	-----	46
8.	特集		
	全日本女子駅伝・富士山女子駅伝への挑戦	-----	50
	インカレ優勝者コメント	-----	54
	写真集	-----	58
9.	令和3年度 表彰選手	-----	63
10.	令和3年度 事業報告	-----	64
11.	令和4年度 事業計画	-----	65
12.	令和3年度 決算報告	-----	66
13.	令和4年度 予算	-----	79
14.	筑波大学陸上競技部 規約・諸規程	-----	92
15.	筑波大学陸上競技部 会計内規	-----	101

挨拶

陸上競技を続けることの意義



筑波大学陸上競技部
部長 尾縣 貢

故郷に帰省するといつも走る道があります。段々になった田畑、それを縫うように延びる畦道。中学時代は、ここが私の練習の場でした。野球部に所属していましたが、体育の授業で初めて跳んだハードルのリズムに魅了され、野球部の練習の無い日には、手製の竹のハードルを畦道に並べて跳んでいました。いつも新しい発見があり、好奇心が絶えることなく、この畦道に通いました。高校では陸上競技を選びました。行き詰まった時には、この畦道は原点回帰の場となりました。大学に進み、ハードルでは勝たなくなり、挫折感を味わいながらもがくように畦道を走ったこともありました。そして、大学途中で始めた十種競技に新たな面白さを見つけました。しかし、頂点に立った後には最初の頃のワクワク感が消えて、重圧を感じるようになり、安らぎを求めて畦道を走ったこともありました。大好きでしかたなかった陸上競技が重荷になったり悩みの種に変わったり、その時その時で畦道の風景の見え方が違っていました。

一つのことを最初の心持ちで継続することは簡単なことではありません。どんなに好きなことでも続けることが嫌になったり、止めたくなることもあるものです。部員の皆さんは、今、陸上競技にどのような思いを持って取り組んでいるでしょうか。決して前向きに取り組んでいる人ばかりではないはずです。しかし、これも人生の中で生じる波の一つであり、心持ちを変えながら向き合うことで新たな感情が芽生えることもあります。迷いや悩みがある人は、皆さんの陸上競技の原風景を思い出してみると、心の重荷が降り、身体まで軽くなることもあります。

そもそも皆さんが大学や大学院で陸上競技を続けることができること自体が幸せであり、多くの人たちに支えられて今があることを忘れてはなりません。数々の支えに対して心からの「感謝」の気持ちが持てれば、それは向上心や競技

を継続するエネルギーを生み出してくれると思います。そのエネルギーを持って皆さんがそれぞれのステージで生き生きと活動することで、周りの人たちに感謝の気持ちを表現することができるはずです。そして、部員一人一人が同じような心持ちになれば、陸上競技部という集団は強くなることでしょう。

実は、私も「感謝」という感情がもたらす強い力を東京オリンピックパラリンピックに臨んだアスリートたちから教えてもらいました。この言葉は多用すると薄っぺらくなりがちですが、東京オリパラで多くのアスリートの口から出た「感謝」の言葉は、全てが温かく心のこもったものでした。それは、スポーツができることの喜び、そして支えてくれた人たちへの素直な感情の表現だったと思います。ご存知のように2020年3月24日オリンピック延期が決定し、スポーツ界は深い闇に包まれました。一向に収まらない感染、それに伴う国民の閉塞感の蔓延、多くの制約・制限がかかってくる中、スポーツは「不要不急」のものになっていきました。アスリートはトレーニングもままならず、オリンピックを口にすることさえも憚られる日々が続きました。そのような時でも開催を信じて、支えてくれる人たちの思いを力に変えてトレーニングを続け、出場権を獲得してきたアスリートだからこそ、オリンピックパラリンピックの舞台に立った時に、素直に感謝の感情が湧いてきたのでしょうか。感謝という勝ち負けを超越した感情が持てたからこそ、ベストパフォーマンスを示すことができたのだと思います。

陸上競技は単なる手段ではなく、それを続けること自体が尊いものであり、行うことで楽しさや生きがいを感じるものであって欲しいと思います。

OBOGの皆様には引き続き、部員たちの活動に対し、ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

部報への想い



筑波大学陸上競技部
副部長 大山 圭悟

今年も、部報発刊の季節がやってきた。広報委員長に原稿を催促されながら、一年を振り返って部員や、OBOGの皆様のことを想いながら挨拶文を書かせていただいている。過去の部報を紐解くと、過去の挨拶や記事は、その時のグラウンドで感じていることや、折々の自分やチームの様子を生き生きと蘇らせてくれる。部報を見てると応援して下さる年配の先輩方の声や、掲載記事を取り上げて議論してくれている教え子の様子は、自分自身の大きな励みでもある。この部報編集はチームの役割分担の中で進められる。広報委員会が中心となって企画編集を行い、記録の整理はデータバンク委員会が行う。部員やスタッフが原稿を持ち寄り、部員が大学周辺の飲食店などを直接回って、協賛広告をいただいたり、印刷業者とやり取りをしたり、ものづくりの全体像を経験する重要な機会である。そのモチベーションは部員に読んでもらうことであり、OBOGの手にとっていただくことであるように思う。かなり限られた時間で得られたスキルなので、不十分なことも多い。しかしそれは長くお世話になっている印刷業者の方までも編集・校正に関わってくださることで、なんとか形を保っている。

あるとき、元部長の西藤宏司先生が、焼き物を愛でる心について話してくれたことがあった。焼き物が好きな人は、手持ちの器などを時々手にとって眺めるのだが、器自体は時を経ても何ら変化するものではない。ならば何を見ているのか？ それは器を眺めているようで、実は変わらない器に映る自分の心の変化を眺めているのだよ。ということであった。そうか、自分にとって、部報とはそういうものだったのか。ふと偉大なホームランバッター、ハンク・アーロンの言葉を思い出した。「スランプのとき、体調が悪いとき、野球以外で問題があるときでも、やることは常に素振りをする事だった」。野球でいう素振りのように、古臭い、誰でもやっているような練習は、変化を好む現代では重視しなくても良いように言われる傾向があるが、実際はそうではない。単純な動きに映る自分のありようが自分を正してくれるのである。システムに変化を起こすトレーニングには、システ

ムを取り巻く環境変化を入力にして適応を誘発して変化を生む方法もあれば、環境を一定にしてシステム側で積極的に制御を変えていく方法もある。前者が流行りの昨今であるが、後者の大切さは何も変わらない。

最近、OBOG会の役員会では部報配布不要論が取りざたされている。その理由はまずコストが大き過ぎること、そして先輩方が求めるネタが少ないことだという。この点については貴重なご意見を真摯に受け止めなければならない。コストのことを考えると電子化へ舵を切ること避けられないであろう。その上で、部報とはどのようなものなのか振り返って考えてみる中で一つ確認できたことがある。部報の基本構成は陳腐とも言えるものかもしれないが、担当が誰になっても持続可能な範囲で、その時々チームを取り巻く状況が、決まった形式の中によく反映されているということである。忙しく変化ばかりを求められ、何事も人気とコストで価値が測られる世の中であって、変わらないことの意味もあるのだ。

高齢の母親が、わざわざ眼科に出向いて睫毛の白髪を抜いてもらうのだと言う。そんな簡単なこと自分でやればいいじゃないかと思っていたが、自分が老眼鏡の世話になるようになって、初めてわかった。老眼鏡に手鏡でないと見えない睫毛を自分で抜くのは至難である。世の中には外から見ないとわからないことと同様に、本気でその立場になってみないとわからないことがたくさんある。愛のある先輩のご意見をありがたく思いながらも、半信半疑で「こちらの事情」に拘泥する自分が嫌になることがある。インターハイや国体があると、OBOG会が開催され、全国津々浦々の先輩方が、ご苦労さんまあ一杯やろうよと言ってお声をかけていただき、お互い愚痴の一つも交わし合ったものだ。最近ではそれも遠い世のこと、声の大きな人の声ばかりが聞こえてくる。直接会って、酒でも飲みながら話せばこんなことはないのかもしれないなあと、コロナを恨めしく思うことがまた増えてしまった。

<ご意見をお寄せください

byun-ohyama.keigo.fm@u.tsukuba.ac.jp >

コロナ禍の陸上競技を通じて



筑波大学陸上競技部
副部長 谷川 聡

COVID-19 ロックダウン時のスポーツ全般のトレーニングについて、世界 142 カ国、6 大陸の 12,526 人のアスリートの知識、信念、実践例として示された 2021 年 Sports Medicine の論文では、スポーツトレーニングは特異性、強度、頻度、期間が著しく減少し、アスリート競技力別で顕著な差が示されました。競技力の高いアスリートは、ロックダウン中、トレーニングを「維持」することを最も強く望み、「トレーニングしない」ことに最も反対し、限られたトレーニング資源を優先的に利用できたこともあり、他のアスリートに比べてより高度にトレーニングレベルを維持していました。また、「オンライン指導」で十分と考える選手も多かったようです。このようなロックダウンを介したスポーツトレーニング環境の変化は、様々な職種チームのための物事を推進する上で、個別化した課題を見つけ修正する動態の重要性が示されました。

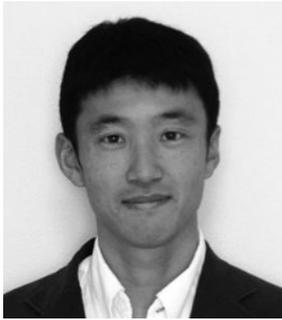
その情景は、我々陸上競技部にもあったものではなかったのでしょうか。競技をしたくても取り組めなかった人はもう一度、自分が選んだ競技を見直しました。現在の 2 年生と 1 年生は、毎日パソコンの前で課題に追われ、対面の実技と部活動のみでしか対面で人と関わる機会がなくなって、日々対面で過ごしていた高校生活からネットの環境の新たな大学生活で、大学生になった実感を持ってないままで将来に不安を抱えて過ごしていたと思います。一方で、ある学生は、高校時代までの社会の定義の中で競技という世界の中で重圧から解放され、競技を自分のものとして捉え個別化した課題を見つめ直すことができたと話してくれました。また、3、4 年生の中には、色々なことを我慢して競技をしていた状況から、もう一度自分の学生生活を見直し、これまで集団で取り組んでいた競技を自分の中で位置づけ直して、新たな目標を立てた学生も多かったように感じます。特に競技力を高めた

人たちは、自ら取り組み方が大きく変わり主体的に競技を進めていける機会を得たようでした。

2021 年に延期された東京オリンピックが象徴的で、世界と同様に我々にとっても競技に取り組む価値を再度問われ、あたりまえを捉え直す契機となりました。しかし、陸上競技は、ある日本の民間放送局の方は、他のスポーツと違い世界中の人が自国以外を応援する特殊なスポーツだからだと言います。特に東京オリンピックで見た、異なる身体能力を国境を越えて、技術を洗練させて競う競技の美しさは一際でした。それは、世界中のアスリートがそれぞれその価値を位置づけ直し、自分たちのやってきたことに対する自信や誇りを表現していたからかもしれません。オリンピックを開催できるのかという我々も心配でしたが、大会中には世界中のコーチやメディアの人々が世界中で同じ問題に対処して立ち向かって競技を支える姿勢に勇気をもらいました。特に、陸上競技は世界的苦境の中でも、世界記録・日本記録と新しい記録が生まれ、今しかできないオリンピックの大切さを教えてくれました。

我々も大学の陸上競技を通じて、純粋に競技力を高めることと今しかできないことを学生と一緒に考えながら一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。コロナ禍で学んだように、学生自身の選択を奪わないことを意識して、正しいことを明らかにする姿勢ではなく、疑問と仮説を持って、好奇心に満ちて陸上競技を学生と取り組んでいきたいと感じています。コロナ禍で多くの OBOG のご支援に感謝しながら、陸上競技と新しい形で向き合って、主体的に取り組むことを通じて愉しむことが大切だと教えてくれたこの 2 年間でこれからのつなげたいと感じています。今後とも陸上競技部に、ご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

エリート学生アスリートを目指して



筑波大学陸上競技部
監督 榎本 靖士

2021年もコロナ対策に翻弄されました。そのなかでインカレでは、男子は5000m、3000mSC、走高跳、棒高跳、やり投の5種目で27点10位、女子は1500m、3000mSC、走幅跳、三段跳、やり投、円盤投、ハンマー投の7種目で40点6位でした。男女の合計得点では歴史的惨敗と言えます。さらに、箱根駅伝予選会では13位、大学女子駅伝では20位と、長距離が力をつけてきたとは言え、満足のいく成績とは言えません。かつて、女子は関東と全日本の両インカレ、関東と全日本の両駅伝のすべてを制したとと比較すると、現状は大学陸上競技における存在感はないに等しいものです。

一方で、その成果の求め方も問われています。ライバルの多くは、大学に勉強をしに来ているのか、競技をしにきているのかわからない学生達となっています。メディアも、学業を捨ててまで競技に打ち込むことを、さらに選手としてではなく応援やサポートにまわる多くの学生を美しいと賞賛することがあります。日本の学生スポーツが最も歪んでいる時代と言えます。大会や合宿などに出かけるたびに、競技団体や地方スポーツを支えている多くのOBOGにお世話になります。そのような先輩方を見るにつけ、いまの学生達が数年後にそのような気概でスポーツとかかわれるのか不安になります。

スポーツでは時には勝ったものが正しいと言われることがあります。負けていては何を言っても言い訳となります。しかし、競技活動には下品なやり方も間違いなくあります。大学スポーツは紳士のもの、アマチュアリズムがあったわけですが、これは教育的な、戒め的な意味が強かったのだと思います。すなわち、スポーツは常に勝利への欲、社会・経済的な報酬への欲と隣り合わせであるがために、紳士であることを、プロと一線を画すことを唱えてきたのだと思います。近年では経済的な価値観が重視され、大学さえも平気でそれを優先するようになってきました。社会の変化として受け止めなければならない一方で、文化としてのスポーツを継承するものとして身に付けなければいけない質の高い、品のある競技活動を目指さなければ

いけないと思っています。恩師の阿江通良先生が院生控室に示されていた紳士の条件を思い出して、本を手に入れて再確認しました。

島田一男先生（東京文理科大学心理学科卒業）の「日本人の品性」には紳士の条件として以下の7つをあげられています（実際には7項目というより紳士としての考え方をかつての紳士や論語など例をあげながら述べられています）。

1. 自分を大事にする（人にのまねず、人を支配せず）
2. 肉体的にも精神的にもタフである（品性は、自制心から育つ）
3. ほんとうのプライドをもつ（何が恥ずかしいことなのか）
4. 金を支配しても、金に支配されない（しばられるものがないから、できる自由な発想）
5. 忙しいときほど、ゆとりをだいじにする（遊びにも仕事にも、本気で向かい合う）
6. 生きる知恵としての教養を身につける（すぐに役に立つことは、すぐに役に立たなくなる）
7. どんな相手にも気くばりができる（他人を生かし、自分も生かす）

コーチをするようになり、競技において何を大切にすべきか考え始めた頃に、スポーツマンシップ（スポーツマンは信頼できる人）を深く学び、意識してきました。端的に言うと相互レスペクトの関係になりますが、この教えはチームスポーツや対戦スポーツにおいて重視されることが多く、スポーツ実践者であれば基本的に身につけるべき倫理観であると思います。そのうえで、筑波大学は取り組み方や勝ち方が問われることを自覚し、エリート教育の必要性を感じていました。紳士（ジェントルマン）という表現は現代ではジェンダー問題になりますので、あえてエリートを代替に使いたと思います。エリートは選ばれた人という意味ですが、筑波大学、そして陸上競技部を選び、その資質が認められている皆さんには、エリート学生アスリートとして誇り高く、品性を重んじて、競技パフォーマンス、そのための競技・トレーニング活動の質を追求してほしいと思います。

東京 2020 大会を振り返って雑感



筑波大学陸上競技部
コーチ 宮崎 明世

2020年に開催されるはずだった東京2020オリンピック・パラリンピック大会が、コロナ禍の真ただ中、開催されました。オリンピック競技会はこれまで戦争などの影響で中止されたことはあっても、延期されたことはなく、史上初めての出来事でした。延期が決まった当初は、誰もが1年あまり先には新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いて、状況が好転していることを望んだはずですが、しかしながら、期待も空しくまさに感染拡大のただなかで大会は開催されたこととなります。世論では、開催そのものに反対する声の方が多かったのではないのでしょうか。そんな中開催された大会ですが、終わってみればこのような状況下で大会が開催できたのは、日本だったからこそとの評価も聞こえてきます。もともと感染者数や死者数が欧米等と比較して少なく、感染防止対策も比較的統制が取れている（国民性かどうかはわかりませんが）ということも影響したかもしれません。あらゆる面で常識を覆され、それに対する対応を迫られた大会でした。

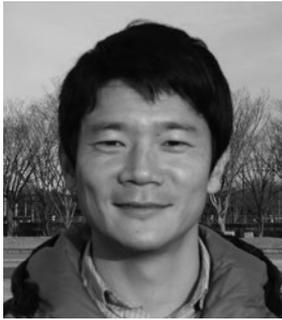
東京大会を振り返って、大きな特徴のひとつはジェンダー平等に関することではないでしょうか。大会開催前から女性蔑視発言やそれに関連する出来事で、多くの問題が起きました。その結果、大会開催に関わる担当大臣や組織委員会の委員長、開催都市の長すべてが女性という、日本全体のバランスから見れば、あまりにも「取ってつけた」感じがしたのは私だけではないと思います。

大会においてもジェンダーに関するトピックが多くありました。トランスジェンダーの選手が女子種目に選手として参加したり、女性のユニフォームの露出が多いこと、その扱われ方に抵抗して、露出の少ないユニフォーム（ユニター

ド）で参加したドイツ体操チームなどの話題もありました。また、男女混合種目が増えたことも特徴で、陸上競技では花形種目ともいえる4×400mリレーで男女混合レースが行われました。受け取り方は様々でしょうが、みなさんはどのように感じられたのでしょうか。この種目は男女2名ずつで構成され、走順は自由で、大きく差が開いたように見えてもその後挽回することができたりして、これまでにない楽しみ方ができたとも解釈できます。日本選手が出場しないとメディアでほとんど扱われないために、一般に知られることがありませんが、オリンピックでこのような種目が採用されたことは、大きな変革ではないのでしょうか。男女混合種目は水泳のリレーにも追加され、球技ではミックスダブルスや男女混合の団体戦などが追加されました。常識とは人がつくるもので、世の移り変わりを強く感じる出来事でしたが、第1回のオリンピックに女性は参加すらできなかったわけですから、時代の流れに従ってさまざまな変化が起きるのは当然のことです。今後もさらなる変化が続いていくと考えられます。

パラリンピックにも注目が集まった本大会でしたが、今後はオリンピックとパラリンピックが一緒になる事だってあり得るでしょう。とはいえ、すべての垣根を越えて、つまりクラス分けなしに競うことは無理でしょうが、1つの大会になることは十分あり得ることでしょう。常識が根底から覆される状況の中、さまざまな面で時代の変革を目の当たりにした大会でした。これからの未来を作る若者たちに、変革に遅れないようにしながらも、流されることなく、進むべき方向を問い直すことができるような教育をしていきたいと考えたりしています。

応援してくれる人に楽しんでもらおう



筑波大学陸上競技部
コーチ 木越 清信

2022年はポスト東京オリンピック元年です。スポーツを取り巻く環境は、東京オリンピックを機に大きく変化すると思います。具体的には、世の中のスポーツへの投資額が減ることが推測されます。特に、競技者を雇用してくれる企業は減ってしまうでしょう。オリンピックに向けてスポーツが盛り上がり、オリンピックを契機にスポーツに元気がなくなるようでは困ります。何とかしてスポーツを盛り上げる手立てを考えていきたいと思っています。

そんななか、私は観るスポーツに活路を見出せないかと考えています。我々の側からは、「みせるスポーツ」ということになるでしょうか。競技者が、競技においてより高い競技成績を指向する動機は、自己実現にあると思います。自己ベストを更新したいとか、出場したことの無い競技会に出場したいとか、ある競技会において優勝したいとか。しかし、本当に純粋に自己実現だけを目指しては、スポーツは盛り上がりません。スポーツを盛り上げるためには、自己実現と観る人が増えることの両方を同時に達成する必要があります。そのときに、必要となるのが、競技者には公の人格があるという認識です。みなさんには、みなさんのことを応援することを楽しみにしている人が必ずいます。それは家族かもしれないし、チームメイトかもしれないし、中学生や高校生のときの指導者かもしれません。大学の陸上競技部という組織のことを考えれば、OB・OGのみなさんが応援してくれています。したがって、皆さんは、これらの人々を楽しませる存在としての、公の人格を有していると言えます。ある試合において勝った競技者が「応援してくれている人たちへの恩返しの意味も込めてがんばりま

した」とコメントしていることや、負けた競技者が「応援してくれる人たちに申し訳ない」とコメントしていることを聞きます。応援する競技者が勝って喜ぶことも、応援する競技者が負けてがっかりすることも、スポーツを観て楽しむことに含まれる要素です。いつも当たり前のように勝つ人もしくはチームを応援していても楽しくありませんし、負けっぱなしの人もしくはチームを応援することも楽しくはありません。勝ったり負けたりして、しかもその勝負を観てハラハラ・ドキドキすることを楽しんでいるのです。また、「観ている人に感動を与えたい」とか、「夢や希望を与えることができるように」といったコメントも聞かれます。競技者のプレーを観て、夢や希望を得たり感動したりすることは、楽しんだ結果であり、しかも観ている人の解釈の問題です。「みせる」側の我々は、公の人格として、観ていて楽しい競技を提供する責務があるのです。それは、Rock in Japanに出演するアーティストと同じ役目です。

スポーツを盛り上げることを考えた時に、観る側の盛り上がりは欠かせません。自分の周りのスポーツが盛り上がっていないと感じるようなら、それは観る人が少ないことが理由です。まずは、我々の競技、つまり大学の陸上競技を盛り上げるために、これを魅力的なコンテンツに仕立てて、観る人を増やしましょう。チームとしては、インカレにおいてOB・OGの方に楽しんでもらえるような競技をお見せすることが、スポーツを盛り上げる第一歩になります。そして、2022年シーズンが終わった時に、競技部全員でOB・OGの方々に自信をもってお聞きしたいものです。「楽しんでもらえたか？」と。

目標達成に向けてステークホルダーを意識したチームビルディング



筑波大学陸上競技部
コーチ 弘山 勉

2020年から新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で、私たちの活動は大きな影響を受けています。苦境に立たされる時は、自分が試されている時です。嘆いたところで明るい未来は訪れません。世の中は理不尽なことがとても多いものです。順風満帆の人生と言う人がいますが、そんな人ほど人一倍の努力を重ねています。学生諸君には、社会に出るための準備として、苦難を乗り越えながら可能な限りの成長を遂げてほしいと思います。

陸上競技部では、昔から変わらず「インカレ男女アベック優勝」という目標を掲げています。目標達成に程遠い成績でも、この目標を変えることはありません。ただ、目標が達成されないことに慣れてしまわないように注意したいところです。私たち陸上競技部は「何のために活動しているのか」その主旨に立って、「インカレ優勝という目標を設定するのは何故か」を2022年の始動に際し、全員に考えてほしいと思います。もしかすると、チームと個人という壁にぶつかるとはかもしれませんが、それこそが今の陸上競技部が突き破るべき壁（課題）である気がします。

企業（会社と社員）を例にしてみます。「会社の存在意義・理念・目標・目的」と社員に問うたときに、立場や価値観によって様々な答えが返ってくると思います。次に、「何のために働いているのですか」と聞いてみても、同様に人それぞれでしょう。経営者なら「株価を上げるために商品開発に力を注ぎ企業価値を高める」、社員ならば「給料を増やすために良い商品を開発する」などになるでしょうか。つまり、異なる価値観や考えを持つ社員で会社は作られているので、社員一人ひとりの働く目標や目的の方向性がある程度は統一することが重要になってきます。そのための手段は社員の創意工夫になるかもしれません。目標と目的は似ていて、目標や目的は手段にも置き換わるということを理解する必要があります。目標を達成して、次の目標が近づく好循環という考えに近いかもしれませんが。

このような視点に立ち、全ての部員が「陸上競技部の活動について」考えることが求められます。部の存在意義、目的、目標、組織、運営、部員のことなど、考えることは沢山あります。

インカレで勝てない理由について、部の構造システムとともに検証してみるのもよいでしょう。そのためには、視野を拡げていくことが求められます。

ステークホルダーという考えがあります。ビジネスシーンで使われる用語ですが、全ての組織活動の利害関係者という意味です。利益・害をもたらす相手ということになりますが、私たちは「誰に」対して「どんな方法・結果」で「何の利益を与えているのか」、またその逆に「利益をもたらしてくれる相手」について考えていくと、「私たちはどうあるべきか?」「何をすべきか?」のヒントが出てくると思います。最も重要視すべきステークホルダーは、学生（部員）である気がします。

男子長距離パートの場合、大学が『箱根駅伝復活プロジェクト』を発足しているように、関係するステークホルダーは枚挙にいとまがありません。国立大が箱根駅伝に出場した場合の大学のメリットは大きいわけですが、学生にも大きなメリットをもたらします。各校が本気で目指すほどレベルが向上し、ドラマが生まれ、視聴者が感動することで、箱根駅伝の価値は引き上がっています。箱根駅伝は、ステークホルダーに莫大なメリットをもたらす仕組みが出来上がっているように、筑波大学にとってもまた、箱根駅伝そのものもステークホルダーになるのです。こう書いてみるとわかる通り、ステークホルダーは、互いにステークホルダーの立場なのです。

男子長距離パートは、箱根駅伝に出場し続けることが最大の目標ですが、同時に、インカレで入賞することの手段になります。優秀な高校生の加入が期待でき、活動の支援も受けやすく、インカレ入賞の可能性が高まるからです。さらに言うと、箱根駅伝に出場することを目標にするのは、就職活動を有利に進め、箱根駅伝を目指す茨の道で鍛えた人間力を発揮して社会で活躍することを目指しているからです。学生たちが思い描く理想の将来像に向かって進むために、目標である箱根駅伝は同時に手段になるのです。

チームと学生各々が、どんな目標と目的を設定し、そのための手段をどう考えるのか。そのチームビルディングをステークホルダーを意識しながら実行することができたなら、インカレ優勝が近づいてくるような気がしています。

丁寧に、かつ周到な準備が勝利を招く



筑波大学陸上競技部
コーチ 前村 公彦

2021年シーズンを終え、来る2022年シーズンに向けた準備を短距離ブロックでは粛々と行なっています。2021年シーズンを振り返ると、全日本インカレでの惨敗。男女短距離種目では、1点も得点を取ることができませんでした。この結果を真摯に受け止め、学生、スタッフ間でその要因と打開策について議論を重ねました。OBOGの皆様には危惧の念を抱かれたことと思います。昨年の部報にも書かせて頂きましたが、私は、個が伸びれば組織は強くなると思っています。個人がそれぞれの色を出して、それがまとまって筑波大学陸上競技部の色（桐色）になればいいと思っています。筑波大学の短距離ブロックには多種多様な能力を持ち合わせた学生が多く在籍しています。そういった学生が陸上競技の本質に立ち返り、競技力の向上を念頭に、個々人の才能が発揮された時、チームは強くなると確信しています。

さて、2022年1月現在、新型コロナウイルスの第6波の真ただ中、学生は細心の注意を払いながら日々粛々とトレーニングに励んでいます。しかし、この冬季は陸上競技場の改修工事も予定されており、思うような環境でトレーニングを実施することができそうにもありません。また、新型コロナウイルスの感染状況によっては、3月に予定している合宿もこのままいくとどうなるかわかりません。しかし学生は、このような状況でも下は向いていません。ブロック長、パート長を中心に様々な状況をシミュレーションして事前に準備をしてくれています。「周到な準備が勝利を招く」。勝つためにはあらゆる状況を予測して、用意周到に徹しておくことこそが勝利への道だと思っています。よく

学生に口をすっぱくして言っていることの一つに、「陸上競技は準備のスポーツ。競技会だけではなく、日々のトレーニングや陸上以外の時間においても、丁寧に、かつ周到な準備が必要。そうすることによって、継続した質の高いトレーニングが可能となる。その繰り返しで未来は開ける」。多くの場合、トレーニングの内容など話題にするケースが多いですが、情報社会の昨今、どこの大学もやっていることは大して差がないと考えています。大切なことは、どれだけ高いクオリティで継続してやれているか。これにつきると思います。でも実際は、継続してやれてはいるが、一つ一つの動作を丁寧に行えていなかったり、勢いよくやれてはいるが、長続きしなかったり。この冬季はスプリントの基本となるある動きをしつこくやっています。そのトレーニング状況を見ていると、しっかりものにできている学生が大半ですが、同じミスをしている学生も数名います。また、いい状態で12月までのトレーニングを消化できたのにも関わらず、年末年始でなんらかのエラーが起き、継続したトレーニングができなくなった学生もいます。こういったケースを少なくしていくためのマインドをチームに刷り込んでいくのがコーチの役割であると思っています。

学生ひとりひとりと向き合いながら、学生の主体性を担保しつつ、勝つチームが持つ環境作りを丁寧に準備する。そう心に決めた2022年元旦。エネルギーのある集団として2022年のインカレでは短距離ブロックの大躍進を学生・スタッフと協力し成し遂げたいと思っています。OBOGの皆様には引き続き、部員達の活動に対し、ご指導ご鞭撻のほどお願い致します。

必要なもの・大事なこと



筑波大学陸上競技部

アシスタントコーチ 中野 美沙

2021年も新型コロナウイルスに振り回されるシーズンとなりました。2020年はまったくの暗中模索で本当に難しい一年でしたが、2021年も少し違った意味で難しい一年でした。コロナウイルスに対して良くも悪くも「慣れ」のようなものが出て、その中で昨年一年の経験が生きた場面もあれば、より難しくなった場面もあったように思います。経験があるから上手く対応できることもあれば、経験があったからといってまったく同じ状況ではないので解決しきれないということを、改めて身をもって痛感しました。皆さんご存知の通り、2021年の日本インカレでは非常に厳しい戦いを強いられました。原因は多く考えられ、コロナ禍での部の在り方もその1つでしょう。しかし、もっと長いこれまでの積み重ねであるとも感じています。視野を狭くせず大局的に反省をし、今後に繋げていくことが重要なのではないかと個人的には考えています。OBOGの皆様には、時には叱咤激励もいただきながら、引き続き今後ご支援を賜りますと幸いに存じます。

私事ですが、私の家には今テレビがありません。正しくは、テレビはあるのですが、線も電源もつないでいないので、ただの置物と化している、ということです。私は長らくテレビっ子（子、という年齢ではないですが…）でした。一人暮らしがもうずいぶん長いですが、帰宅するととりあえずテレビ、という生活が一人暮らしの歴史とイコールでした。そんな私がなぜ今テレビ無し生活かという、引っ越しを機に線をつなぐのが面倒だったからです。言い換えると、テレビ恋しさよりも線を繋ぐ面倒が勝っただけです。しかし、いざテレビ無し生活を続けると、無駄な時間（waste time）が格段に減ったことを感じます。「とりあえずテレビを点けてダラダラ」という時間が減り、今までより就寝時間が早くなりました。必要不可欠だと

思っていたものがいざなくなってもどうにかなる。海外滞在中などには経験がありましたが、日常でもこんなことがあるんだということが2021年における1つの発見でした。

皆さんにとって必要不可欠な物とはどんなものでしょうか。インターネットが発達し、部員に余暇の過ごし方を聞いても私たちが部員だった頃とはずいぶん様変わりしているようです。価値観も多様になり、選択肢も増えています。そんな中、コロナ禍で本当に必要な物があぶり出されてきているようにも感じます。私にとって、それは陸上競技でした。若い頃は「陸上競技を取ったら何も残らない人間にはなりたくない」と思っていました。今の自分は…人間関係を見ても、属している場を見ても、陸上競技とは切っても切れません。もちろん、それ以外にも大事なことはあります。しかし、陸上競技を通して得たつながりや学んできたことによって今の私の大部分が形作られています。若かりし自分にはまったく想像できなかったことです。

部員の皆さんの中でも、陸上競技の位置づけはそれぞれ異なるでしょう。いる人数の分だけの位置づけがあると思いますが、今一度筑波大学陸上競技部で陸上競技をやろうと考えたのはなぜなのかを考えてみて欲しいと思います。膨大な時間と労力をかけ、苦しい時間を過ごしているのはなぜなのか、同好会ではなぜ部を選んだのか。「そんなこと、今の自分に関係ないわ」と思う人もいるかもしれませんが、それでもぜひ考えてみてください。何か今の皆さんへのヒントが得られるのではないのでしょうか。

「テレビがなくても全然問題ない！」とばかりに述べてきましたが、実際は見たいドラマ等はネット配信で見えています。便利な時代になりました。しかし、大画面も恋しい…そろそろ繋ごうかなと考える今日この頃です。

前提の共有



筑波大学陸上競技部
アシスタントコーチ 武井 隼児

大変な世情が続く中、形が変わりながらも私たちの日常生活、競技生活の時間は変わらず進み続けています。記憶に新しい東京オリンピック、そして全日本インカレなど学生大会も条件付きではありますが関係者のご尽力のもとに開催されてきました。

アシスタントコーチ、トレーナーという立場で様々な場面、多くの方と働く上で大切にしている心持ちの中の一つに「前提の共有」があります。

私たちは近い人と過ごしていると無意識のうちに前提の確認を疎かにしがちであると言われていています。例えば同じチーム、同じ職場、そして家族などある程度の共通認識をもつ環境で生活している場合です。そのような価値観、考え方などの前提となる文脈が非常に近い状態では、自分自身も相手も多くのことを言わなくても分かっているはずであると無意識に思っているものです。お笑い芸人の「押すなよ」が絶妙なタイミングで「押せ」と理解されたり、長年連れ添った夫婦の「おーい」と単なる呼びかけが「はい、これね」と必要なものが分かたりする状態です。一方、新たなチーム体制となる新年度からの始動や、先のオリンピックの現場のような初めて顔を合わせて仕事を行う場合は、それぞれの足並みを揃える段階において、こういった背景、能力を持ち、こういった目標に向かって役割分担をしていくのかといった前提の共有が大切であることは自明であると考えられます。

長い時間を共有している場合であっても、新たに時間を共有する場合であっても、認識の齟齬によって起こる問題というものが、物事の問題の多くを占めているように感じます。前提の共有がどれだけ大切なことであるかを筑波大学

陸上競技部の選手、OB・OGの選手、そしてスタッフや関係各位たくさんの方々と関わる中で学ばせていただいております。国内外で頂いてきた多くの活動を通じ、とりわけ日本人は前提を共有することがあまり得意ではなく、ミスコミュニケーションが起きやすい集団であるのではないかと感じるようになりました。空気感を重んじ、習うより慣れろといった文化的背景、鎖国、村八分といった歴史的背景、その他にも教育や民族、言語など多くの背景が影響しているのではないかと推察します。対照的に背景が大きく異なる多種多様な人種や活発な言語的コミュニケーションを背景にもつ国であれば、そもそも前提の共有ということ自体が日常的に行われていることを強く実感します。昨今のように、なにかと制限の多い社会状況の中では、直接コミュニケーションができる機会が限られた反面、新たなコミュニケーションの方法や、より相手を推し量る必要性に迫られることが増えました。トレーニングの計画も時間、場所、急な制約に対応して内容をいつも以上に調整するようにもなりました。これらのことは学生たちの選手としての当事者意識を向上させ、前提の共有を行うことを無意識に促進したと思います。

良き仲間、名コーチだからこそできる阿吽の呼吸を目指しつつ、「そんなこと言わなくてもわかるでしょ」とならぬよう定期的な前提の共有、相手を推し量ることを日々忘れずに続けていきたいと思えます。東京オリンピック・パラリンピック後のこれからがスポーツの真価が問われる時代。最良を常に目指し試行錯誤を続けながら、選手そして競技部のサポートをしたいと考えています。今後もご指導のほどよろしくお願いたします。

一点の価値と重み



筑波大学陸上競技部

アシスタントコーチ 大林 太朗

2021年シーズンの混成ブロックは、学群生10名（1年生4名、2年生3名、3年生3名、4年生1名）と大学院生2名（+大学院生コーチアシスタント1名）で活動を行いました。広島大学出身の石川（M2、陸上競技研究室）をコーチアシスタントに迎え、また今年度より新設された「総合学域群」から佐藤（UG1）が入部し、彼らは本ブロックに新たな風を吹き込んでくれています。

さて、アシスタントコーチの視点で振り返れば、本シーズンは大きな悔しさの残るものとなりました。数字（対校得点）をみれば、関東インカレでは十種1点・七種3点、日本インカレでは無得点と、当初の目標とは大きくかけ離れた結果となり、まずもって自身のコーチングの方法を内省するとともに、一方で来シーズンの捲土重来を期すべく、この場を借りて二つのハイライトを書き残しておきたいと思います。

一点目は、関東インカレにおける十種競技：新開（UG2）の八位入賞です。4月、混成の関カレ代表選考会は通例どおり一般種目よりも二週間早く開催されましたが、あいにくのコンディション不良から一人も参加標準記録を突破することができず、十種競技は「出場者ゼロ」の危機に瀕していました。例年であれば、いわば「追試」として他大学等の競技会に機会を求めることもありますが、コロナ禍においてそれは容易でなく、当時のブロック内の焦燥感は大きなものだったと回想します。

しかしながら、万策尽きたかと思われたそのタイミングで、学生たちはその難しい状況を打破すべく自ら行動を起こしました。それは、5月初旬に開催される一般種目の関カレ最終選考会の中に特例で十種競技を設けてもらおうという、奇策でした。これは他ブロックへの大きな負担を強いるもので、その直前の変更は各方面への影響がはかり知れませんでした。それでも学生たちは覚悟を決め、ブロック長の小谷（UG4）を中心に監督・コーチへの直談判、学生間での度重なる交渉・調整をもってそれを実

現し、異例の再トライを通して新開を関カレに送り出しました。

八位入賞。端から見ればたったの一点かもしれませんが、されどこの一点には、新開の個人の努力とともに、それを紡ぎ出したブロック全員の熱意と信念が刻み込まれていたものと思います。2022年シーズンを前に、あらためてその一点の価値と重みを再確認し、その総合的な得点力を高めていきたいと思います。

二点目は、日本インカレにおける七種競技：池田（UG3）の途中棄権です。競技二日目、彼女は三位入賞に手が届く位置につけていましたが、第六種目やり投で膝を負傷し無念のリタイアとなりました。私はかける言葉も見当たらず、ただ不甲斐なく呆然と立ち尽くしてしまいましたが、一方で、大きな痛みと恐怖の中にあっても気丈に振る舞い、チームメイトを鼓舞し、さらには自分が走るはずだった最終種目800mのレースを直視して目に焼き付ける池田の姿を見て、彼女がジュニア年代から世代を引っ張ってきた強さの本質を目の当たりにしたように思います。その姿は「途中棄権」や「リタイア」などの言葉で表現されるのが憚られるほどに、また私が学群生の頃に尾縣コーチが仰っていた「最善を尽くす」とはこのことかと、ただ感嘆させられるばかりでした。

池田はその後、リハビリテーションと基礎トレーニングに励んでいます。来る2022年のシーズンには、地元・京都での日本インカレという大舞台が控えています。泰然自若、虎視眈々と頂点を狙う彼女の大きな飛躍に期待したいと思います。

部員一人ひとりがその自己実現に向けて努力し、ときに苦悩し、ひいては部全体の悲願であるインカレ総合優勝に向けて最善を尽くす。他にも、ここに書き切れない多くのハイライトがありますが、私はアシスタントコーチとして、一点でも多くの対校得点を挙げることを念頭に、またその数字のみには表れないそれぞれの鍛錬の過程を大切にしつつ、これからも日々のコーチングに精進したいと思います。

言い訳をせず道を切り拓く



筑波大学陸上競技部

アシスタントコーチ 山田 里美

「言い訳をしない」

恩師から気づかされ、志にしている言葉です。とはいえ、忙しさや物事がうまく回らない時は、つい言い訳をしたくなる心の弱さがあるのも事実ですが、当然ながら言い訳をしている時は何も生まれません。やはり、置かれた環境に日々感謝し、どうしたら打破できるのか？目の前のことに誠実に向き合い、取り組んでいくことが大切であると感じています。何かを成し遂げる、陸上競技で結果を出すための思考力を日々の生活の中で訓練していきたいと思います。

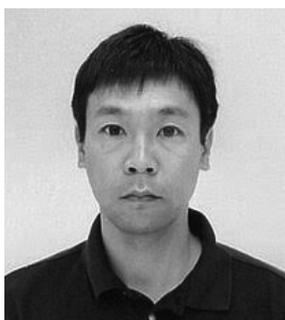
話は変わりますが、前職では競歩ナショナルチームのコーディネーターとして、リオ五輪に向けて開催地や事前合宿地の環境整備とともに、現場と医科学をつなぐ橋渡しの役割で活動をしていた時期がありました。結果として男子50km 競歩で荒井広宙選手が日本競歩界悲願の五輪銅メダルを獲得しましたが、「オリンピックは総力戦」という貴重な経験ができたことは、私にとって大きな財産となりました。

筑波大学陸上競技部の活動に係わるようになった今、その時のことを常々思い出します。それは、筑波大学陸上競技部が男女インカレ総合優勝や箱根駅伝常連校として復活を目指す過程や活動において、共通するものがあるからです。戦う舞台が大きくなるほどに、個人競技である陸上競技が個人主義では勝てないことを痛いほど教えてくれます。共通の目標に向かって知恵を集結し、チームとして各々が自分の役割を完璧に果たさなければ勝負できないのです。ナショナルチームは普段の活動場所が物理的に離れている分、人をつなぐ組織の作り方、在り方が大事になってきます。コーディネーターという役割の中でその手法を現場で学ぶことができました。

現在は男子長距離のアシスタントコーチという立場で、大学のプロジェクトである箱根駅伝復活プロジェクト強化に携わせて頂いています。伝統ある筑波大学陸上競技部で、OBOGの皆様をはじめ、大学プロジェクトとして募っている基金やクラウドファンディングを通じた支援者の皆様、学内外の多くの方々にご協力いただきながら、今を精一杯生きる学生アスリートとともにインカレや箱根駅伝にチャレンジすることに、心から感謝しております。激化する箱根駅伝に国立大が常連校として復活することは簡単な道のりではないからこそ、面白さと深みがあります。陸上競技・箱根駅伝という個人競技の究極のチームスポーツを通して、いかなる時も前を向き、学生・指導者ともに成長できるチーム作りをしていきたいと思います。

2年前、26年振りの箱根駅伝本戦出場を成し遂げた学生の覚悟と奮起、監督の常識を覆す不屈の精神は「国立大だから」という言い訳ではなく、「やればできる！」ということを実証してくれました。学生を再びあの最高の舞台で笑顔にできるよう、これから私自身もコーチとして精進していきたいと思います。そして、箱根駅伝出場を通してOBOGの皆様をはじめ、沢山の関係者が喜んでくださった姿を目の当たりにしたからこそ、箱根駅伝を目指す活動が「人と人をつなぐ大学プロジェクトになっている」真の意味を理解しているつもりです。学内外多くの方々の一体感の醸成を図るとともに、人々が繋がる仕組み作りを具現化し、進化させていきたいと思います。そのためには、根底にある陸上競技に対する情熱と、決して言い訳をしない志を日々大切に過ごしていきたいと思えます。

「夢」と「目標」



筑波大学陸上競技部

アシスタントコーチ 木路 修平

私が2020年4月に男子駅伝コーチとして本競技部のアシスタントコーチの任についてすぐに、新型コロナウイルス感染症との戦いが始まりました。この未知のものとの戦いの中で、社会の流れは激変し、今まで当たり前であったことが当たり前ではなくなりました。陸上競技部の活動も例外ではなく、大学での日々の鍛錬、強化合宿、自分たちが積み上げてきたものを表現する場である試合、それら全てを奪われてしまう時期を経験しました。そのような状況の中でも競技部の学生たちは、活動の再開を信じ、最大限の努力を続けました。

私は、その姿を見守る中で、改めて「夢」と「目標」の違いを考えさせられました。夢や目標については様々な解釈があると思いますが、私自身は「夢＝できたらいいなという願望」、「目標＝それを何が何でも達成するという覚悟と、そのための明確な手段、方法、筋道が立てられているもの」と理解しています。今回、不安で不自由な状況の中でも、工夫を凝らし、協力しながら、箱根駅伝予選会突破に向けてやらなければいけないことを淡々と消化していく駅伝チームの学生の姿に、状況を言い訳にしないという覚悟を感じました。この覚悟は「できたらいいな」という夢レベルでは絶対生まれないものであり、何度も箱根駅伝出場に向けて最高の準備をして臨んでは跳ね返され続け、やっと得ることができた第96回箱根駅伝出場という経験によって作り上げられたチームの財産によるものだと思います。

しかし、2020年度、21年度の2年間はその頑張りも報われず、箱根駅伝予選会突破はなりませんでした。このことは、他校に比べ自分たちがこれで良いと思っている「当たり前」のレベルが、この2年間で下がってしまったということに他なりません。その「当たり前」レベルを箱根駅伝出場に戻し、更に先を目指すためにも最後の箱根駅伝経験者が4年生として残る2022年度は、何が何でも箱根駅伝に復帰しな

ければせつかくの財産も過去のものとなってしまふという危機感を感じています。この2年間の予選会で流した涙が出なくなったら、予選会落ちが当たり前になってしまった証拠です。そのようなチームにならないよう、本当の意味での「箱根駅伝復活」のためには自分たちの役割は何なのか？何を、どのようにすれば良いのか？を見つめ直し、明確にした上で覚悟を決めて取り組む準備をしていきたいと考えます。

真の箱根駅伝復活に向けた役割といっても様々です。主力は、当然他校の主力と対等に戦う役割を担わなければなりません。そのためには、少なくとも関東インカレ入賞という目標が掲げられて然るべきです。中間層はチーム内のポジションに安心するのではなく、インカレ出場、全日本大学駅伝に向けての10000mの記録向上など、他校に視野を広げた目標が必須条件になるかもしれません。その下のメンバーは、まず予選会メンバーに入るための自己記録更新というチーム内のポジションアップが目標となると思います。直接的な箱根駅伝への貢献という目標は描きにくいかもしれませんが、このメンバーの課題解決に向けた真摯な取り組みによる成長が無ければ、チーム力の向上はあり得ません。同時に筑波大学駅伝チームの育成スタイルとして誇れるものとなると信じています。

箱根駅伝強化が進むことによって、箱根駅伝出場という駅伝チーム目標に向けたそれぞれの取り組みが、インカレ入賞、自己記録更新などの様々な個人目標の達成に繋がり、逆にそれぞれの個人目標の達成が駅伝チームの目標に繋がり、しいては陸上競技部全体のインカレ優勝にも貢献できるという個人の目標とチームの目標がリンクする良い流れがやっと出来てきたように思います。

個人目標の集約の先の箱根駅伝出場、インカレ優勝という学生たちの「夢」を「目標」となるべく道筋をつけられるよう、しっかりサポートしていきたいと思っています。

男女総合優勝を目指す覚悟を



令和3年度主将
兵藤 秋穂

感染症の拡大開始から2年が経過し、2021年シーズンは少しずつ競技場に活気溢れる日常が戻ってきた1年であったように思います。多くの方々に多大なるご支援を賜り、シーズンを駆け抜けることが出来たことに心より感謝申し上げます。

この1年は「両インカレでの男女総合優勝」の他、「当たり前のレベルを上げること」を念頭に試行錯誤を重ねた日々でした。これまで当たり前に出ていた全体集合や集団応援を行うことも困難な状況下で、いかにチームとしての結束力を高めるかという大きな壁に何度もぶつかり、その度に我々が掲げる目標の意義は何かを考えさせられたように思います。インカレの成績を見れば、関東インカレは男子8位、女子2位、日本インカレも男子10位、女子6位と、優勝争いにさえ絡むことの出来ない惨敗となりました。史上最弱の世代との評価を受け、我々の取り組みの甘さと目標までの道のりの険しさを痛感させられました。振り返ると、私たちが目指してきたのは人間味溢れる「良いチーム」であったように思います。自己を研鑽する上で経験する苦悩も、何かを成し遂げた時の喜びも、分かち合える仲間がいれば競技力向上に向かって頑張り続けられると信じていたからです。しかしながら、ここで言う人間味溢れるチームはただのお人好し集団とは区別して考えなければなりません。競技を追求する以上、時には厳しさや求める結果に値するだけの犠牲も必要です。私たちにはそのための覚悟が足りませんでした。

我々が掲げる「両インカレ男女総合優勝」は、筑波大学にしか成し遂げる事の出来ない榮譽ある目標です。だからこそ生半可な気持ちでは手にすることは出来ません。競技部に所属する全選手がこの目標を達成するための自分の存在意義を考え、当事者として組織に貢献する術を模索することが求められています。桐の木は生命力が強く、成長が速いことで知られています。幹を伸ばす方向が明確になれば、大木になるのはあっという間。250人近い部員が同じ目標を共有し足並みを揃えられた時には、全員で円陣を組んで宣揚歌を響かせる瞬間もそう遠くはないはずです。今後益々の競技部の活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。

復活に向けて



令和3年度副主将
小林 裕季

2021年度シーズンは「当たり前について考えさせられた年」でした。インカレの全体応援を知らない世代が部員の半数を占め、今まで当たり前であった筑波大学陸上競技部という1つのチームとして活動をするという事とは一体どのようなことなのか改めて考えさせられました。インカレの全体応援を経験すれば誰もが感じるであろう、あの心が奮い立つ独特の雰囲気やチームとしての一体感を知らない後輩達、ブロックごと・学年ごとに分かれてしまうチームの雰囲気をどうまとめ上げていくか、迷い続けた毎日でした。思い返してみれば、この1年は自分たちでやりたいように突き進めた1年ではなく、もがいて、あがいた、そんな1年だったと感じています。もがいて、あがいたその先にあったのは、決して望んでいたような結果ではありませんでした。結果だけを見るならば、男子はインカレにおいて惨敗し、苦い1年であったと感じます。インカレでは男子全体としては思うような成績を残すことができなかったものの、長距離種目での得点や1・2年生の活躍など新戦力が力を振るった大会でした。悔しい思いをし続けている学生も決して少なくはありませんが、何度逆境に苛まれても諦めることなく、日々努力を重ね続けています。また、今シーズンを通して各ブロック長を中心とした上級生がチームについて試行錯誤し続けてくれたからこそ、チームを知っている上級生だけではなく下級生も「チームとは何か」を考えてくれた1年になったと思います。競技力もチーム力もまだまだ未熟ではありますが、来年、再来年…と少しずつ形となり、「強い筑波」が復活すると確信できた1年でした。

最後になりますが、コロナ禍の中、練習する環境を整えてくださり、お力添えをしてくださった監督・スタッフの皆様、OBOGの皆様に感謝申し上げます。また、協力してくれた各ブロック長をはじめとする幹部の皆様、支えてくれた部員の皆様に感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

「競技を楽しむ」



令和3年度副主将
吉岡 美玲

1年間、競技だけでは無く、部員のことを考え、自分の存在意義を見つけることに奮闘した日々は、大きく成長できたと自信を持って言える1年になりました。未熟ながら女子副主将として走り続けられたこと大変嬉しく思います。また、支えてくださった先生方や、ご支援賜りました関係者の方々には深く御礼申し上げます。

女子副主将に立候補させていただいてから、多くの悩みを抱え奮闘して参りましたが、振り返ってみると、部員の方々に何が残せたのか、甚だ疑問が残る1年でした。

インカレの結果としまして、女子の総合は関東インカレ2位、日本インカレ6位と多くの悔しさが積み重なった結果であったと思います。思い通りの結果が出せなかった部員も多くいると思います。個人個人、様々な思いを抱えて、大会に臨んだと思いますが、この結果を受け止めて、競技の結果だけではなく、何を得たのかを考えることで、残された時間を価値のあるもの出来るか決まると思います。

また、そんな悔しさが残る中だからこそ陸上競技を楽しんで欲しいと思いました。多くの選択肢がある中で、競技を続けることを選んだならば、苦しみより楽しんで欲しいという私個人の願いもあります。楽しんでやっても嫌々やっても、目の前のメニューは変わらないので、楽しく全力で悔いのないように1日1日を過ごしてほしいと思います。全体の前でお話しさせていただく機会があった時には「楽しんで欲しい」という言葉を多く使ってきました。私自身の話になりますが、走ることが楽しくなかった時期は、どれだけ頑張っているつもりでも結果はついてきませんでした。ただの文字で多くのことを伝えることは難しいですが、「楽しむ」ということだけ頭の片隅においていただくと幸いです。

最後になりますが、筑波大学陸上競技部の副主将を務めることが出来、とても光栄でした。

筑波大学陸上競技部の一層のご活躍をお祈りいたしております。

外破するものからの逃亡



令和3年度主事
木塚 宙敬

はじめに、1年間、主事という役職に就かせていただきましたこと、心から御礼と感謝申し上げます。運営執行部17名、志を同じくした4年生の力強いご支援により、任期を終えることができました。

今年度はやはり、コロナとの戦いになりました。波状攻撃のような新株の出現、裏設定を勘繰ってしまうほどの感染者激減ニュースへの嬉喜びは、誰の所為にもできない分、不快な違和感が残りました。そういえば、TOKYO2020の強行開催も忘れてはならないですね。こんなにも純粋に楽しむことができない「みる」スポーツを経験するのは初めてでした。五輪反対の声にただ同調し、明確な意見を示せず、娯楽であるとしか、スポーツを捉えることができなくなっていたあの時の自分に虫酸が走る思いです。

そんな複雑な思いの中、競技場に目を向けると、この限られた状態の中で、常に新しい練習方法を開発しようとする部員たちの姿がありました。私自身、主事としての活動を通して、彼らの姿を守りたいという思いが強くなったことを覚えています。スポーツは本来、制限を強く受けた環境で、それぞれの目的を達成するものですが、我々は筑波大学の恵まれた環境に身を置くことで、それを忘れていました。この感染症はそれを思い出させ、本来のスポーツへの取り組み方へ軌道修正をした、とも考えられなくもないと偉そうに書きます。

自身の反省をここで述べれば、私は競技と競技部に対して中途半端な関わり方をしました。最後まで見て見ぬ振りを繰り返し、任期が過ぎてしまいました。新たに競技部の運営を任せられたか方達は、これからも続く厳しい制限と、理不尽な要求のもとで、解決策を考え出さなければなりません。今まで以上に大きな助けが必要になること、心苦しいことが続くと思いますが、気概を持って取り組んでください。最後になりましたが、今後の運営執行部の健闘を切に願っています。

境界線



令和3年度主事 田中 彩菜

昨年度が感染症によって「奪われた」年であるならば、今年度は「選ぶ」年だったでしょうか。誰もが薄々感じていたように、感染症は治まることを知らず、もはや日常と化しました。その中で、昨年同様中止となった試合もあれば、各関係者のご尽力のお陰様で、開催できた試合もあります。部の事業も実施の有無、形態の変更の検討が頻繁に行われました。そこで、競技者及び主事を終えた私なりの判断基準についての考えを記したいと思います。

結論から言えば、「その判断にきちんとした根拠があるかどうか」が大切だと考えます。社会情勢や部の意見、自分の状態を正しく考慮したうえで実施する、しないを判断するということです。今の行動は、良くも悪くも巡り廻って自分に返ってきます。戻れない過去に後悔し、目標達成への期待や自分への自信を損失してしまうのはむなしく、もったいない話です。一時の惰性に侵され、やる・やらないの境界線を見誤り、やらなかった「やるべきこと」のせいで涙を流すことのない様、達成したい目標やなりたい姿に対して日頃から真摯に向き合ってほしいと思います。個々の努力が実を結び、そして全員で競技場に宣揚歌を響かせる未来を望んでやみません。

今後も感染症は増幅と減少を繰り返すと考えられ、根絶されるまではその情勢に左右され続けると思います。部の活動に制限がかけられることのストレスは大きいですが、そうでなければ向き合えなかったこと、やらなかったことなどもきっとあるはずです。状況は不公平な中でも、時間だけは平等に過ぎていくので、来たる決戦の日に向けて日々を大切に過ごしてほしいと思います。

末筆ではございますが、今年度も部の活動にお力を貸してくださった監督・スタッフの皆様、OBOGの皆様、この場をお借りして深く感謝申し上げますとともに、競技部の益々の躍進を願い、私からの挨拶と致します。

令和3/令和4年度 筑波大学陸上競技部 役員

氏名

役員名

- 1 生年月日
- 2 卒業大学（卒業年）
- 3 職業
- 4 経歴
- 5 育てた選手（一部）
- 6 自己最高記録
- 7 選手へ一言

尾縣 貢

部長

1. 1959.6.29
2. 筑波大学（昭和57年）
同修士（昭和59年）
3. 筑波大学体育系教授
4. 大阪大学コーチ（S63～H3）
奈良教育大学 部長（H3～6）
筑波大学コーチ（H6～12）
筑波大学監督（H13～H23）
筑波大学部長（H23～現在）
5. 日本C.H.、日本I.C.優勝
男子：樋口利夫、安井 亨、大島雄治
女子：征矢範子、高橋（生方）留美子、眞鍋（佐藤）さよ子、菊川恵子、平戸安紀子
6. 十種競技日本選手権優勝（S57 / 58）、
日本I.C.優勝（S56 / 57）、
アジア大会出場（S58）
7. 和と自主性



大山 圭悟

副部長／投擲コーチ

1. 1970.4.3
2. 筑波大学（平成5年）
3. 筑波大学体育系准教授
4. 筑波大学コーチ（H11～現在）
6. SP 16m51
7. 理詰めで研究、根性で実践。



谷川 聡

副部長／短距離・障害コーチ

1. 1972.7.5
2. 中央大学（平成4年）
筑波大学修士（平成7年）
筑波大学博士（平成22年）
3. 筑波大学体育系准教授
セントラルフロリダ大学客員研究員（H26～H27）
4. ミズノ（H11～H16）
筑波大学コーチ（H17～現在）
6. 110mH 13"39
7. 創意工夫、自然体



前村 公彦

短距離・障害コーチ

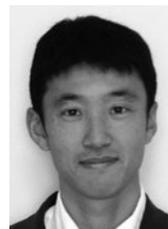
1. 1977.5.14
2. 筑波大学（平成9年）
同博士（平成14年）
3. 筑波大学体育系准教授
4. 環太平洋大学監督（平成17年～平成29年）
日本陸上競技連盟オリンピック強化コーチ（平成28年～現在）
7. 知的アスリートに！



榎本 靖士

監督／中距離コーチ

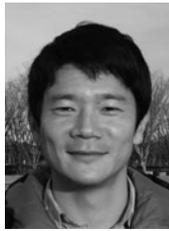
1. 1973.4.12
2. 筑波大学（平成8年）
同博士退学（平成13年）
3. 筑波大学体育系准教授
4. 筑波大学 アシスタントコーチ（H13.4～H16.3）
京都教育大学 部長・監督（H16.4～H23.1）
7. 「文武両道」、「スポーツマンシップ」、「内発的動機付け」、「セルフエフィカシー」、「行動変容」、そして「愛」を大切に！



木越 清信

跳躍・混成コーチ

1. 1976.5.7
2. 筑波大学（平成10）
同修士（平成12）
同博士（平成16）
3. 筑波大学体育系准教授
6. 棒高跳5m51
7. Maximum effect with minimum effort



大林 太郎

跳躍・混成アシスタントコーチ

1. 1988.10.17
2. 筑波大学学士（2011年）
同修士（2013年）
同博士（2020年）
ギリシャ・ペロポネソス大学院修士（2015年）
3. 筑波大学体育系助教
6. 十種競技6879点
7. 冷静かつ、大胆に



宮崎 明世

短距離コーチ

- 1.
2. 筑波大学（平成元年卒）
3. 筑波大学体育系 准教授
4. 都立高校教諭、筑波大学附属高校教諭を経て現職
6. やり投げ
7. 学生競技者として競技できるのは限られた短い期間です。自分なりに考えて勉強し、記録向上をめざして練習し、競技を楽しんでください！



中野 美沙

投擲アシスタントコーチ

1. 1981.11.27
2. 筑波大学（平成16年）
同修士（平成18年）
3. 筑波大学体育系研究員
6. やり投 55m62
7. 思考はシンプルに、行動は泥臭く！



弘山 勉

長距離コーチ

1. 1966.10.12
2. 筑波大学（平成元年）
3. 筑波大学 准教授
4. 資生堂ランニングクラブ
選手→コーチ→監督
5. 弘山晴美、藤永佳子、平田祐美、五十嶺綾
6. マラソン 2.11.37
7. 悔いのない学生時代、陸上競技道を歩んでほしい



武井 隼児

アシスタントコーチ

1. 1988.11.19
2. 群馬大学（平成23年）
筑波大学修士（平成25年）
3. 水戸協同病院 理学療法士
日本体育協会公認アスレチックトレーナー
6. 400mH 51"95
7. 今を大切に



木路 修平

長距離アシスタントコーチ

1. 1967.7.30
2. 筑波大学（平成2年）
同修士（平成23年）
3. 筑波大学アスレチックデパートメント研究員
4. 大塚製薬陸上競技部（平成2年～21年）
日本薬科大学陸上競技部コーチ（平成24年～令和元年）
7. 大きな夢の実現のために小さなことを一つ一つ丁寧に取り組んでいきましょう！



山田 里美

長距離アシスタントコーチ

1. 1978.7.9
2. 日本体育大学（平成13年）
同修士（平成25年）
3. 筑波大学職員
（筑波大学スポーツアソシエーション）
4. 青年海外協力隊（H15～H17）
資生堂ランニングクラブ（H17～H24）
日本スポーツ振興センター/競歩コーディネーター（H27～H29）
5. 須永千尋
7. かけがえのない大学陸上生活を大切に



向井 直樹

チームドクター

1. 1962.4.24
2. 筑波大学（昭和62年）
同博士（平成9年）
3. 筑波大学体育系准教授
4. 筑波大学チームドクター（H2～現在）
6. 100m 10"5



蒲原 一之

チームドクター

1. 1965.4.19
2. 筑波大学（平成5年）
同博士（平成15年）
3. 国立スポーツ科学センター 内科医
4. 筑波大学チームドクター（H20～現在）
6. 400mH 53"39
7. 同じ目標を持つ仲間を大切に、陸上競技の面白さを追求していきましょう。



鍋倉 賢治

顧問

1. 1963.10.13
2. 筑波大学（昭和61年）
同博士（平成3年）
3. 筑波大学体育系教授
6. マラソン 2.29.09
7. 学生らしく、探究心と自立心を高め、競技を楽しんで下さい！



白木 仁

顧問

1. 1957.1.15
2. 筑波大学（昭和54年）
同修士（昭和57年）
3. 筑波大学体育系教授
4. 筑波大学トレーナー（S60～63, H3～現在）
6. 100m 11"2、110mH 15"3、110mJH 14"7



令和3/令和4年度 筑波大学陸上競技部 役員

旧役員	
役職	氏名
部長	尾縣 貢
副部長	大山 圭悟
副部長	谷川 聡
監督	榎本 靖士
コーチ	宮崎 明世
	前村 公彦
	弘山 勉
	木越 清信
アシスタントコーチ	武井 隼児
	山田 里美
	中野 美沙
	大林 太朗
コーチアシスタント	奥平 征道
	太田 和希
	杉浦 澄美
	猿渡 裕貴
チームドクター	向井 直樹
	蒲原 一之
マネジメントスタッフ	深澤 浩洋
	大藏 倫博
	片岡 千恵

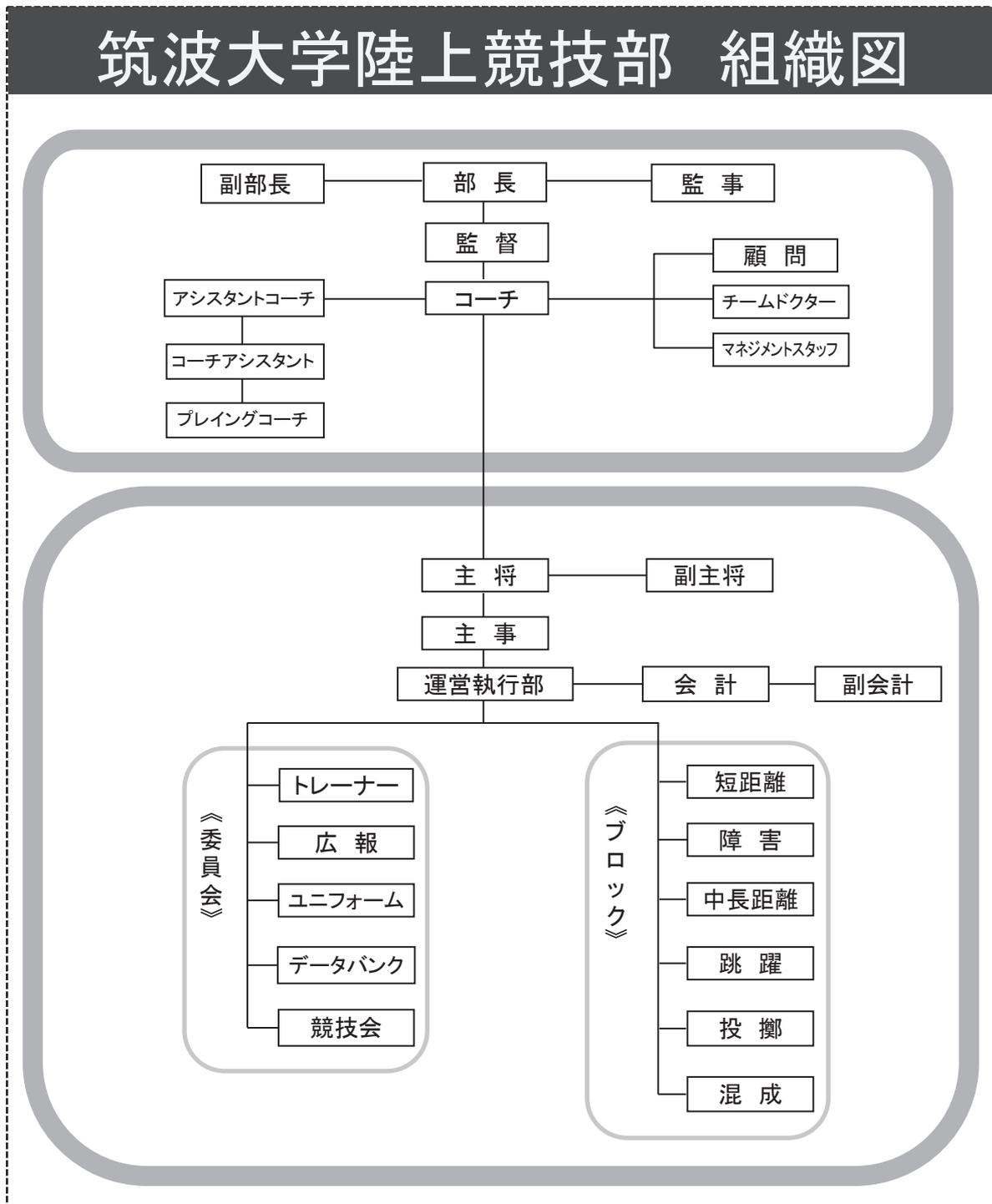
新役員	
役職	氏名
部長	尾縣 貢
副部長	大山 圭悟
副部長	谷川 聡
監督	榎本 靖士
コーチ	宮崎 明世
	前村 公彦
	弘山 勉
	木越 清信
アシスタントコーチ	武井 隼児
	山田 里美
	中野 美沙
	大林 太朗
コーチアシスタント	杉浦 澄美
チームドクター	向井 直樹
	蒲原 一之
マネジメントスタッフ	深澤 浩洋
	大藏 倫博
	片岡 千恵

令和3/令和4年度 筑波大学陸上競技部 役員(部員)

令和3年度		氏名:ブロック
役職		氏名:ブロック
主将		兵藤 秋穂
副主将		小林 裕季
		吉岡 美玲
主事		木塚 宙敬
		田中 彩菜
運営執行部	幹事	枝川 岳史
		増田 悠
		平賀 勇輝
		中谷 桐子
		安保 涼音
	庶務・渉外	伊藤 鴻児
	学内・学外競技会	塩川 大輔
	施設・用器具	早瀬 知穂
	OB・OG会	三戸部 聡大
	体育会	吉田 二千翔
	執行委員	酒井 寛之
		杉岡 瞭磨
		宮下 倫太郎
		平岩 志萌
		兵藤 柚花
	小林 璃々	
会計	小谷 柊太	
	高橋 香澄	
副会計	齋藤 如月	
	野口 美帆	
	鈴木 晨耀	
	江國 怜奈	
体育会運営委員		平岩 志萌
ブロック長	短距離	松尾 脩平
	障害	吉田 唯莉
	中長	有松 懂
	跳躍	藤内 雄大
	混成	小谷 柊太
	投擲	小林 裕季
ブロック主事	短障	小林 歩未
	中長	三戸部 聡大
	跳混	高良 彩花
	混成	尾関 航平
	投擲	齋藤 如月
委員長	競技会	小谷 柊太
	広報	兵藤 秋穂
	データバンク	寺岡 秀真
	トレーナー	荒川 大暉
	ユニフォーム	松尾修平
学年代表	1年	熊崎 風我
		八重樫 澄佳
	2年	新開 俊智
		景山 咲穂
	3年	松田 貫汰
		小林 歩未
	4年	小林 裕季
		吉田 唯莉
	大学院	薄田 健太郎
重山 源斗		

令和4年度		氏名
役職		氏名
主将(女子代表)		高良 彩花
副主将(男子代表)		伊藤 海斗
主事		伊藤 鴻児
		早瀬 知穂
運営執行部	幹事	塩川 大輔
		三戸部 聡大
		安保 涼音
		吉田 二千翔
		庶務・渉外
	庶務・渉外	兵藤 柚花
	学内・学外競技会	酒井 寛之
	施設・用器具	宮下 倫太郎
	OB・OG会	小林 璃々
	体育会	平岩 志萌
	執行委員	小野 優介
		木村 颯斗
		斉藤 一樹
		西出 怜央
		櫻井 凜
	原田 百那	
	堀内 律子	
会計	齋藤 如月	
	野口 美帆	
副会計	鈴木 晨耀	
	江國 怜奈	
	佐藤 康	
	村田 真悠	
体育会運営委員		原田 百那
ブロック長	短距離	桑野 拓海
	障害	久保田 太一
	中長	森 康太郎
	跳躍	藤井 稜真
	混成	尾関 航平
	投擲	橋本 昇悟
ブロック主事	短障	竹尾 昂起
	中長	佐藤 海斗
	跳混	渡邊 夏鈴
	混成	大井 悠
	投擲	宮崎 悠輔
委員長	競技会	渡邊 ももこ
	広報	塩崎 泉
	データバンク	井海 雅之
	トレーナー	三戸部 聡大
	ユニフォーム	福谷 颯太
学年代表	1年	令和4年4月に決定
		同上
	2年	熊崎 風我
		八重樫 澄佳
	3年	新開 俊智
		景山 咲穂
	4年	松田 貫汰
		池田 涼香
	大学院	令和3年4月に決定
同上		

筑波大学陸上競技部 組織図



令和3年度 対校戦全成績

関東インカレ (5/20-23 相模原ギオンスタジアム)

<男子1部>

種目	名前	学年	記録	風速	順位
100m	鵜澤 飛羽	1 予	10.30	0.9	1
	鵜澤 飛羽	1 準	10.20	4.5	2
	鵜澤 飛羽	1 決	10.07	5.5	2
	池田 成諒	2 予	10.56	1.7	6
	桑野 拓海	3 予	10.53	1.5	6
200m					
400m	吉川 峻	2 予	48.02		2
	吉川 峻	2 準	48.23		6
	今泉 堅貴	2 予	48.09		5
	松尾 脩平	4 予	47.42		2
	松尾 脩平	4 準	47.35		2
800m	松尾 脩平	4 決	47.65		6
	本多創一郎	4 予	1.54.80		6
	森 康太朗	3 予	1.52.18		4
	森 康太朗	3 準	1.55.81		7
	二見 優輝	1 予	1.53.57		3
1500m	二見 優輝	1 準	1.52.37		4
	二見 優輝	1 決	1.54.79		7
	小林 竜也	3 予	3.48.36		2
	小林 竜也	3 決	3.53.42		7
	吉田 海渡	1 予	3.54.16		11
5000m	田中 蒼大	4 予	3.49.58		11
	小林 竜也	3 決	14.12.37		10
	10000m				
	福谷 颯太	3 決	29.51.79		26
	ハーフマラソン				
伊藤 太貴	4 決	1.05.01		30	
10000mW	林 祥太郎	4 決	46.20.10		10
	110mH				
	久保田太一	3 予	14.20	0.1	5
	久保田太一	3 準	13.88	6.7	5
	400mH				
菅野 航平	1 予	52.51		5	
3000mSC	松村 匡悟	3 予	8.59.80		6
	松村 匡悟	3 決	8.59.38		9
	4×400mR				
	菅野 航平	1 予	3.09.19		2
	松尾 脩平	4			
走高跳	今泉 堅貴	2			
	吉川 峻	2			
	松尾 脩平	4 決	3.10.12		5
	今泉 堅貴	2			
	菅野 航平	1			
三段跳	吉川 峻	2			
	柴田涼太郎	3 決	2.08		4
	藤井 稜真	3 決	2.08		7
	武政壮之助	1 決	2.00		10
	棒高跳				
菅 颯一郎	4 決	4.90		8	
走幅跳	松井 駿斗	2 決	4.80		11
	古澤 一生	1 決	5.20		3
	榎木 拓	1 決	6.70	+3.8	22
	三段跳				
	兒玉 直之	4 決	15.28	+2.5	8
砲丸投	田中 洋行	4 決	14.69	+4.0	15
	松田 基	3 決	15.73	+3.0	2
	石原 唯斗	2 決	15.64		8

松田 貫汰	3 決	15.22		12
上内 達司	1 決	13.53		14
円盤投				
執行 大地	2 決	41.66		15
ハンマー投				
小林 裕季	4 決	60.08		6
執行 大地	2 決	59.66		7
やり投				
堤 洸太郎	2 決	68.25		4
杉山 駿介	4 決	64.14		10
高橋 秀徳	3 決	60.49		22
十種競技				
新開 俊智	2 決	6461		8

<男子3部>

種目	名前	学年	記録	風速	順位
100m	齋藤 勇真	M1 決	10.77	1.9	5
	齋藤 直彦	M1 決	10.97	1.9	6
200m	齋藤 勇真	M1 決	21.84	-0.6	6
400mH	村富浩太朗	M1 決	51.74		1
	加藤 優尚	M1 決	52.03		3
3000mSC	重山 源斗	M1 決	9.13.16		1
10000mW	山本 隼汰	M1 決	42.54.69		1
棒高跳	内山 朋也	M1 決	5.20		2
	小木 曾光	M1 決	5.20		1
走幅跳	芝井 良太	M2 決	5.00		4
	谷内 剣	M2 決	6.92	-1.1	1
砲丸投	池川 博史	M1 決	13.37		1
	岩田 知大	M2 決	12.68		2
円盤投	岩田 知大	M2 決	45.02		1
ハンマー投	富永 天平	M1 決	59.25		2
	岩田 知大	M2 決	58.27		3
やり投	池川 博史	M1 決	60.52		1

<女子1部>

種目	名前	学年	記録	風速	順位
100m	景山 咲穂	2 予	11.85	0.9	2
	景山 咲穂	2 準	11.88	3.6	4
	三浦 由奈	2 予	12.02	1.1	2
	三浦 由奈	2 準	11.89	3.6	5
	檀上明日香	4 予	12.16	0.5	3
200m	松永 朋子	1 予	25.60	-1.4	7
	三浦 由奈	2 予	25.46	-2.1	2
	三浦 由奈	2 準	24.81	2.0	5
	景山 咲穂	2 予	24.66	-1.0	2
	景山 咲穂	2 準	24.19	3.4	2
400m	景山 咲穂	2 決	24.15	4.4	5
	川島 実桜	1 予	57.57		3
	松永 朋子	1 予	57.76		7
	800m				
	中谷 桐子	4 予	2.13.19		3
中谷 桐子	4 準	2.12.68		6	
	澤井 柚葉	2 予	2.13.25		5
	澤井 柚葉	2 準	2.21.22		8
	川島 実桜	1 予	2.11.96		4
	川島 実桜	1 準	2.11.11		1
1500m	川島 実桜	1 決	2.09.08		3
	檜原 沙紀	2 予	4.28.57		4
	檜原 沙紀	2 決	4.25.09		2

5. 令和3年度 対校戦全成績

	澤井 柚葉	2	予	4.29.10	5
	澤井 柚葉	2	決	4.46.30	12
	兵藤 柚花	2	予	4.33.29	6
5000m	檜原 沙紀	2	決	16.28.38	4
	高橋 香澄	4	決	17.23.01	20
10000m	高橋 香澄	4	決	35.34.23	11
3000mSC	本庄悠紀奈	3	決	11.13.19	12
4×100m	景山 咲穂	2	予	46.33	1
	三浦 由奈	2			
	松永 朋子	1			
	檀上明日香	4			
	景山 咲穂	2	決	46.61	4
	三浦 由奈	2			
	松永 朋子	1			
	檀上明日香	4			
4×400m	景山 咲穂	2	予	3.45.96	1
	松永 朋子	1			
	中谷 桐子	4			
	川島 実桜	1			
	景山 咲穂	2	決	3.49.63	5
	松永 朋子	1			
	中谷 桐子	4			
	川島 実桜	1			
走高跳	八重樫澄佳	1	決	1.65	9
	宗澤ティファニー	1	決	1.60	16
棒高跳	塩崎 泉	3	決	4.00	2
	藤家 麻鈴	2	決	3.40	15
走幅跳	吉岡 美玲	4	予	5.85 +1.0	2
			決	5.79 -0.9	3
	高良 彩花	3	予	6.23 +1.4	1
			決	6.26 -0.2	1
	吉田二千翔	3	予	5.40 +1.2	8
三段跳	山下 桐子	4	予	12.50 +0.2	2
			決	12.79 +1.2	2
	佐伯 舞子	2	予	12.34 +1.4	5
			決	12.31 +1.3	8
砲丸投	アヒンバレティナ	4	決	13.34	8
	西山 藍那	2	決	12.83	13
	小松 真琴	3	決	12.42	16
円盤投	アヒンバレティナ	4	決	43.96	7
	小松 真琴	3	決	43.62	8
	西山 藍那	2	決	41.2	10
ハンマー投	渡邊ももこ	3	決	58.93	2
	平岩 志萌	2	決	51.87	4
やり投	兵藤 秋穂	4	決	51.05	4
	内田 萌奈	2	決	DNS	
	堀内 律子	1	決	DNS	
七種競技	池田 涼香	3	決	4857	6

<女子2部>

種目	名前	学年	記録	風速	順位
円盤投	半田 水晶	M2	決 46.25		1
やり投	黒住 莉那	M2	決 46.30		1

日本インカレ (9/17-19 熊谷スポーツ文化公園)

<男子>

<総合>

1	順天堂大	86点
2	日本大	55点
3	早稲田大	46点
4	法政大	38点
5	九州共立大	36点
6	東洋大	36点
10	筑波大	27点

<トラック>

1	順天堂大	63点
2	早稲田大	46点
3	法政大	36点
4	東洋大	33点
5	城西大	19点
6	明治大	18点
15	筑波大	10点

<フィールド>

1	九州共立大	36点
2	日本大	36点
3	福岡大	26点
4	日本体育大	22.5点
5	近畿大工業高専	22点
6	順天堂大	19点
7	筑波大	17点

<女子>

<総合>

1	日本体育大	93点
2	立命館大	54点
3	九州共立大	54点
4	青山学院大	44点
5	福岡大	43.5点
6	筑波大	40点

<トラック>

1	立命館大	54点
2	日本体育大	53点
3	青山学院大	38点
4	名城大	33点
5	福岡大	30点
6	順天堂大	22点
20	筑波大	7点

<フィールド>

1	九州共立大	48点
2	筑波大	33点
3	日本体育大	32点
4	大阪体育大	20点
5	日本大	18.5点
6	園田学院女子大	17点

<男子>

種目	名前	学年	記録	風速	順位
100m	池田 成諒	2 予	10.67	0.2	4
	辰巳 新	3 予	10.68	0.4	4
	桑野 拓海	3 予	10.52	1.2	3
200m	齋藤 勇真	M1 予	21.38	0.4	5
	菅野 航平	1 予	48.46		3
400m	今泉 堅貴	2 予	48.72		5
	松尾 脩平	4 予	47.82		2
	松尾 脩平	4 準	49.95		8
	本多創一郎	4 予	1.51. 23		3
800m	本多創一郎	4 準	1.51. 97		5
	南田 航希	2 予	1.51. 43		2
	南田 航希	2 準	1.55. 86		8
	二見 優輝	1 予	1.51. 59		2
	二見 優輝	1 準	1.52. 76		6
	井内 優輔	4 予	3.45. 57		4
1500m	井内 優輔	4 決	3.57. 06		13
5000m	杉山 魁声	4 決	14.02.24		5
	小林 竜也	3 決	14.55.08		23
110mH	久保田太一	3 予	14.03	0.8	3
	久保田太一	3 準	14.66	-1.4	8
400mH	加藤 優尚	M1 予	51.07		3
	加藤 優尚	M1 準	53.09		6
	村富浩太郎	M1 予	51.54		2
	村富浩太郎	M1 準	51.31		4
	新城 雄基	M3 予	52.31		2
	新城 雄基	M3 準	51.49		3
3000mSC	松村 匡悟	3 決	8.44.57		3
4×100mR	桑野 拓海	3 予	39.88		1
	齋藤 勇真	M1			
	伊藤 海斗	3			
4×400mR	池田 成諒	2 予	3.10.56		2
	松尾 脩平	4 予			
	今泉 堅貴	2 予			
4×400mR	菅野 航平	1 予			
	村富浩太郎	M1 予			
	村富浩太郎	M1 準			
10000mW	山本 隼汰	M1 決	43.31.33		15
走高跳	柴田涼太郎	3 決	2.10		5
	藤井 稜真	3 決	2.10		7
	大沼 樹生	2 決	2.05		9
	内山 朋也	M1 決	NM		
棒高跳	松井 駿斗	2 決	5.00		10
	古澤 一生	1 決	5.40		1
走幅跳	宮内 勝史	4 決	7.37	+0.6	13
三段跳	兒玉 直之	4 決	15.38	+1.5	10
	松田 基	3 決	15.19	+0.2	16
砲丸投	石原 唯斗	2 決	14.35		20
円盤投	岩田 知大	M2 決	44.87		19
ハンマー投	小林 裕季	4 決	61.19		10
	岩田 知大	M2 決	55.58		21
やり投	執行 大地	2 決	NM		
	堤 洸太郎	2 決	70.31		5
	杉山 駿介	4 決	61.99		25
	巖 優作	1 決	DNS		

<女子>

種目	名前	学年	記録	風速	順位
100m	三浦 由奈	2 予	12.08	0.4	2
	三浦 由奈	2 準	12.01	1.4	5
	檀上明日香	4 予	12.45	-0.1	4
200m	三浦 由奈	2 予	24.91	0.8	3
	三浦 由奈	2 準	25.43	-0.1	8
800m	中谷 桐子	4 予	2.11.25		3
	中谷 桐子	4 準	2.13.23		6
	綾野 千優	2 予	DNF		
1500m	川島 実桜	1 予	2.13.91		2
	川島 実桜	1 準	2.14.00		6
	檜原 沙紀	2 予	4.26.48		2
	檜原 沙紀	2 決	4.24.61		3
	澤井 柚葉	2 予	DNS		
	兵藤 柚花	2 予	4.28.43		5
100mH	本庄悠紀奈	3 決	10.34.57		10
3000mSC	檜原 沙紀	2 決	10.17.41		8
4×100mR	吉岡 美玲	4 予	47.26		3
	檀上明日香	4 予			
	三浦 由奈	2 予			
4×400mR	松永 朋子	1 予	3.53.31		3
	川島 実桜	1 予			
	松永 朋子	1 予			
	檀上明日香	4 予			
走高跳	中谷 桐子	4 決			
	宗澤ティファニー	1 決	1.65		10
棒高跳	八重檜澄香	1 決	1.65		15
	塩崎 泉	3 決	3.70		11
走幅跳	藤家 麻鈴	2 決	NM		
	吉岡 美玲	4 決	6.13	+0.4	2
	高良 彩花	3 決	6.33	+0.3	1
三段跳	竹元 咲	1 決	5.48	+0.6	27
	山下 桐子	4 決	11.94	+0.6	24
	高良 彩花	3 決	12.95	+0.2	2
砲丸投	佐伯 舞子	2 決	12.02	+0.8	22
	アヒンバレティナ	4 決	11.83		23
	西山 藍那	2 決	11.83		24
円盤投	西山 藍那	2 決	46.07		6
	小松 真琴	3 決	41.05		17
ハンマー投	半田 水晶	M2 決	NM		
	渡邊ももこ	3 決	58.76		2
	真鍋 綾萌	3 決	52.19		14
やり投	平岩 志萌	2 決	50.96		21
	兵藤 秋穂	4 決	51.30		8
	堀内 律子	1 決	47.40		16
七種競技	黒住 莉那	M2 決	41.78		30
	池田 涼香	3 決	DNF		
	橋本 春菜	M1 決	44.28		18

関甲信大学陸上競技代替大会

(10/16-17 筑波大学陸上競技場)

<男子>

種目	名前	学年	記録	風速	順位
100m	田中 健太	2 予	11.20	0.2	3
	田中 健太	2 決	11.21	0.1	6
	中山 颯太	2 予	11.11	0.2	2
	中山 颯太	2 決	11.17	0.1	3
	小野 遼秋	4 予	11.14	0.6	4
	小野 遼秋	4 決	12.41	0.1	8
200m	齋藤 陸	1 決	22.66	-0.7	3
	松尾 脩平	4 決	21.96	-0.5	1
400m	中川 祐哉	1 予	50.49		1
	中川 祐哉	1 決	48.88		2
	古澤 慎也	1 予	49.43		1
	古澤 慎也	1 決	48.33		1
800m	竹尾 昂起	2 予	50.92		3
	竹尾 昂起	2 決	49.50		3
	井海 雅之	3 決	1.59.23		3
	上原 由希	2 決	2.02.54		5
1500m	木佐 亮太	1 決	2.01.72		4
	深澤 優希	4 決	4.06.91		7
	幟立 晃汰	4 決	3.56.69		2
5000m	吉川 右門	4 決	4.03.85		6
	中山 純静	1 決	15.09.60		3
	富山 翔太	2 決	15.18.41		4
10000mW	本村 春人	1 決	15.47.75		6
	久保田太一	3 決	14.62	0.1	1
110mH	藤井 稜真	3 決	15.18	0.1	2
	小野木宏太	1 決	9.28.07		1
3000mSC	岡田 拓朗	2 決	10.29.66		6
	幟立 晃汰	4 決	9.42.48		2
	西出 怜央	1 決	42.03		1
4×100mR	中山 颯太	2			
	齋藤 陸	1			
	田中 健太	2			
4×400mR	池田 昌史	2 決	3.18.96		1
	古澤 慎也	1			
	竹尾 昂起	2			
走高跳	柴田涼太郎	3 決	2.00		1
	武政壮之助	1 決	1.95		2
	松井 泰誠	1 決	1.75		6
棒高跳	小木曾 光	M1 決	5.00		1
	芝井 良太	M2 決	4.60		2
走幅跳	菅 颯一郎	4 決	NM		
	宮下倫太郎	2 決	5.62	-0.1	8
	久保田将也	1 決	6.94	+0.3	3
三段跳	田中 洋行	4 決	13.89	+0.8	2
	伊藤 鴻児	3 決	13.55	+0.4	6
	西澤 和輝	2 決	12.25	-0.4	9
砲丸投	橋本 昇悟	3 決	13.89		1
	岩田 知大	M2 決	12.44		3
	佐々木幸太郎	3 決	11.78		5
円盤投	岩田 知大	M2 決	41.99		1
	執行 大地	2 決	40.96		2

ハンマー投	齋藤 如月	3 決	36.31		3
	岩田 知大	M2 決	55.71		1
	執行 大地	2 決	54.77		2
やり投	佐々木幸太郎	3 決	39.77		3
	橋本 昇悟	3 決	53.02		1
十種競技	執行 大地	2 決	50.60		2

<女子>

種目	名前	学年	記録	風速	順位
100m	野口 美帆	3 決	13.24	-0.1	3
200m	平野 瑞季	2 決	27.16	1.7	3
	三浦 由奈	2 決	25.11	1.7	1
400m	綾野 千優	2 決	1.00.99		2
	櫻井 凜	1 決	1.03.09		5
800m	平野 瑞季	2 決	1.02.21		3
	櫻井 凜	1 決	2.25.88		1
1500m	川島 実桜	1 決	4.43.59		1
	原田 百那	1 決	4.58.05		2
	村田 真悠	1 決	5.01.40		3
5000m	原田 百那	1 決	18.48.77		1
	村田 真悠	1 決	18.56.96		2
10000m					
100mH	吉武理香子	M2 決	15.6	-0.3	2
	江國 怜奈	2 決	14.93	-0.3	1
3000mSC					
4×100m					
4×400m	三浦 由奈	2 決	4.00.60		1
	櫻井 凜	1			
	平野 瑞季	2			
走高跳	川島 実桜	1			
	金光 春香	6 決	1.55		1
	武田ひすい	3 決	NM		
棒高跳	深澤 南	2 決	NM		
	安保 涼音	3 決	2.90		1
	塩崎 泉	3 決	NM		
走幅跳	早瀬 知穂	3 決	5.09	-0.2	6
	吉田二千翔	3 決	5.49	-0.2	3
	渡邊 夏鈴	2 決	5.47	0.0	4
	金光 春香	6 決	11.03	+0.7	6
三段跳	野口 美帆	3 決	10.82	+1.1	7
	佐伯 舞子	2 決	11.70	+0.8	4
	西山 藍那	2 決	12.44		1
砲丸投	半田 水晶	M2 決	11.40		2
	寺崎 真央	1 決	11.39		3
	西山 藍那	2 決	43.32		1
円盤投	寺崎 真央	1 決	37.39		2
	内田 萌奈	2 決	37.26		3
	真鍋 綾萌	3 決	49.55		1
ハンマー投	高孝 美咲	1 決	46.99		2
	半田 水晶	M2 決	38.57		4

第39回全日本女子大学駅伝対校選手権大会 (10/31)

<総合成績>

1	名城大	2:02:59
2	大東文化大	2:05:35
3	拓殖大	2:06:23
4	立命館大	2:06:30
5	日本体育大	2:06:56
6	大阪学院大	2:07:07
7	城西大	2:07:10
8	松山大	2:07:18
9	東北福祉大	2:08:46
10	関西大	2:09:05
<hr/>		
20	筑波大	2:11:33

<個人成績>

区間	名前	距離	記録	順位
1区	檜原 沙紀	6.6km	22:34	16
2区	澤井 柚葉	3.9km	12:51	12
3区	西永 菜津	6.9km	23:26	12
4区	阿部 風薫	4.8km	16:32	13
5区	高橋 香澄	9.2km	32:05	20
6区	本庄悠紀奈	6.7km	24:05	18

富士山女子駅伝 (12/30)

<総合順位>

1	名城大	2° 22'24"
2	大東文化大	2° 25'22"
3	日本体育大	2° 25'59"
4	立命館大	2° 26'19"
5	松山大	2° 26'24"
6	拓殖大	2° 26'33"
7	城西大	2° 28'09"
8	全日本大学選抜	2° 28'15"
9	大阪芸術大	2° 28'21"
10	大阪学院大	2° 28'55"
<hr/>		
23	筑波大	2° 36'17"

<個人成績>

区間	名前	距離	記録	順位
1区	澤井 柚葉	4.1km	13'42	19
2区	檜原 沙紀	6.8km	22'58	22
3区	兵藤 柚花	3.3km	11'04	21
4区	本庄悠紀奈	4.4km	16'43	23
5区	高橋 香澄	10.5km	37'01	22
6区	阿部 風薫	6.0km	22'04	24
7区	西永 菜津	8.3km	32'45	21

第98回箱根駅伝予選会 (10/23 陸上自衛隊立川駐屯地)

<総合成績>

1	明治大	10:33:22
2	中央大	10:37:38
3	日本体育大	10:39:32
4	山梨学院大	10:41:15
5	神奈川大	10:41:57
6	法政大	10:42:12
7	中央学院大	10:43:08
8	駿河台大	10:44:47
9	専修大	10:44:58
10	国士館大	10:45:41
<hr/>		
13	筑波大	10:48:14

<個人成績>

名前	学年	記録	順位
福谷 颯太	3	1:02:58	16
杉山 魁声	4	1:03:38	44
小林 竜也	3	1:03:42	49
皆川 和範	2	1:03:51	59
伊藤 太貴	4	1:03:56	69
平山 大雅	2	1:04:26	105
國井 辰磨	3	1:05:32	182
松村 匡悟	3	1:06:16	232
山本 尊仁	4	1:06:56	272
長井 隆星	2	1:06:59	276
藤原潤乃佑	2	1:07:40	302
長谷川嵩汰	2	1:09:45	371

第98回箱根駅伝 1/2 関東学連選抜

5区	福谷 颯太	3	1:13:01	区間10位相当
----	-------	---	---------	---------

令和3年度 個人記録集

- 1 出身校(所在地)
 - 2 所属(学年)
 - 3 役職
 - 4 自己最高記録
- 令和3年度の記録
(日付・種目・記録・大会名)

短距離・障害ブロック

新城 雄基

1	専修大松戸高校(千葉)
2	D1
3	
4	400m 49.55
	400mH 50.37
8/21	400mH 51.63 ⑥記録突破会
9/18	400mH 52.31 日本IC・予
9/18	400mH 51.49 日本IC・準

中西 慧太

1	栃木高校(栃木)
2	M2
3	
4	100m 10.97
	200m 21.85
4/3	100m1次 10.97(+1.8)①筑大競
4/3	100m2次 11.26(+0.2)①筑大競
4/4	200m 22.69(-2.0) ①筑大競
4/17	100m1次 11.13(+1.3) ②筑大競
5/2	200m 22.23(+0.1)①記録突破会
5/29	100m1次 11.02(+1.4) ③記録突破会
5/29	100m2次 11.07(+1.2) ③記録突破会
7/18	200m 21.94(+1.7) 国体選考会
8/20	100m1次 10.99(+2.0)⑥記録突破会
8/20	100m2次 11.15(+0.9)⑥記録突破会
8/21	200m 22.57(-0.1) ⑥記録突破会
8/22	200m 23.06(-0.8) 関東選手権
10/16	100m 11.51(+0.8) 佐野選手権
10/17	300m 34.45 田島記念
10/23	100m 11.24(+2.1)⑥筑大競
10/24	200m 22.75(-0.3) ⑥筑大競

齋藤 勇真

1	九州学院高校(熊本)
2	M1
3	
4	100m 10.4
	200m 20.9
5/1	100m1次 10.74(-1.0) ①記録突破会
5/1	100m2次 10.70(+3.0)①記録突破会
5/20	100m 10.77(+1.9) 関東IC
5/22	200m 21.84(-0.6) 関東IC
6/6	200m 21.74(+0.9)個人選手権・予
7/24	100m1次 10.66(+0.8)順天堂記録会
7/24	100m2次 10.69(-0.4) 順天堂記録会
8/9	100m1次 10.61(+1.9) 佐野スプリント
8/9	100m2次 10.52(+2.0) 佐野スプリント
8/22	200m 21.68(-0.5) 九州選手権
8/22	200m 21.34(+0.3)九州選手権
9/18	200m 21.38(+0.4)日本IC・予

10/18 200m 21.43(+1.1) 順天堂記録会

畑浦 秀哉

1	生野高校(大阪)
2	M1
3	
4	200m 21.48
	400m 48.35
4/17	100m1次 11.51(+0.3) ②筑大競
8/20	400m 50.86 ⑥記録突破会
8/21	200m 22.47(+0.4) ⑥記録突破会
10/10	200m 22.56(-0.2) ⑤筑大競
10/24	200m 22.45(-0.3) ⑥筑大競

加藤 優尚

1	市立船橋高校(千葉)
2	M1
3	
4	400mH 51.07
6/5	400mH 51.78 個人選手権・予
6/5	400mH 52.49 個人選手権・準
7/24	400mH 52.27 順天堂記録会
8/21	400mH 51.43 ⑥記録突破会
9/18	400mH 51.07 日本IC・予
9/18	400mH 53.09 日本IC・準
10/18	400mH 54.16 順天堂記録会

村富 浩太郎

1	日南高校(宮崎)
2	M1
3	
4	400mH 50.98
6/5	400mH 51.91 個人選手権・予
6/5	400mH 51.59 個人選手権・準
8/20	400m 48.36 ⑥記録突破会
8/21	400mH 51.36 ⑥記録突破会

荒川 大暉

1	富山高校(富山)
2	体育④
3	トレーナー
4	100m 10.75

生亀 幸輝

1	山形中央高校(山形)
2	体育④
3	トレーナー
4	400m 47.40

江口 輝

1	福岡大附属大濠高校(福岡)
2	体育④
3	トレーナー
4	100m 10.62
4/17	100m1次 11.08(+1.9) ②筑大競
5/29	100m2次 11.06(+2.0) ③記録突破会
8/20	100m1次 10.77(+2.0) ⑥記録突破会
8/20	100m2次 10.96(+1.6) ⑥記録突破会

枝川 岳史

1	札幌北高校(北海道)
2	体育④
3	広報
4	100m 48.92
	200m 23.13
5/1	400m 50.76 ①記録突破会
8/21	400m 50.05 北海道選手権・予
8/21	400m 50.12 北海道選手権・準
8/21	400m 49.82 北海道選手権・決
8/27	400m 48.96 ⑧記録突破会

小野 遼秋

1	市立堀川高校(京都)
2	理工④
3	競技会
4	100m 10.92
8/20	100m1次 11.27(+1.8) ⑥記録突破会
8/20	100m2次 11.49(+1.6) ⑥記録突破会
8/27	100m 11.23(+0.7) ⑧記録突破会
10/16	100m 11.14(+0.6) 関甲信・予
10/16	100m 12.41(+0.1) 関甲信・決

高橋 優作

1	高崎高校(群馬)
2	体育④
3	広報
4	100m 10.49
	200m 21.69
4/3	100m1次 10.91(+1.8) ①筑大競
4/3	100m2次 11.08(+0.2) ①筑大競

仲井 陽大

1	時習館高校(愛知)
2	体育④
3	競技会
4	100m 10.90
4/17	100m1次 11.39(+1.9) ②筑大競
5/1	100m1次 11.07(+0.4) ①記録突破会
5/1	100m2次 11.01(+3.0) ①記録突破会
5/29	100m1次 11.04(+1.4) ③記録突破会
5/29	100m2次 11.07(+1.2) ③記録突破会
5/30	200m 22.35(-1.2) ③記録突破会
6/19	100m1次 11.24(+0.1) ③筑大競
6/19	100m2次 11.26(0.0) ③筑大競
6/20	200m 22.39(+0.8) ③筑大競
8/20	100m1次 11.66(+2.0) ⑥記録突破会
8/20	100m2次 11.45(+1.6) ⑥記録突破会

松尾 脩平

1	長崎南山高校(長崎)
2	体育④
3	ユニフォーム
4	400m 46.81
	200m 21.57
	100m 10.95
3/20	300m 34.27 宮崎県記録会
4/3	400m 48.41 ①筑大競
5/1	400m 47.91 ①記録突破会
5/20	400m 47.42 関東IC・予
5/20	400m 47.35 関東IC・準
5/21	400m 47.65 関東IC・決

8/20	400m	48.01	⑥記録突破会
9/17	400m	47.82	日本IC・予
9/17	400m	49.95	日本IC・準
10/17	200m	21.96(-0.5)	関甲信

喜多 綾音

1	西京高校(京都)		
2	体育④		
3	競技会		
4	100m	12.06	
4/3	100m1次	13.22(+0.4)	①筑大競
5/1	100m1次	13.60(+0.9)	①突破記録会
5/1	100m2次	13.50(+0.6)	①突破記録会

檀上 明日香

1	生野高校(大阪)		
2	体育④		
3	広報		
4	100m	11.81	
4/3	100m1次	12.26(+0.4)	①筑大競
4/3	100m2次	12.23(-0.6)	①筑大競
8/20	100m1次	12.09(+1.9)	⑥突破記録会
8/27	100m	12.36(+1.0)	⑧突破記録会
9/17	100m	12.45(-0.1)	日本IC・予

吉田 唯莉

1	小松商業高校(石川)		
2	体育④		
3	トレーナー		
4	100mH	13.45	
4/17	100m	13.09(+3.4)	②筑大競
5/1	100mH1次	14.79(-0.2)	①突破記録会
5/1	100mH2次	14.95(-2.5)	①突破記録会
5/20	100mH	14.60(-0.1)	関東IC・予
8/9	100mH1次	14.81(+1.0)	②栃木スプリント
8/9	100mH2次	14.46(+0.9)	②栃木スプリント
9/18	100mH	14.39(+0.9)	日本IC・予

阿部 龍斗

1	福岡大学附属大濠高校(福岡県)		
2	体育③		
3			
4	110mH	14.09	
5/29	100m2次	10.66(+2.0)	③記録突破会
7/10	100m	10.91(-1.8)	国体選考会
7/10	100m	10.75(0.0)	国体選考会
8/22	100m	10.85(+1.5)	九州選手権

伊藤 海斗

1	新居浜東高校(愛媛)		
2	体育③		
3			
4	200m	20.91	
3/21	200m	22.57(+0.4)	宮崎県記録会
4/3	400m	50.09	①筑大競
4/4	200m	24.95(-2.0)	①筑大競
8/21	200m	22.07(-0.1)	⑥記録突破会
8/27	100m	10.90(+0.7)	⑧記録突破会

鹿島 蘭童

1	川越高校(埼玉)		
2	社会・国際③		
3			
4	400m	50.70	
5/29	400m	51.58	③記録突破会

桑野 拓海

1	宮崎北高校(宮崎)		
2	体育③		
3			
4	100m	10.35	
	200m	20.84	
4/3	100m1次	10.68(+1.8)	①筑大競
4/17	100m1次	10.55(+3.8)	②筑大競
5/20	100m	10.53(+1.5)	関東IC・予
6/5	100m	10.57(+2.5)	個人選手権・予
7/10	100m	10.69(+0.4)	順天堂記録会
8/9	100m	10.48(+0.1)	宮崎県強化記録会
8/9	200m	21.72(+1.9)	宮崎県強化記録会
8/20	100m1次	10.43(+2.0)	⑥記録突破会
8/20	100m2次	10.65(+0.9)	⑥記録突破会
8/21	200m	21.79(-0.1)	⑥記録突破会
9/17	100m	10.52(+1.2)	日本IC・予
10/16	100m	11.17(-0.4)	佐野選手権

久保田 太一

1	社高校(兵庫)		
2	体育③		
3			
4	110mH	14.12	
3/20	110mH	14.16(+2.5)	宮崎県記録会
4/3	110mH1次	14.21(-0.3)	①筑大競
4/3	110mH2次	14.12(+0.8)	①筑大競
4/3	100m1次	10.95(+1.1)	①筑大競
4/17	110mH1次	14.23(+0.6)	②筑大競
4/17	110mH2次	13.99(+4.1)	②筑大競
5/1	110mH1次	14.65(+0.5)	①記録突破会
5/1	110mH2次	14.30(-1.7)	①記録突破会
5/20	110mH	14.20(+0.1)	関東IC・予
5/21	110mH	13.88(+6.7)	関東IC・準
6/4	110mH	14.08(+2.7)	個人選手権・予
6/4	110mH	13.81(+4.5)	個人選手権・準
6/4	110mH	13.75(+3.8)	個人選手権・決
6/19	110mH	14.37(+0.5)	③筑大競
7/17	110mH	14.08(+0.3)	2021オールスターナット陸上
8/20	110mH1次	13.99(+2.0)	⑥記録突破会
8/20	110mH2次	14.08(+1.2)	⑥記録突破会
9/18	110mH	14.03(+0.8)	日本IC・予
9/19	110mH	14.66(-1.4)	日本IC・準
10/16	110mH	14.62(+0.1)	関甲信

塩川 大輔

1	下関西高校(山口)		
2	体育③		
3			
4	400mH	51.14	
3/21	300mH	39.26	宮崎県記録会
5/1	400m	50.54	①記録突破会
6/19	110mH1次	14.80(0.0)	③筑大競
6/19	110mh2次	14.57(-0.1)	③筑大競
7/10	110mH	14.51(0.0)	順天堂記録会
8/20	110mH	16.69(+2.0)	⑥記録突破会
10/16	110mH	14.38(-1.0)	田島記念
10/23	110mH1次	14.26(+1.2)	⑥筑大競
10/23	110mh2次	14.09(+1.3)	⑥筑大競

辰巳 新

1	富山第一高校(富山)		
2	体育③		
3			
4	100m	10.37	
8/27	100m	10.97(+0.7)	⑧記録突破会
9/17	100m	10.68(+0.4)	日本IC・予
10/23	100m1次	10.62(+2.1)	⑥筑大競

10/23	100m2次	10.58(+2.0)	⑥筑大競
-------	--------	-------------	------

小林 歩未

1	船橋市立船橋高校(千葉)		
2	体育③		
3	データバンク		
4	100mH	13.34	
3/20	100mH	14.27(+1.1)	宮崎県記録会
4/3	100mH1次	13.64(+1.1)	①筑大競
4/3	100mH2次	14.07(+1.7)	①筑大競
4/3	100m1次	12.42(+0.4)	①筑大競
4/17	100mH1次	13.71(+1.2)	②筑大競
4/17	100mH2次	13.94(+2.1)	②筑大競
4/29	100mH	14.13(+1.3)	織田記念
5/1	100mH	14.00(-0.1)	①突破記録会
5/20	100mH	13.77(+0.5)	関東IC・予
5/21	100mH	13.40(+4.1)	関東IC・準
5/21	100mH	13.19(+4.2)	関東IC・決
6/1	100mH	13.57(-0.1)	木南記念・予
6/4	100mH	13.81(+3.0)	学生個人・予
6/25	100mH	13.76(-0.3)	日本選手権・予

今泉 堅貴

1	福岡大学附属大濠高校(福岡)		
2	体育②		
3	競技会		
4	200m	21.66	
	400m	46.92	
4/17	400m	48.70	②記録突破会
5/2	400m	48.85	福岡県選・予
5/2	400m	48.16	福岡県選・決
5/20	400m	48.09	関東IC・予
6/4	400m	48.30	個人選手権・予
6/4	400m	48.06	個人選手権・準
6/4	400m	48.55	個人選手権・決
6/19	400m	47.86	③筑大競
8/20	400m	48.19	九州選手権
9/17	400m	48.72	日本IC・予
10/23	400m	48.31	⑥筑大競

池田 成諒

1	鳥原高校(長崎)		
2	体育②		
3	ユニフォーム		
4	100m	10.45	
	200m	21.26	
4/3	100m1次	10.83(+1.9)	①筑大競
4/17	100m1次	10.49(+3.8)	②筑大競
5/1	100m1次	10.69(-1.0)	①記録突破会
5/1	100m2次	10.57(+3.0)	①記録突破会
5/21	100m	10.56(+1.7)	関東IC・予
6/5	100m	10.48(+3.6)	個人選手権・予
6/5	100m	10.51(+2.1)	個人選手権・準
9/17	100m	10.67(+0.2)	日本IC・予

池田 昌史

1	平城高校(奈良)		
2	体育②		
3	トレーナー		
4	200m	22.46	
	400m	49.36	
4/3	400m	50.84	①筑大競
8/8	300m	36.36	国体選考会
8/20	400m	51.68	⑥記録突破会

6. 令和3年度 個人記録集

小林 隼純

1	筑波大学附属高校(東京)
2	理工②
3	広報
4	100m 11.16
	200m 22.39
	400m 50.3
4/17	100m1次 11.55(-0.2) ②筑大競

酒井 寛之

1	牛久栄進高校(茨城)
2	体育②
3	広報
4	100m 11.25
	200m 23.17
8/20	100m1次 11.38(+1.8) ⑥記録突破会
8/20	100m2次 11.41(+0.9) ⑥記録突破会

佐藤 大洋

1	高松高校(香川)
2	体育②
3	トレーナー
4	100m 10.84
	200m 22.11
5/29	100m1次 11.02(+1.8) ③記録突破会
5/29	100m2次 11.03(+1.1) ③記録突破会
6/19	100m1次 11.25(+1.2) ③筑大競
6/20	200m 23.07(+0.8) ③筑大競
8/9	100m 11.33(0.0) 栃木スプリント
10/16	100m 11.55(+0.3) 佐野選手権

田中 健太

1	浜松市立高校(静岡)
2	体育②
3	競技会
4	100m 10.67
	200m 21.7
4/3	100m1次 10.99(+1.8) ①筑大競
4/3	100m2次 11.06(+0.2) ①筑大競
4/17	100m1次 11.04(+0.3) ②筑大競
5/1	100m1次 11.10(-1.1) ①記録突破会
5/1	100m2次 10.86(+3.0) ①記録突破会
5/30	200m 22.22(-1.2) ③記録突破会
6/19	100m1次 11.08(+0.4) ③筑大競
6/19	100m2次 10.84(+0.9) ③筑大競
7/11	100m 10.90(+1.8) 静岡県選
8/20	100m1次 10.75(+2.0) ⑥記録突破会
8/20	100m2次 10.88(+0.9) ⑥記録突破会
9/10	100m 11.40(-1.7) 関東新人・予
10/16	100m 11.20(+0.2) 関甲信・予
10/16	100m 11.21(+0.1) 関甲信・決

竹尾 昂起

1	小山台高校(東京)
2	理工②
3	競技会
4	200m 22.38
	400m 50.05
4/3	400m 51.24 ①筑大競
5/1	400m 50.93 ①記録突破会
5/30	200m 22.72(-1.2) ③記録突破会
6/19	400m 50.54 ③筑大競
8/20	400m 50.03 ⑥記録突破会
10/16	400m 50.92 関甲信・予
10/16	400m 49.50 関甲信・決

田崎 義規

1	宇都宮高校(栃木)
2	体育②
3	トレーナー
4	100m 10.66
	200m 21.79
4/3	100m1次 10.78(+1.8) ①筑大競
6/19	100m1次 10.90(+0.9) ③筑大競
7/4	100m 10.95(-0.9) 栃木県選
7/4	100m 10.91(-0.9) 栃木県選
8/9	100m1次 10.63(+3.7) 佐野スプリント
8/9	100m2次 10.77(+3.0) 佐野スプリント
8/20	100m1次 10.61(+2.0) ⑥記録突破会
9/10	100m 11.03(-2.7) 関東新人・予
10/16	100m 10.88(-0.6) 佐野選手権

中山 颯太

1	生野高校(大阪)
2	体育②
3	競技会
4	100m 11.04
	200m 22.22
5/29	100m1次 11.13(+1.8) ③記録突破会
5/29	100m2次 11.13(+1.1) ③記録突破会
6/19	100m2次 11.05(0.0) ③筑大競
8/9	100m1次 11.04(+1.8) 栃木スプリント
8/9	100m2次 11.07(+1.9) 栃木スプリント
8/20	100m1次 10.87(+2.0) ⑥記録突破会
8/20	100m2次 10.92(+0.9) ⑥記録突破会
10/16	100m 11.11(+0.2) 関甲信・予
10/16	100m 11.17(+0.1) 関甲信・決

丸山 正靖

1	高田高校(三重)
2	医学②
3	データバンク
4	400m 48.75
	400mH 54.01
7/11	400mH 55.64 三重県選
7/11	400mH 56.41 三重県選

吉川 峻

1	千葉東高校(千葉)
2	体育②
3	トレーナー
4	200m 21.59
	400m 46.87
5/1	400m 48.17 ①記録突破会
5/20	400m 48.02 関東IC・予
5/20	400m 48.23 関東IC・準
6/4	400m 48.82 個人選手権・予
6/4	400m 48.38 個人選手権・準
6/4	400m 48.54 個人選手権・決
6/19	400m 48.31 ③筑大競
7/4	400m 49.11 千葉県選
7/4	400m 48.18 千葉県選
8/20	400m 48.84 ⑥記録突破会
10/23	400m 47.94 ⑥筑大競

江國 怜奈

1	時習館高校(愛知)
2	体育②
3	トレーナー
4	100mH 14.42
7/18	100mH 16.81(-1.6) 愛知県選・予
8/9	100mH1次 15.36(+1.3) ②栃木スプリント
8/9	100mH2次 15.15(+0.9) ②栃木スプリント

8/20	100mH1次 15.32(+0.3) ⑥突破記録会
8/20	100mH2次 14.95(+1.4) ⑥突破記録会
9/10	100mH 15.01(+1.9) 関東新人・予
10/9	100mH1次 15.37(+0.4) ⑤筑大競
10/9	100mH2次 15.38(+0.5) ⑤筑大競
10/16	100mH 14.93(-0.3) 関甲信・決
10/23	100mH1次 14.91(+1.2) ⑥筑大競
10/23	100mH2次 14.77(+2.3) ⑥筑大競
11/3	100mH 14.64(+2.6) 東三河短距離記録会

景山 咲穂

1	船橋市立船橋高校(千葉)
2	体育②
3	ユニフォーム
4	100m 11.65
	200m 23.82
4/4	200m 25.19(-2.3) ①筑大競
4/17	100m1次 12.12(+0.8) ②筑大競
4/17	100m2次 11.90(+2.0) ②筑大競
4/18	200m 24.67(+2.2) ②筑大競
4/29	100m 12.11(+0.2) 織田記念・予
4/29	100m 11.87(+1.3) 織田記念・B決
5/3	200m 24.19(+0.1) 静岡国際・予
5/3	24.42(+0.2) 24.42(0.0) 静岡国際・A決
5/20	100m 11.85(+0.9) 関東IC・予
5/21	100m 11.88(+3.6) 関東IC・準
5/21	200m 24.66(-1.0) 関東IC・予
5/22	200m 24.19(+3.4) 関東IC・準
5/22	200m 24.15(+4.4) 関東IC・決
6/5	100m 11.74(+1.8) 個人選手権・予
6/5	100m 11.85(+1.8) 個人選手権・準
6/5	100m 12.12(+0.2) 個人選手権・決
6/27	200m 24.30(+1.5) 日本選手権・予

平野 瑞季

1	一宮高校(愛知)
2	体育②
3	競技会
4	400m 56.88
	200m 24.94
4/18	200m 26.73(+2.2) ②筑大競
5/2	200m 27.27(-0.4) ①突破記録会
8/20	400m 62.58 ⑥突破記録会
10/10	200m 26.95(-0.9) ⑤筑大競
10/16	400m 62.21 関甲信・決
10/17	200m 27.16(+1.7) 関甲信・決

三浦 由奈

1	柴田高校(宮城)
2	体育②
3	競技会
4	100m 11.60
	200m 24.08
4/3	100m1次 12.02(+0.4) ①筑大競
4/3	100m2次 12.02(-0.6) ①筑大競
4/4	200m 25.83(-2.3) ①筑大競
4/17	100m1次 12.31(+0.8) ②筑大競
4/17	100m2次 11.98(+2.0) ②筑大競
4/18	200m 25.30(+2.2) ②筑大競
4/29	100m 12.18(+0.6) 織田記念・予
4/29	100m 12.16(+1.3) 織田記念・B決
5/20	100m 12.02(+1.1) 関東IC・予
5/21	100m 11.89(+3.6) 関東IC・準
5/21	200m 25.46(-2.1) 関東IC・予
5/22	200m 24.81(+2.0) 関東IC・準
6/6	100m 11.82(+2.3) 布勢スプリント・予
6/6	100m 11.74(+1.6) 布勢スプリント・B決
6/24	100m 11.82(+0.4) 日本選手権・予
7/11	100m 11.97(-0.1) 宮城県選・予

7/11	100m	11.81(-0.2)	宮城県選・決
8/20	100m1次	11.71(+1.9)	⑥突破記録会
8/20	100m2次	11.77(+1.5)	⑥突破記録会
8/28	100m	12.07(-0.8)	アスリートナイトゲームズ予
9/17	100m	12.08(+0.4)	日本IC・予
9/18	100m	12.01(+1.4)	日本IC・準
9/18	200m	24.91(+0.8)	日本IC・予
9/19	200m	25.43(-0.1)	日本IC・準
10/10	100m1次	12.18(+2.2)	⑤筑大競
10/10	100m2次	12.31(-1.5)	⑤筑大競
10/11	200m	25.18(-0.9)	⑤筑大競
10/16	100m	12.11(-0.1)	佐野選手権
10/17	200m	25.11(+1.7)	関甲信・決
10/24	300m	40.66	⑥筑大競

井澤 真

1	立命館慶祥高校(北海道)
2	体育①
3	データバンク
4	100m 10.42
	200m 21.22

鶴澤 飛羽

1	築館高校(宮城)
2	体育①
3	競技会
4	100m 10.30
	200m 20.80
5/1	100m1次 10.52(-0.1) ①突破記録会
5/20	100m 10.30(+0.9) 関東IC・予
5/21	100m 10.20(+4.5) 関東IC・準
5/21	100m 10.07(+5.5) 関東IC・決
10/24	300m 34.03 ⑥筑大競

大崎 寛

1	瑞陵高校(愛知)
2	体育①
3	競技会
4	100m 10.72

菅野 航平

1	仙台第一高校(宮城)
2	体育①
3	データバンク
4	400m 46.88
	400mH 50.67
5/22	400mH 52.51 関東IC・予
6/1	400mH 51.24 木南記念
6/26	400mH 51.08 U20日本選手権・予
6/27	400mH 50.88 U20日本選手権・決
8/21	400mH 52.45 ⑥突破記録会
9/17	400m 48.46 日本IC・予

熊崎 風我

1	東大和南高校(東京)
2	体育①
3	トレーナー
4	100m 11.49
5/9	100m 11.61(+1.2) ②突破記録会
5/29	100m1次 11.59(+1.8) ③突破記録会
5/29	100m2次 11.62(+1.2) ③突破記録会
5/30	200m 23.45(-1.2) ③突破記録会
6/19	100m1次 11.95(-0.1) ③筑大競
6/19	100m2次 11.81(0.0) ③筑大競
6/19	200m 23.61(+1.4) ③筑大競
8/9	100m1次 11.57(+1.9) ②栃木スプリント
8/9	100m2次 11.68(+1.2) ②栃木スプリント

8/20	100m1次 11.73(+1.8) ⑥突破記録会
8/20	100m2次 11.75(+1.2) ⑥突破記録会
8/21	200m1次 24.10(-1.6) ⑥突破記録会
8/21	200m2次 24.18(未測定) ⑥突破記録会
10/9	100m1次 11.89(-0.4) ⑤筑大競
10/9	100m2次 11.73(-1.2) ⑤筑大競
10/10	200m 23.76(+0.2) ⑤筑大競
10/23	100m 11.87(-0.2) ⑥筑大競

齋藤 陸

1	橘高校(福島)
2	体育①
3	トレーナー
4	100m 10.78
	200m 21.53
5/1	100m1次 11.00(-1.0) ①突破記録会
5/1	100m2次 11.03(+3.0) ①突破記録会
5/1	200m 22.48(+0.1) ①突破記録会
5/29	100m2次 11.11(+2.0) ③突破記録会
6/19	100m1次 11.07(+1.2) ③筑大競
6/19	100m2次 11.09(+0.9) ③筑大競
6/20	200m 22.37(+1.4) ③筑大競
7/10	200m 22.40(-1.3) 順天堂記録会
7/16	200m 22.30(-1.4) 福島県選・決
7/16	200m 22.54(-2.6) 福島県選・予
8/20	100m1次 10.87(+2.0) ⑥突破記録会
8/20	100m2次 10.98(0.0) ⑥突破記録会
8/21	200m1次 22.21(-0.1) ⑥突破記録会
8/21	200m2次 22.60(未測定) ⑥突破記録会
9/11	200m 22.53(+0.8) 関東新人・予
10/9	100m 11.37(-0.7) ⑤筑大競
10/17	200m 22.66(-0.7) 関甲信・決

澤 孝輔

1	名古屋高校(愛知)
2	体育①
3	競技会
4	100m 10.85
5/29	100m1次 10.98 ③突破記録会
5/29	100m2次 11.16 ③突破記録会
6/19	100m1次 11.24 ③筑大競
6/19	100m2次 11.17 ③筑大競
7/10	100m 11.00(-0.1) 順天堂記録会
8/20	100m1次 10.85(2.0) ⑥突破記録会
8/20	100m2次 11.22(+0.9) ⑥突破記録会

曾我部 隆伍

1	秦野高校(神奈川)
2	芸術①
3	広報
4	110mH 14'72
5/1	100m 11.41(+0.4) ①突破記録会
7/10	110mH 14.95(0.0) 順天堂記録会
8/21	110mH1次 14.72(+2.0) ⑥突破記録会
8/21	110mH2次 14.72(+1.4) ⑥突破記録会
9/10	110mH 14.60(+2.6) 関東新人・予
9/11	110mH 14.84(+1.1) 関東新人・準
10/16	100m 11.27(-0.8) 佐野選手権
10/16	110mH 14.98(+0.4) 佐野選手権

中垣内 太智

1	津西高校(三重)
2	体育①
3	トレーナー
4	100m 10.85
	200m 21.44
5/1	100m1次 10.89(-1.1) ①突破記録会
5/1	100m2次 10.76(+3.0) ①突破記録会

5/2	200m 22.17(+0.1) ①突破記録会
5/23	200m DNF 関東IC・予
9/11	200m 22.11(-0.5) 関東新人・予
9/12	200m 21.97(+0.9) 関東新人・準

中川 祐哉

1	舟入高校(広島)
2	体育①
3	競技会
4	400m 48.41
5/1	400m 49.89 ①突破記録会
6/19	100m1次 11.51(+1.2) ③筑大競
6/19	100m2次 11.39(0.0) ③筑大競
6/20	200m 22.63(+1.4) ③筑大競
6/26	400m 50.13 広島県選・決
6/26	400m 49.05 広島県選・予
7/10	400m 49.00 順天堂記録会
8/21	400m 49.45 中国五県・予
8/27	400m 48.41 ⑧突破記録会
10/10	200m 22.83(-0.3) ⑤筑大競
10/17	400m 50.49 関甲信・予
10/17	400m 48.88 関甲信・決
10/24	300m 34.79 ⑥筑大競

西出 怜央

1	中央大学附属横浜高校(神奈川)
2	体育①
3	広報
4	100m 10.81
	200m 21.90
7/10	100m 11.52(-0.1) 順天堂記録会
8/21	100m 11.19(+1.8) ⑥突破記録会
10/9	100m1次 11.63(-0.7) ⑤筑大競
10/9	100m2次 11.56(-1.2) ⑤筑大競
10/23	100m 11.49(+1.7) ⑥筑大競

古澤 慎也

1	千葉東(千葉)
2	体育①
3	広報
4	400m 47.99
5/1	100m 11.04(+0.4) ①突破記録会
5/29	400m 48.75 ③突破記録会
6/19	400m 48.86 ③筑大競
7/3	400m 48.75 千葉県選・予
7/3	400m 48.64 千葉県選・決
8/20	400m 49.75 ⑥突破記録会
8/27	400m 48.54 ⑧突破記録会
9/10	400m 48.25 関東新人・予
9/11	400m 47.99 関東新人・決
10/10	200m 22.20(-0.2) ⑤筑大競
10/16	400m 49.43 関甲信・予
10/16	400m 48.33 関甲信・決

増山 竣也

1	下館第一高校(茨城)
2	社会①
3	競技会
4	200m 22.5
5/29	100m 11.65(+1.8) ③突破記録会
8/29	100m 11.45(+1.8) ⑥突破記録会
10/23	100m 11.79(+1.7) ⑥筑大競

丸山 壮

1	乙訓高校(京都)
2	体育①
3	トレーナー
4	110mH 14.41
9/10	110mH 14.35(+2.3) 関東新人・予
9/11	110mH 14.58(+0.7) 関東新人・準
9/11	110mH 14.51(+1.0) 関東新人・決
10/9	110mH1次 14.48(+0.8)⑤筑大競
10/9	110mH2次 14.73(+0.9)⑤筑大競
10/16	110mH 14.51(+0.4) 佐野選手権

松永 朋子

1	小野高校(兵庫)
2	体育①
3	ユニフォーム
4	200m 24.06
	400m 56.58
5/1	200m 26.06 ①突破記録会
5/1	400m 58.64 ①突破記録会
5/21	200m 25.60(-1.4) 関東IC・予
5/20	400m 57.56 関東IC・予
6/19	400m 57.91 ③筑大競
6/20	200m 24.95(+2.0)③筑大競
7/10	400m 57.51 兵庫県選・予
7/10	400m 56.68 兵庫県選・決
7/11	200m 25.12(-0.4) 兵庫県選・予
7/11	200m 33.60(-1.2) 兵庫県選・決

中長距離ブロック 中距離パート

薄田 健太郎

1	希望ヶ丘高校(神奈川)
2	人間総合科学研究群 体育学学位プログラム①
3	
4	800m 1.48.19
4/3	400m 48.73 ①筑大競
4/3	1500m 3.55.64 ①筑大競
6/6	800m 1.48.86 デンカチャレンジ
6/26	800m 1.50.74 日本CH・予

重山 源斗

1	中京高校(岐阜)
2	人間総合科学研究群 体育学学位プログラム①
3	
4	3000mSC 9.00.97
4/3	1500m 03.56.44 ①筑大競
4/4	3000m 08.39.79 ①筑大競
4/18	3000mSC 09.17.77 ②筑大競
5/22	3000mSC 09.13.16 関東IC・3部
6/6	3000mSC 09.09.41 学生個人選手権
8/21	3000mSC 09.14.71 ⑥記録突破会
9/23	5000m 15.26.04 MDC福島
10/24	3000mSC 09.09.41 ⑥筑大競
11/7	3000mSC 09.00.97 ⑩記録突破会

山本 隼汰

1	小豆島高校(香川)
2	人間総合科学研究群 体育学学位プログラム①
3	
4	10000mW 42.08.06
5/24	10000mW 42.54.69 関東IC
6/4	10000mW DNF 学生個人

7/3	1500m 4.07.30 ④記録突破会
8/7	1500m 4.07.63 ⑤記録突破会
8/21	5000mW 20.32.60 香川国体予選
9/18	10000mW 43.31.33 全日本IC
12/11	10000mW 44.26.58 ⑤高松UD記録会

有松 憧

1	桐蔭高校(和歌山)
2	医学群 医学類④
3	広報
4	800m 1.49.70
6/20	800m 1.53.94 ③筑大競
7/3	800m 1.54.86 ④記録突破会
8/7	800m 1.49.70 ⑤記録突破会

井内 優輔

1	鳴門高校(徳島)
2	体育専門学群④
3	ユニフォーム
4	1500m 3.45.57
5/2	800m 1.55.43 ①記録突破会
7/3	1500m 4.5.90 ④記録突破会
7/3	800m 1.55.29 ④記録突破会
7/23	800m 1.54.20 ③流経大競
8/7	800m 1.55.26 ⑤記録突破会
8/21	1500m 3.49.10 ⑥記録突破会
9/17	1500m 3.45.57 全日本IC・予
9/17	1500m 3.57.06 全日本IC・決

木塚 宙敬

1	竹園高校(茨城)
2	体育専門学群④
3	トレーナー
4	800m 1.59.96

田中 蒼大

1	時習館(愛知)
2	体育専門学群④
3	競技会
4	1500m 3.49.58
4/3	1500m 3.51.98 ①筑大競
4/3	3000m 8.28.26 ①筑大競
4/17	1500m 3.53.08 ②筑大競
5/2	1500m 3.51.57 ①記録突破会
5/20	1500m 3.49.58 関東IC・予

寺岡 秀真

1	興譲館高校(岡山)
2	体育専門学群④
3	データバンク
4	1500m 3.56.33
4/17	1500m 4.14.51 ②筑大競
6/20	800m 1.54.69 ③筑大競
6/26	1500m 4.12.51 岡山県選・予
6/26	1500m 3.59.44 岡山県選・決
6/27	800m 1.58.02 岡山県選・予
6/27	800m 1.56.44 岡山県選・決

職立 晃汰

1	世羅高校(広島県)
2	体育専門学群④
3	ユニフォーム委員会
4	1500m 3.54.41
	800m 1.53.92
4/17	1500m 3.57.19 ②筑大競
4/18	800m 1.56.16 ②筑大競

5/1	1500m 3.55.38 ①記録突破会
5/9	1500m 3.54.41 ②記録突破会
5/9	800m 1.54.30 ②記録突破会
5/30	3000m 8.44.33 ③記録突破会
6/26	800m 1.57.11 広島県選・予
6/26	800m 1.56.16 広島県選・決
6/27	1500m 3.58.54 広島県選
8/7	1500m 3.58.14 ⑤記録突破会
8/21	1500m 4.02.55 ⑥記録突破会
10/16	1500m 3.56.69 関甲信代替
10/17	3000mSC 9.42.48 関甲信代替
10/23	1500m 3.55.41 ⑥筑大競
10/24	800m 1.53.92 ⑥筑大競
10/24	3000m 8.44.46 ⑥筑大競

林 祥太郎

1	郡山高校(奈良)
2	体育専門学群④
3	広報
4	10000mW 44.23.39
5/22	10000mW 46.20.10 関東IC
4/25	5000mW 22.33.26 奈良県選
8/28	5000mW 21.50.37 近畿選手権

深澤 優希

1	金沢高等学校(神奈川)
2	体育専門学群④
3	競技会
4	1500m 4.06.97
	800m 1.59.81
4/17	1500m 4.15.56 ②筑大競
4/18	800m 2.04.70 ②筑大競
5/29	1500m 4.13.75 ③記録突破会
5/30	800m 2.03.51 ③記録突破会
8/7	800m 2.01.57 ⑤記録突破会
8/21	800m 1.59.81 ⑥記録突破会
10/16	1500m 4.06.91 関甲信

本多 創一郎

1	時習館高校(愛知)
2	体育専門学群④
3	競技会
4	800m 1.50.27
4/17	800m 1.54.95 ②筑大競
5/2	800m 1.51.88 ①記録突破会
5/22	800m 1.54.80 関東IC・予
6/5	800m 1.55.41 学生個人・予
6/5	800m 1.51.52 学生個人・準
6/6	800m 2.02.14 学生個人・決
7/3	800m 1.50.27 ④記録突破会
9/18	800m 1.51.23 全日本IC・予
9/19	800m 1.51.97 全日本IC・準

森本 風太

1	星陵高校(兵庫)
2	体育専門学群④
3	トレーナー
4	1500m 4.06.45
4/3	1500m 4.08.28 ①筑大競
4/17	1500m 4.09.03 ②筑大競
5/9	1500m 4.07.10 ②記録突破会
6/19	1500m 4.06.45 ③筑大競

吉川 右門

1	逗子開成高校(神奈川県)
2	体育専門学群④
3	競技会
4	1500m 3.50.36
4/3	1500m 4.06.98 ①筑大競
4/17	1500m 4.00.22 ②筑大競
5/1	1500m 3.57.74 ①記録突破会
5/9	1500m 3.53.75 ②記録突破会
6/5	1500m 3.52.64 日体大長距離競技会
6/19	1500m 3.54.82 ③筑大競
6/20	3000m 8.33.29 ③筑大競
7/3	1500m 3.55.33 ④記録突破会
8/7	1500m 3.50.36 ⑤記録突破会
8/27	1500m 3.57.80 ⑧記録突破会
10/16	1500m 4.03.85 関甲信
10/24	800m 1.57.08 ⑥筑大競

高橋 香澄

1	福島高校(福島)
2	人文・文化 人文④
3	競技会、会計
4	5000m 16.43.73
3/14	ハーフマソン 1.19.36 学生ハーフ
4/24	5000m 17.10.48 日体大記録会
5/20	10000m 35.34.23 関東IC
5/23	5000m 17.23.01 関東IC
9/25	5000m 16.43.73 ⑧全日本大学女子駅伝対校選手権大会関東地区推薦校選考会

中谷 桐子

1	磐田南高校(静岡)
2	体育④
3	トレーナー
4	800m 2.09.89
4/18	800m 2.13.91 ②筑大競
5/2	800m 2.13.03 ①記録突破会
5/22	800m 2.13.19 関東IC・予
5/22	800m 2.12.68 関東IC・準
7/3	800m 2.09.89 ④記録突破会
8/24	400m 58.18 ⑧記録突破会
9/18	800m 2.11.25 日本IC・予
9/19	800m 2.13.23 日本IC・準

西永 菜津

1	西京高校(山口)
2	体育④
3	広報
4	1500m 4.20.63
9/25	5000m 16.40.08 関東女子駅伝対抗選手権大会
9/26	5000m 18.28.47 関東女子駅伝対抗選手権大会
11/13	5000m 16.22.45 292日体大記録会
12/5	5000m 17.40.11 筑波長距離記録会

阿藤 紘己

1	上田高校(長野)
2	社会・国際 社会③
3	データバンク
4	1500m 3.56.96
4/3	1500m 3.56.96 ①筑大競
4/4	3000m 8.40.76 ①筑大競
5/1	1500m 4.10.33 ①記録突破会
7/3	1500m 4.06.37 ④記録突破会
7/11	1500m 4.06.98 長野県選
8/21	1500m 3.57.03 ⑥記録突破会
9/28	1500m 4.02.78 日体大
10/23	1500m 4.01.09 ⑥筑大競

11/7 1500m 4.00.30 ⑩記録突破会

井海 雅之

1	畝傍高校(奈良)
2	社会・国際 社会③
3	データバンク
4	800m 1.57.97
	1500m 4.02.43
4/3	1500m 4.10.29 ①筑大競
4/17	1500m 4.10.20 ②筑大競
4/18	800m 1.58.70 ②筑大競
5/9	1500m 4.03.05 ②記録突破会
6/19	1500m 4.05.40 ③筑大競
6/20	800m 1.58.73 ③筑大競
10/9	1500m 4.02.43 ⑤筑大競
10/17	800m 1.59.23 関甲信
10/23	1500m 4.09.71 ⑥筑大競
10/24	800m 1.57.97 ⑥筑大競
11/7	1500m 4.06.00 ⑩記録突破会

笹野 友希

1	青森高校(青森)
2	体育専門学群③
3	トレーナー
4	1500m 4.08.43

三戸部 聡大

1	青山高校(東京)
2	体育専門学群③
3	トレーナー
4	1500m 4.05.74
4/3	1500m 4.08.53 ①筑大競
4/17	1500m 4.08.76 ②筑大競
5/9	1500m 4.06.93 ②記録突破会
5/29	1500m 4.07.54 ③記録突破会
6/20	800m 1.59.92 ③筑大競
10/23	1500m 4.10.04 ⑥筑大競

森 康太朗

1	長崎北陽台高校(長崎)
2	体育専門学群③
3	広報
4	800m 1.52.18
4/4	800m 1.53.94 ①筑大競
5/2	800m 1.52.21 ①記録突破会
5/22	800m 1.52.18 関東IC・予
5/22	800m 1.55.81 関東IC・準

阿部 風薫

1	大船渡高校(岩手)
2	情報 知識情報・図書館③
3	トレーナー
4	5000m 17.03.97
7/4	5000m 17.47.90 289日体大長
9/25	5000m 17.27.21 全日本駅伝・関東予
11/13	5000m 17.07.60 292日体大長距離記録会
12/4	5000m 17.03.97 293日体大長距離記録会

本庄 悠紀奈

1	大手前高校(大阪)
2	体育③
3	競技会
4	3000mSC 10.34.20
4/4	2000mSC 7.41.87 ①筑大競
4/18	3000mSC 11.59.49 ②筑大競
5/2	3000mSC 11.09.07 ①記録突破会

5/23	3000mSC 11.13.19 関東IC
6/6	3000mSC 10.49.47 個人選手権
7/17	3000mSC 10.54.08 大阪府選
8/21	3000mSC 10.34.20 ①記録突破会
9/19	3000mSC 10.34.57 日本IC
10/31	6.7km 24.05 全日本大学女子駅伝(6区)
11/13	5000m 17.09.99 日体大長距離記録会
12/4	5000m 16.48.27 日体大長距離記録会
12/5	5000m 17.40.11 記録突破会

上原 由己

1	千葉東(千葉県)
2	体育専門学群②
3	トレーナー
4	800m 1.55.14
4/3	1500m 4.05.50 ①筑大競
4/4	800m 1.56.70 ①筑大競
4/18	800m 1.55.38 ②筑大競
5/2	800m 1.55.14 ①記録突破会
6/19	1500m 4.04.93 ③筑大競
7/4	800m 1.56.86 千葉県選・予
9/10	1500m 4.03.76 関東新人・予
9/11	800m 1.56.45 関東新人・予
9/11	800m 1.58.47 関東新人・準決
10/17	800m 2.02.54 関甲信
11/7	800m 2.01.90 ⑩記録突破会

佐藤 海斗

1	福島東(福島)
2	体育専門学群②
3	競技会
4	1500m 4.10.23
4/17	1500m 4.22.79 ②筑大競
5/29	1500m 4.13.37 ③記録突破会
6/19	1500m 4.10.23 ③筑大競
10/23	1500m 4.23.14 ⑥筑大競

南田 航希

1	大塚高校(大阪)
2	体育専門学群②
3	競技会
4	800m 1.49.56
4/3	400m 50.32 ①筑大競
4/3	1500m 4.05.11 ①筑大競
4/17	1500m 3.59.18 ②筑大競
4/18	800m 1.54.04 ②筑大競
5/2	800m 1.53.20 ①記録突破会
7/3	800m 1.50.73 ④記録突破会
7/14	800m 1.52.45 ホクレン北見
7/17	800m 1.56.13 大阪府選・予
7/18	800m 1.52.40 大阪府選・準
7/18	800m 1.55.32 大阪府選・決
8/7	800m 1.49.62 ⑤記録突破会
9/18	800m 1.51.43 全日本IC・予
9/19	800m 1.55.86 全日本IC・準
10/9	1500m 3.57.77 ⑤筑大競

綾野 千優

1	岡山芳泉高校(岡山)
2	体育②
3	トレーナー
4	800m 2.08.96
6/6	800m 2.17.86 デンカチャレンジ新潟
6/19	800m 2.13.65 ③筑大競
6/27	800m 2.14.45 岡山県選・決
7/3	800m 2.11.73 ④記録突破会
8/7	800m 2.10.57 ⑤記録突破会
8/20	800m 2.10.39 ⑥記録突破会

6. 令和3年度 個人記録集

10/9 800m 2.13.92 ⑤筑大競
10/16 400m 1.00.99 関甲信

檜原 沙紀

1 呉三津田(広島)
2 体育②
3 広報
4 1500m 4.13.82
4/3 1500m 4.29.02 ①筑大競
4/4 800m 2.14.02 ①筑大競
4/10 1500m 4.20.24 ①筑大競
4/24 5000m 16.20.16 第286回日体大記録会
5/9 1500m 4.13.82 READY STEADY TOKYO
5/20 1500m 4.28.57 関東IC・予
5/21 1500m 4.25.09 関東IC・決
5/23 5000m 16.28.38 関東IC
6/1 1500m 4.17.71 木南記念
6/6 1500m 4.20.78 GP新潟大会
6/25 1500m 4.31.22 日本選手権
7/3 800m 2.07.88 ④記録突破会
7/10 5000m 16.42.89 ホクレンディスタンス綱走
7/14 5000m 17.10.99 ホクレンディスタンス北見
7/17 1500m 4.33.48 ホクレンディスタンス千歳
8/20 3000mSC 10.15.25 ⑥記録突破会
9/17 1500m 4.26.48 全日本IC・予
9/17 1500m 4.24.61 全日本IC・決
9/19 3000mSC 10.17.41 全日本IC
9/25 5000m 16.33.53 全日本駅伝関東予選
12/4 5000m 16.07.28 第293回日体大記録会

小林 璃々

1 富岡東高校(徳島)
2 体育 ②
3 トレーナー
4 5000m 9.29.71(3000m)

澤井 柚葉

1 星稜高校(石川)
2 体育②
3 広報
4 800m 2.06.76
4/3 800m 2.16.05 ①筑大競
4/4 1500m 4.37.10 ①筑大競
4/18 800m 2.14.85 ②筑大競
5/2 800m 2.10.00 ①記録突破会
5/9 1500m 4.26.92 ②記録突破会
5/20 1500m 4.29.10 関東IC・予
5/21 1500m 4.46.30 関東IC・決
5/22 800m 2.13.25 関東IC・予
5/22 800m 2.21.22 関東IC・準決
7/3 800m 2.09.03 ④記録突破会
7/14 1500m 4.36.87 ホクレンディスタンス北見
9/25 5000m 16.46.97 全日本女子駅伝予選
12/4 5000m 16.22.97 第292回日体大競技会

兵藤 柚花

1 岡崎北高校(愛知)
2 体育②
3 競技会
4 1500m 4.28.43
4/3 1500m 2.18.85 ①筑大競
4/4 800m 4.38.82 ①筑大競
4/17 1500m 4.39.90 ②筑大競
5/1 1500m 4.48.85 ①記録突破会
5/2 1500m 4.35.16 ①記録突破会
5/20 1500m 4.33.29 関東IC・予
6/4 1500m 4.44.02 学生個人・予
6/20 800m 3.16.50 ③筑大競

7/3 800m 2.17.95 ④記録突破会
7/17 800m 2.15.49 愛知県選・予
7/17 800m 2.12.89 愛知県選・決
7/18 1500m 4.36.47 愛知県選・予
7/18 1500m 4.37.80 愛知県選・決
9/17 1500m 4.28.43 全日本IC・決
9/25 5000m 17.09.87 全女駅伝関東予選
11/13 5000m 17.16.98 第292回日体大記録会
12/4 5000m 17.32.87 第293回日体大記録会

香山 寛人

1 攻玉社(東京)
2 社会国際学群 国際総合学類①
3 競技会
4 1500m 4.04.07
7/3 1500m 4.11.94 ④記録突破会
8/7 1500m 4.08.66 ⑤記録突破会
8/20 1500m 4.09.63 ⑥記録突破会
10/9 1500m 4.11.26 ⑤筑大競
10/23 1500m 4.04.07 ⑥筑大競
11/7 1500m 4.14.0 ⑩記録突破会
6/19 1500m 4.15.57 ③筑大競
6/20 800m 2.00.42 ③筑大競
10/24 800m 2.00.68 ⑥筑大競

金子 和樹

1 長崎東(長崎)
2 総合学域群 第1類①
3 データバンク
4 1500m 4.10.08
6/19 1500m 4.19.59 ③筑大競
6/20 800m 2.05.27 ③筑大競
7/3 1500m 4.25.63 ④記録突破会
10/9 1500m 4.13.03 ⑤筑大競
10/10 800m 2.04.17 ⑤筑大競
10/23 1500m 4.17.27 ⑥筑大競
10/24 800m 2.02.08 ⑥筑大競
11/7 1500m 4.10.08 ⑩記録突破会
12/19 5000m 15.43.58 松戸市記録会

木佐 亮太

1 出雲高校(島根)
2 医学群 医学類①
3 広報
4 800m 1.52.98
5/30 800m 1.57.17 ③記録突破会
6/20 800m 1.56.02 ③筑大競
6/19 1500m 4.12.19 ③筑大競
7/3 800m 1.55.58 ④記録突破会
7/18 800m 1.56.05 国体島根県予選
8/7 800m 1.52.98 ⑤記録突破会
9/11 800m 1.58.11 関東新人・予
9/11 800m 1.55.14 関東新人・準
9/12 800m 1.54.79 関東新人・決
10/17 800m 2.01.71 関甲信
11/7 800m 1.53.43 ⑩記録突破会
12/19 5000m 15.55.42 松戸記録会

木村 颯斗

1 富山中部高校(富山)
2 体育専門学群①
3 競技会
4 800m 1.55.85
5/30 800m 1.57.51 ③記録突破会
6/19 1500m 4.07.25 ③筑大競
6/20 800m 2.00.76 ③筑大競
7/3 800m 1.59.03 ④記録突破会
7/17 800m 1.59.47 富山県体育大会

8/21 1500m 4.09.44 ⑥記録突破会
9/29 800m 1.58.00 日体大記録会
10/24 800m 1.59.66 ⑥筑大競
12/29 5000m 16.13.72 松戸市記録会

二見 優輝

1 諏訪清陵高校(長野)
2 体育専門学群①
3 トレーナー
4 800m 1.48.33
4/18 800m 1.53.60 ②筑大競
5/2 800m 1.51.49 ①記録突破会
5/22 800m 1.53.57 関東IC・予
5/22 800m 1.52.37 関東IC・準
5/23 800m 1.54.79 関東IC・決
6/6 800m DNF デンカチャレンジ
6/26 800m 1.51.35 U20選手権・予
7/3 800m 1.53.35 ④記録突破会
7/10 800m 1.51.61 長野県選
7/11 1500m 3.58.78 長野県選
8/7 800m 1.49.69 ⑤記録突破会
9/18 800m 1.51.59 全日本IC・予
9/19 800m 1.52.76 全日本IC・準
9/23 800m 2.07.27 MDC福島
10/2 800m 1.48.33 日体大記録会
10/9 1500m 3.54.98 ⑤筑大競
10/24 800m DNF ⑥筑大競
11/3 1500m 3.52.12 ⑩突破記録会
12/19 5000m 15.22.85 松戸市記録会

蟠原 望来

1 下妻第一高等学校(茨城)
2 理工 化学①
3 トレーナー
4 3000m 10.39
10/5 1500m 5.01.26 ③筑大競

川島 実桜

1 豊橋南高校(愛知)
2 体育①
3 競技会
4 800m 2.07.83
4/17 400m 57.74 ②筑大競
4/18 800m 2.11.64 ②筑大競
5/1 400m 57.97 ①記録突破会
5/1 800m 2.08.59 ①記録突破会
5/20 400m 57.57 関東IC・予
5/22 800m 2.11.96 関東IC・予
5/22 800m 2.11.11 関東IC・準
5/23 800m 2.09.08 関東IC・決
6/6 800m 2.07.83 GP Denka Athletics Challenge Cup
6/27 800m 2.10.43 U-20日本選手権
7/4 800m 2.09.62 ④記録突破会
7/10 800m 2.09.69 ホクレンディスタンス綱走
7/17 800m 2.08.12 ホクレンディスタンス千歳
9/18 800m 2.13.91 全日本IC・予
9/18 800m 2.14.00 全日本IC・準
10/5 800m 2.10.51 ⑤筑大競
10/17 1500m 4.43.59 関甲信
11/7 800m 2.10.78 ⑩記録突破会
12/4 5000m 18.01.37 日体大競

櫻井 凜

1 水戸第一高校(茨城)
2 体育①
3 トレーナー
4 800m 2.19.52
5/30 800m 2.21.51 ③記録突破会

6/20	800m	2.20.41	③筑大競
7/2	400m	1.01.43	茨城県選・予
7/4	800m	2.23.30	茨城県選・予
7/4	800m	2.19.52	茨城県選・決
8/21	800m	2.27.41	⑦記録突破会
9/11	800m	2.24.72	関東新人・予
10/10	800m	2.26.38	⑤筑大競
10/16	400m	1.03.09	関甲信
10/17	800m	2.25.88	関甲信
11/7	800m	2.27.23	⑩記録突破会

原田 百那

1	札幌東高校(北海道)
2	体育①
3	競技会
4	1500m 4.46.36
5/29	1500m 4.46.36 ③記録突破会
5/29	800m 2.19.84 ③記録突破会
6/20	1500m 4.54.39 ③筑大競
7/3	800m 2.21.49 ④記録突破会
7/18	800m 2.21.06 北海道国体予選
10/16	1500m 4.58.05 関甲信
10/17	5000m 18.48.77 関甲信
11/13	5000m 18.11.66 日体大記録会

村田 真悠

1	斐太高校(岐阜)
2	体育①
3	競技会
4	1500m 4.49.39
6/19	1500m 5.01.72 ③筑大競
7/3	1500m 5.02.82 ④記録突破会
9/10	1500m 4.52.40 関東新人・予
9/10	1500m 4.55.85 関東新人・決
10/16	1500m 5.01.40 関甲信
10/17	5000m 18.56.96 関甲信
11/13	5000m 18.28.73 第292回日体大記録会

中長距離ブロック 長距離パート

入野 翔太

1	真岡高校(栃木)
2	生命地球科学研究群 環境科学学位プログラムM2
3	
4	5000m 14.47.87
	3000mSC 9.17.42
4/3	1500m 4.05.05 ①筑大競
4/4	3000m 8.54.98 ①筑大競
4/17	1500m 4.05.05 ②筑大競
4/18	5000m 15.26.98 ②筑大競
5/1	10000m 32.21.90 ①記録突破会

持永 佳輝

1	東京学芸大附属(東京)
2	医学⑥
3	
4	1500m 3.59.28
	5000m 14.58.69
7/3	5000m 15.25.94 ④記録突破会
8/7	5000m 14.58.69 ⑤記録突破会
10/2	10000m 33.17.84 ⑨記録突破会

伊藤 太貴

1	岡崎北高校(愛知)
2	体専④
3	広報
4	5000m 14.38.49
	10000m 29.56.04
	ハーフマラソン 1.03.56
4/3	1500m 4.07.20 ①筑大競
4/4	3000m 8.50.21 ①筑大競
4/17	1500m 4.03.78 ②筑大競
5/2	10000m 31.18.11 ①記録突破会
5/20	ハーフマラソン 1.05.01 関東IC
5/29	10000m 31.50.28 東海大競
7/10	5000m 14.42.75 順大競
8/7	5000m 14.41.16 ⑤記録突破会
10/2	10000m 31.27.19 ⑨記録突破会
10/23	ハーフマラソン 1.03.56 箱根駅伝予選会

岡島 広周

1	横須賀高校(神奈川)
2	人文・文化 人文④
3	競技会
4	5000m 14.55.61
	3000mSC 9.38.83
5/29	1500m 4.18.24 ③記録突破会
5/30	3000m 9.10.22 ③記録突破会
6/19	1500m 4.27.38 ③筑大競
7/3	3000m 9.10.59 ④記録突破会
10/24	5000m 15.50.33 ⑥筑大競

河合 俊太郎

1	浜松日体高校(静岡)
2	体専④
3	競技会
4	1500m 4.02.88
	5000m 14.41.48
	10000m 30.43.12
4/17	1500m 4.08.49 ②筑大競
5/29	10000m 32.56.76 東海大競
10/9	5000m 15.29.15 ⑤筑大競
11/7	5000m 15.20.0 ⑩記録突破会

杉山 魁声

1	専修大学松戸高校(千葉)
2	体専④
3	競技会
4	5000m 13.55.80
	10000m 29.25.49
	ハーフマラソン 1.03.02
5/29	10000m 30.23.34 東海大競
6/19	3000m 8.16.55 ③筑大競
6/19	5000m 14.55.57 ③筑大競
7/3	5000m 14.05.09 ホクレンディスタンス第1戦
7/7	5000m 13.55.80 ホクレンディスタンス第2戦
9/19	5000m 14.02.24 日本IC
10/2	10000m 29.25.49 ⑨記録突破会
10/23	ハーフマラソン 1.03.38 箱根駅伝予選会
12/5	5000m 14.08.48 日体大競

鈴木 博貴

1	浜松市立高校(静岡)
2	体専④
3	トレーナー
4	5000m 15.35.00

深澤 陸

1	明桜高校(秋田)
2	人間 障害④
3	トレーナー
4	5000m 14.55.78
4/3	1500m 4.10.37 ①筑大競
4/4	3000m 8.58.43 ①筑大競
4/17	1500m 4.07.07 ②筑大競
4/18	5000m 16.03.97 ②筑大競
5/9	1500m 4.03.77 ②記録突破会
5/29	10000m 31.47.84 東海大競
7/3	5000m 15.26.43 秋田県選

不二 黎人

1	智辯学園奈良カレッジ(奈良)
2	人間 障害④
3	広報
4	5000m 15.26.60
	3000mSC 9.47.20
10/23	5000m 16.23.74 ⑥筑大競

増田 悠

1	芝高校(東京)
2	生命環境 生命資源④
3	データバンク
4	5000m 14.42.54

森山 敦喜

1	駒場高校(東京)
2	理工 物理④
3	データバンク
4	1500m 4.15.64
	5000m 16.06.29
10/23	3000m 9.08.12 ⑥筑大競

藪下 温司

1	淳心学院高校(兵庫)
2	社会国際 社会④
3	競技会
4	5000m 15.08.05
	1500m 4.03.25
4/3	1500m 4.09.13 ①筑大競
4/4	3000m 8.49.05 ①筑大競
4/17	1500m 4.08.10 ②筑大競
4/18	5000m 15.52.06 ②筑大競
5/9	1500m 4.03.25 ②記録突破会
5/29	1500m 4.06.59 ③記録突破会
5/30	3000m 8.49.05 ③記録突破会
6/20	5000m 15.27.37 ③筑大競

山本 尊仁

1	春日丘高校(大阪)
2	理工 応理④
3	競技会
4	1500m 3.59.57
	5000m 14.36.42
	10000m 30.29.56
4/3	1500m 3.55.38 ①筑大競
4/4	3000m 8.35.38 ①筑大競
5/8	10000m 31.10.10 日体大競
5/29	10000m 30.50.32 東海大競
6/20	3000m 8.37.68 ③筑大競
6/20	5000m 15.05.12 ③筑大競
8/7	5000m 14.37.56 ⑤記録突破会
10/23	ハーフマラソン 1.06.56 箱根駅伝予選会

五十嵐 優汰

1	専修大学松戸高校(千葉)
2	体専③
3	競技会
4	5000m 14.34.98
	10000m 30.42.55
	ハーフマラソン 1.05.08
4/3	1500m 3.59.78 ①筑大競
4/18	3000msc 9.39.03 ②筑大競
5/1	3000msc 9.20.43 ①記録突破会
5/29	10000m 31.13.67 東海大競
6/20	5000m 15.29.83 ③筑大競
7/10	5000m 14.48.05 順大競
8/7	5000m 14.34.98 ⑤記録突破会

岩佐 一楽

1	東邦大学付属東邦高校(千葉)
2	体専③
3	競技会
4	5000m 14.00.67
	10000m 28.41.71
	ハーフマラソン 1.02.57
6/20	5000m 15.17.75 ③筑大競
7/10	5000m 14.40.60 順大競
7/17	5000m 14.24.23 ホクレンデスタンス千歳
8/7	5000m 14.37.73 ⑤記録突破会

上原 佑太

1	木更津高校(千葉)
2	人文・文化 人文③
3	競技会
4	1500m 3.57.02
	5000m 15.00.09
4/17	1500m 4.06.36 ②筑大競
5/9	1500m 3.59.35 ②記録突破会
5/29	1500m 3.57.02 ③記録突破会
7/3	5000m 15.01.91 ④筑大競

國井 辰磨

1	東葛飾高校(千葉)
2	体専③
3	競技会
4	5000m 14.42.58
	10000m 29.40.02
	ハーフマラソン 1.05.32
4/3	1500m 4.06.62 ①筑大競
4/17	1500m 3.59.65 ②筑大競
4/18	5000m 15.05.46 ②筑大競
10/2	10000m 29.56.76 ⑨記録突破会
10/23	ハーフマラソン 1.05.32 箱根駅伝予選会
11/23	10000m 30.21.92 10000m記録挑戦会
12/4	10000m 29.40.02 日体大競

小林 竜也

1	水城高校(茨城)
2	体専③
3	競技会
4	1500m 3.47.15
	5000m 13.54.92
	10000m 29.34.05
	ハーフマラソン 1.03.38
4/3	1500m 3.51.77 ①筑大競
4/17	5000m 14.18.42 ②筑大競
5/1	1500m 3.47.15 ①記録突破会
5/20	1500m 3.48.36 関東IC・予
5/21	1500m 3.53.42 関東IC・決
5/23	5000m 14.12.37 関東IC

5/29	10000m 29.34.05 東海大競
6/20	5000m 14.55.63 ③筑大競
7/3	5000m 13.54.92 順大競
7/14	5000m 14.19.98 ホクレンデスタンス北見
7/17	5000m 14.39.79 ホクレンデスタンス千歳
9/19	5000m 14.55.08 日本IC
10/2	10000m 30.17.80 ⑨記録突破会
10/23	ハーフマラソン 1.03.38 箱根駅伝予選会
11/23	10000m 30.06.04 10000m記録挑戦会

坂見 一将

1	函館中部高校(北海道)
2	体専③
3	競技会
4	5000m 14.46.11
4/17	1500m 4.18.86 ①筑大競
12/5	5000m 14.46.11 日体大競

永山 龍吉

1	八千代松陰高校(千葉)
2	体専③
3	トレーナー
4	5000m 14.43.22
	10000m 31.09.70
5/1	1500m 4.04.34 ①記録突破会
5/29	10000m 32.14.60 東海大競
6/20	5000m 15.44.69 ③筑大競
7/10	5000m 15.38.78 順大競
8/7	5000m 15.14.83 ⑤記録突破会
10/2	10000m 31.46.41 ⑨記録突破会
11/23	10000m 31.18.05 10000m記録挑戦会
12/4	1000m 31.09.70 日体大競

福谷 颯太

1	日野台高校(東京)
2	体専③
3	ユニフォーム/広報
4	5000m 14.12.87
	10000m 29.11.71
	ハーフマラソン 1.02.58
4/3	1500m 3.55.71 ①筑大競
4/18	5000m 14.28.58 ②筑大競
4/24	10000m 29.33.37 日体大競
5/20	10000m 29.51.79 関東IC
7/3	5000m 14.12.87 順大競
7/10	5000m 14.29.56 ホクレンデスタンス千歳
7/14	5000m 14.18.31 ホクレンデスタンス北見
10/2	10000m 29.31.81 ⑨記録突破会
10/23	ハーフマラソン 1.02.58 箱根駅伝予選会
11/23	10000m 29.41.53 10000m記録挑戦会
12/4	10000m 29.11.71 日体大競

松村 匡悟

1	佐野日大高校(栃木)
2	体専③
3	競技会
4	3000mSC 8.44.57
	5000m 14.39.74
4/3	1500m 3.55.79 ①筑大競
4/18	3000mSC 9.14.04 ②筑大競
5/1	3000mSC 9.09.22 ①記録突破会
5/22	3000mSC 8.59.80 関東IC・予
5/23	3000mSC 8.59.38 関東IC・決
5/29	10000m 31.41.56 東海大競
6/20	5000m 15.22.80 ③筑大競
7/10	5000m 15.04.45 順大競
8/7	5000m 15.01.56 ⑤記録突破会
9/19	3000mSC 8.44.57 日本IC

10/2	10000m 30.48.66 ⑨記録突破会
10/23	ハーフマラソン 1.06.16 箱根駅伝予選会
11/13	ロードレース 61.07 激坂王決定戦
12/4	10000m 30.55.56 日体大競

村田 修作

1	大宮高校(埼玉)
2	体専③
3	データバンク
4	5000m 14.42.01
5/29	1500m 4.11.10 ③記録突破会
6/19	1500m 4.05.27 ③筑大競
6/20	5000m 15.44.61 ③筑大競

大塚 陸渡

1	日体大柏高校(千葉)
2	体育②
3	競技会
4	1500m 3.52.54
	5000m 14.23.55
5/9	1500m 3.55.85 ②記録突破会

岡田 拓朗

1	松山北高校(愛媛)
2	体育②
3	ユニフォーム
4	1500m 4.10.66
	5000m 15.52.28
	3000mSC 9.55.64
5/9	1500m 4.35.23 ②記録突破会
5/29	1500m 4.14.34 ③記録突破会
5/30	3000m 9.37.52 ③記録突破会
6/19	1500m 4.17.76 ③筑大競
6/20	3000m 9.37.52 ③筑大競
7/3	3000m 9.40.20 ④記録突破会
10/10	5000m 16.55.59 ⑤筑大競
10/17	3000mSC 10.29.66 関甲信

小林 大晃

1	鳳高校(大阪)
2	体育②
3	データバンク
4	5000m 14.48.65
11/7	5000m 15.13.7 ⑩記録突破会
12/5	5000m 15.26.63 日体大競

鈴木 晨耀

1	水戸第一高校(茨城)
2	体育②
3	トレーナー
4	5000m 15.33.13
	3000mSC 9.32.26
4/17	1500m 4.14.05 ②筑大競
4/18	5000m 16.06.34 ②筑大競
5/9	1500m 4.14.73 ②記録突破会
5/29	1500m 4.12.84 ③記録突破会
5/29	3000m 8.59.74 ③記録突破会
6/19	1500m 4.10.77 ③筑大競
6/20	5000m 15.51.82 ③筑大競
7/3	5000m 16.00.47 ④記録突破会
8/7	5000m 15.33.13 ⑤記録突破会

塚田 萌成

1	逗子開成高校(神奈川)
2	医学 医学②
3	競技会
4	5000m 14.52.92
	10000m 30.36.14
4/3	1500m 4.08.56 ①筑大競
4/4	3000m 8.57.48 ①筑大競
4/17	1500m 4.16.77 ②筑大競
4/18	5000m 15.41.54 ②筑大競
5/1	10000m 32.44.14 ①記録突破会
5/29	10000m 31.50.16 東海大競
6/20	3000m 9.05.89 ③筑大競
6/20	5000m 15.19.98 ③筑大競
7/3	5000m 14.52.92 順大競
8/7	5000m 15.15.10 ⑤筑大競
10/2	10000m 31.25.37 ⑨記録突破会
11/23	10000m 31.06.53 10000m記録挑戦会
12/4	10000m 30.36.14 日体大競

照内 淳和

1	宇都宮高校(栃木)
2	医学 医学②
3	広報
4	1500m 4.15.33
	5000m 15.41.81
5/9	1500m 4.32.75 ②記録突破会
5/29	3000m 9.27.07 ③記録突破会
6/20	5000m 16.24.81 ③筑大競
7/3	5000m 16.24.81 ④記録突破会
8/7	5000m 15.55.50 ⑤記録突破会

富山 翔太

1	岡崎高校(愛知)
2	生命環境 地球②
3	データバンク
4	1500m 4.07.72
	5000m 14.59.55
5/9	1500m 4.14.59 ②記録突破会
5/29	1500m 4.08.48 ③記録突破会
5/29	3000m 8.51.84 ③記録突破会
10/17	5000m 15.18.41 関甲信

長井 隆星

1	柏南高校(千葉)
2	体育②
3	トレーナー
4	1500m 3.56.86
	5000m 14.46.17
	10000m 31.09.07
	ハーフマラソン 1.06.59
4/17	1500m 3.57.80 ②筑大競
4/18	5000m 15.17.42 ②筑大競
5/9	1500m 3.56.86 ②記録突破会
5/29	10000m 31.43.83 東海大競
6/20	3000m 8.50.70 ③記録突破会
6/20	5000m 15.26.52 ③記録突破会
7/3	5000m 14.46.17 順大競
8/7	5000m 14.55.70 ⑤記録突破会
10/2	10000m 31.09.07 ⑨記録突破会
10/23	ハーフマラソン 1.06.59 箱根駅伝予選会

長谷川 嵩汰

1	日立第一高校(茨城)
2	医学 医療科②
3	広報
4	10000m 30.23.64

5/9	1500m 4.02.45 ②記録突破会
5/29	3000m 8.40.27 ③記録突破会
6/19	1500m 4.01.75 ③筑大競
6/20	5000m 15.10.71 ③筑大競
7/3	5000m 14.50.36 順大競
8/7	5000m 15.06.06 ⑤記録突破会
10/2	10000m 30.23.64 ⑨記録突破会
10/23	ハーフマラソン 1.09.45 箱根駅伝予選会
11/23	10000m 32.23.26 10000m記録挑戦会

平山 大雅

1	宇都宮高校(栃木)
2	体育②
3	競技会
4	5000m 13.59.81
	10000m 29.50.24
	ハーフマラソン 1.04.26
4/3	1500m 3.54.09 ①筑大競
4/4	3000m 8.31.17 ①筑大競
4/18	5000m 15.02.37 ②筑大競
5/29	10000m DNF 東海大競
6/20	3000m 8.27.23 ③筑大競
6/20	5000m 15.58.04 ③筑大競
7/3	5000m 14.24.23 順大競
8/7	5000m 14.37.16 ⑤記録突破会
10/2	10000m 30.17.80 ⑨記録突破会
10/23	ハーフマラソン 1.04.26 箱根駅伝予選会
11/23	10000m 29.50.24 10000m記録挑戦会
12/5	5000m 13.59.81 日体大競

藤原 潤乃佑

1	東邦大東邦高校(千葉)
2	体育②
3	競技会
4	1500m 3.58.25
	5000m 14.36.50
	10000m 30.54.80
5/9	1500m 3.59.31 ②記録突破会
5/29	1500m 3.58.52 ③記録突破会
5/30	3000m 8.30.45 ③記録突破会
6/20	5000m 14.43.04 ③筑大競
7/3	5000m 14.36.50 順大競
8/7	5000m 14.45.27 ⑤記録突破会
10/2	10000m 30.57.56 ⑨記録突破会
10/23	ハーフマラソン 1.07.40 箱根駅伝予選会
12/4	10000m 30.54.80 日体大競

皆川 和範

1	春日部高校(埼玉)
2	理工 物理②
3	ユニフォーム
4	5000m 14.33.76
	10000m 29.57.39
	ハーフマラソン 1.03.45
8/7	5000m 14.47.47 ⑤記録突破会
10/2	10000m 29.57.39 ⑨記録突破会
10/23	ハーフマラソン 1.03.51 箱根駅伝予選会
11/23	10000m 30.14.89 10000m記録挑戦会
12/4	10000m 30.05.56 日体大競

大崎 友裕

1	佐原高校(千葉)
2	体専①
3	トレーナー
4	1500m 4.12.13
	5000m 15.27.15
5/29	1500m 4.12.95 ③記録突破会
5/30	3000m 9.03.83 ③記録突破会

6/19	1500m 4.12.13 ③筑大競
7/3	3000m 9.16.99 ④記録突破会
11/7	5000m 16.00.7 ⑩記録突破会
11/20	5000m 15.29.67 平国大競

小野木 宏太

1	岐阜高校(岐阜)
2	体専①
3	トレーナー
4	1500m 4.10.28
	5000m 16.06.29
	3000mSC 9.28.07
6/19	1500m 4.10.28 ③筑大競
7/3	3000m 8.58.93 ④記録突破会
10/9	5000m 16.06.29 ⑤筑大競
10/17	3000mSC 9.28.07 関甲信

金子 佑太郎

1	横浜翠嵐高校(神奈川)
2	理工 エシス①
3	広報
4	1500m 3.57.41
	5000m 14.31.46
12/5	5000m 14.31.46

熊谷 秀人

1	大船渡高校(岩手)
2	社会国際 国際①
3	広報
4	1500m 4.14.10
	5000m 16.25.64
5/29	1500m 4.18.93 ③記録突破会
5/30	3000m 9.26.08 ③記録突破会
6/19	1500m 4.18.50 ③筑大競
7/3	3000m 9.18.08 ④記録突破会

齊藤 一樹

1	佐原白楊高校(千葉)
2	体専①
3	トレーナー
4	5000m 16.25.52
5/29	1500m 4.38.07 ③記録突破会
5/30	3000m 10.07.17 ③記録突破会
6/19	1500m 4.29.98 ③筑大競
7/3	3000m 10.10.28 ④記録突破会

田中 康聖

1	広島学院高校(広島)
2	人間 心理①
3	ユニフォーム
4	5000m 15.22.35
8/7	5000m 15.38.85 ⑤記録突破会
11/7	5000m 15.32.6 ⑩記録突破会
11/20	5000m 15.22.35 平国大競

中山 純静

1	新発田高校(新潟)
2	体専①
3	トレーナー
4	1500m 4.10.73
	5000m 14.59.89
5/29	1500m 4.10.73 ③記録突破会
5/30	3000m 9.06.29 ③記録突破会
6/19	1500m 4.14.36 ③筑大競
7/3	5000m 15.36.11 ④記録突破会
8/7	5000m 15.23.99 ⑤記録突破会

6. 令和3年度 個人記録集

10/2 10000m 33.47.90 ⑨記録突破会
 10/17 5000m 15.09.60 関甲信
 11/7 5000m 15.29.5 ⑩記録突破会
 12/5 5000m 14.59.89 日体大競

長谷川 健太

1 磐城高校(福島)
 2 生命環境 生物資源①
 3 競技会
 4 5000m 14.38.34
 5/29 1500m 4.09.55 ③記録突破会
 5/30 3000m 8.57.98 ③記録突破会
 6/19 1500m 4.06.58 ③筑大競
 7/3 5000m 15.12.96 ④記録突破会
 8/7 5000m 15.30.74 ⑤記録突破会
 10/2 10000m 31.57.15 ⑨記録突破会
 11/7 5000m 14.50.2 ⑩記録突破会
 12/5 5000m 14.38.34 日体大競

平野 大樹

1 喜多方高校(福島)
 2 体専①
 3 データバンク
 4 5000m 15.40.28
 7/3 3000m 9.07.16 ④記録突破会
 8/7 5000m 15.40.28 ⑤記録突破会

古川 幸治

1 名東高校(愛知)
 2 体専①
 3 広報
 4 1500m 3.59.66
 5000m 15.01.3
 5/29 1500m 4.00.78 ③記録突破会
 5/30 3000m 8.46.01 ③記録突破会
 6/19 1500m 3.59.66 ③筑大競
 6/20 5000m 15.04.28 ③筑大競
 7/10 5000m 15.13.23 順大競

宮代 和騎

1 竜ヶ崎第一高校(茨城)
 2 体専①
 3 広報
 4 5000m 15.00.33
 5/29 1500m 4.01.49 ③記録突破会
 5/30 3000m 8.51.16 ③記録突破会
 6/19 1500m 4.02.18 ③筑大競
 7/20 5000m 15.20.52 順大競
 8/7 5000m 15.11.16 ⑤記録突破会

本村 春人

1 葦山高校(静岡)
 2 生命環境 生物資源①
 3 データバンク
 4 5000m 15.39.91
 5/29 1500m 4.14.03
 5/30 3000m 9.19.99
 6/19 1500m 4.14.61
 7/3 5000m 15.47.73
 8/7 5000m 15.52.04
 10/9 5000m 16.04.30
 10/17 5000m 15.47.75
 11/7 5000m 16.10.4
 11/20 5000m 15.39.91

吉田 海渡

1 一関第一高校
 2 体専①
 3 ユニフォーム
 4 1500m 3.49.72
 5000m 14.19.16
 10000m 30.18.39
 5/1 1500m 3.52.11 ①記録突破会
 5/4 1500m 3.51.20 東海大競
 5/20 1500m 3.54.16 関東IC・予
 5/30 3000m 8.27.26 ③記録突破会
 6/24 1500m 3.50.23 U20日本選手権・予
 6/25 1500m 3.49.72 U20日本選手権・決
 7/10 5000m 14.39.90 順大競
 8/20 1500m 3.57.08 ⑥記録突破会
 10/2 10000m 30.59.11 ⑨記録突破会
 10/23 1500m 4.02.29 ⑥筑大競
 11/23 10000m 30.18.39 1000m記録挑戦会
 12/5 5000m 14.19.16 日体大競

跳躍ブロック

植松 海里

1 浜松北高校(静岡)
 2 人間総合科学 体育②
 4 棒高跳 5.10
 5/1 棒高跳 4.61 ①記録突破会
 5/29 棒高跳 4.70 ③記録突破会
 6/19 棒高跳 4.30 ③筑大競
 10/23 棒高跳 NM ⑥筑大競
 10/24 三段跳 11.17 ⑥筑大競
 10/24 4×400mR 3.45.64 ⑥筑大競

芝井 良太

1 高岡高校(富山)
 2 人間総合科学 体育②
 4 棒高跳 5.00
 4/3 棒高跳 4.60 ①筑大競
 4/17 100m 11.22(+1.9) ②筑大競
 4/17 棒高跳 4.60 ②筑大競
 5/23 棒高跳 5.00 関東IC
 5/29 棒高跳 4.70 ③記録突破会
 6/19 棒高跳 4.70 ③筑大競
 10/16 棒高跳 4.60 関甲信

谷内 剣

1 富山高校(富山)
 2 人間総合科学 体育②
 4 走幅跳 7.48
 4/17 走幅跳 6.74(+0.6) ②筑大競
 5/1 走幅跳 6.84(+1.7) ①記録突破会
 5/9 走幅跳 6.61(+1.0) ②記録突破会
 5/22 走幅跳 6.92(-1.1) 関東IC
 6/19 走幅跳 6.81(+0.2) ③筑大競
 8/20 走幅跳 6.75(+2.3) ⑥記録突破会
 10/23 走幅跳 6.20(+1.3) ⑥筑大競
 10/24 三段跳 12.33(0.0) ⑥筑大競
 10/24 4×400mR 3.45.64 ⑥筑大競

内山 朋也

1 長野吉田高校(長野)
 2 人間総合科学 体育①
 4 棒高跳 5.30
 4/17 棒高跳 5.00 ②筑大競
 5/1 棒高跳 5.21 ①記録突破会

5/1 走幅跳 7.56(+2.4) ①記録突破会
 5/9 棒高跳 5.05 ②記録突破会
 5/23 棒高跳 5.20 関東IC
 5/29 棒高跳 NM ③記録突破会
 6/19 棒高跳 5.00 ③筑大競
 8/20 棒高跳 5.30 ⑥記録突破会
 8/20 走幅跳 7.43(+0.5) ⑥記録突破会
 8/27 走幅跳 7.14(+0.6) ⑧記録突破会
 9/19 棒高跳 NM 日本IC

小木曾 光

1 中京大中京高校(愛知)
 2 人間総合科学 体育①
 4 棒高跳 5.30
 4/3 棒高跳 NM ①筑大競
 5/1 棒高跳 5.01 ①記録突破会
 5/9 棒高跳 5.09 ②記録突破会
 5/23 棒高跳 5.20 関東IC
 5/29 棒高跳 NM ③記録突破会
 8/20 棒高跳 5.10 ⑥記録突破会
 10/2 棒高跳 5.00 ⑨記録突破会
 10/16 棒高跳 5.00 関甲信
 10/23 走幅跳 7.03(+0.6) ⑥筑大競

竹入 聡一郎

1 伊那北高校(長野)
 2 数理物質科学研究群①
 4 走幅跳 7.31
 4/3 走幅跳 6.98(+1.3) ①筑大競
 4/17 100m 11.25(+1.9) ②筑大競
 4/17 走幅跳 6.67(-0.2) ②筑大競
 5/1 走幅跳 7.12(+1.8) ①記録突破会
 5/29 走幅跳 7.31(+1.0) ③記録突破会
 6/19 100m 11.07(0.0) ③筑大競・2次
 6/19 走幅跳 NM ③筑大競
 7/10 100m 11.08(-1.1) 長野県選
 7/11 走幅跳 7.20(+1.1) 長野県選
 8/20 走幅跳 7.04(+2.4) ⑥記録突破会
 10/24 4×400mR 3.45.64 ⑥筑大競

松岡 修平

1 高田高校(三重)
 2 医学 医学⑥
 4 走幅跳 7.48
 4/3 走幅跳 6.86(+1.1) ①筑大競
 4/17 走幅跳 6.93(+0.7) ②筑大競
 5/1 走幅跳 6.91(+3.6) ①記録突破会
 5/29 走幅跳 7.18(+1.3) ③記録突破会
 6/19 走幅跳 6.90(0.0) ③筑大競
 7/10 走幅跳 7.06(+0.5) 三重県選
 7/23 走幅跳 6.96(+0.2) ③流通経済大競技会
 8/20 走幅跳 7.21(+1.0) ⑥記録突破会
 10/23 走幅跳 6.49(+0.6) ⑥筑大競
 10/24 走高跳 1.75 ⑥筑大競
 10/24 4×400mR 3.45.64 ⑥筑大競

金光 晴香

1 水戸第一高校(茨城)
 2 医学 医学⑥
 4 走高跳 1.65
 三段跳 11.74
 4/3 100m 13.10(+2.6) ①筑大競
 4/4 走高跳 1.55 ①筑大競
 4/18 走高跳 1.55 ②筑大競
 4/18 三段跳 11.74(+1.2) ②筑大競
 5/2 三段跳 11.48(-1.1) ①記録突破会
 5/2 走高跳 1.60 ①記録突破会
 5/29 走高跳 1.65 ③記録突破会

5/30	三段跳	11.72(-0.4)	③記録突破会
6/19	100m	13.18(+0.9)	③筑大競
6/20	走高跳	1.55	③筑大競
7/2	走高跳	1.55	茨城県選
7/4	三段跳	11.69(+1.4)	茨城県選
8/21	走高跳	1.60	⑥記録突破会
8/21	三段跳	11.57(+1.4)	⑥記録突破会
8/28	走高跳	1.60	⑦記録突破会
10/17	走高跳	1.55	関甲信
10/17	三段跳	11.03(+0.7)	関甲信
10/23	100m	13.13(+0.4)	⑥筑大競
10/23	走幅跳	5.21w(+3.7)	⑥筑大競

宮内 勝史

1	酒田西高校(山形)
2	体専④
4	走幅跳 7.81
4/17	100m 11.03(-0.2) ②筑大競
4/17	走幅跳 6.91(+1.4) ②筑大競
5/1	走幅跳 7.29(+5.5) ①記録突破会
5/9	走幅跳 7.42(+1.8) ②記録突破会
5/29	走幅跳 7.41(+0.5) ③記録突破会
6/5	走幅跳 7.60(+1.8) 学生個人
6/19	走幅跳 7.20(+0.2) ③筑大競
7/9	走幅跳 7.05(-0.7) 山形県選
7/23	走幅跳 7.29(+2.5) ③流通経済大競技会
8/20	走幅跳 7.45(+0.7) ⑥記録突破会
8/27	走幅跳 7.09(+0.4) ⑧記録突破会
9/17	走幅跳 7.37(+0.6) 日本IC
10/2	走幅跳 7.03(-2.8) ⑤筑大競

菅 颯一郎

1	神辺旭高(広島)
2	体専④
3	広報
4	棒高跳 5.15
4/3	棒高跳 5.00 ①筑大競
4/17	棒高跳 NM ②筑大競
5/1	棒高跳 5.11 ①記録突破会
5/9	棒高跳 5.15 ②記録突破会
5/22	棒高跳 4.90 関東IC
6/6	棒高跳 5.10 学生個人
6/26	棒高跳 4.90 広島県選
8/20	棒高跳 5.10 ⑥記録突破会

兒玉 直之

1	宮崎西高校(宮崎)
2	体専④
3	データバンク
4	三段跳 15.71
4/4	三段跳 14.54(+1.8) ①筑大競
4/18	三段跳 15.07(+1.2) ②筑大競
5/2	三段跳 15.37(+0.7) ①記録突破会
5/23	三段跳 15.28(+2.5) 関東IC
5/29	走幅跳 6.96(+2.3) ③記録突破会
7/3	走幅跳 6.75(+0.3) 宮崎県選
7/4	三段跳 15.14(+0.7) 宮崎県選
8/21	三段跳 15.71(+1.1) ⑥筑大競
9/19	三段跳 15.38(+1.5) 日本IC
10/9	走幅跳 6.72(+0.1) ⑤筑大競
10/23	100m 11.99(+1.1) ⑥筑大競
10/23	走幅跳 5.39(+0.7) ⑥筑大競
10/24	三段跳 15.22(-0.3) ⑥筑大競
10/24	4x400mR 3'44"83 ⑥筑大競

藤内 雄大

1	修猷館(福岡)
2	体専④
3	競技会
4	走幅跳 7.27
4/3	走幅跳 6.86(+0.5) ①筑大競
4/17	走幅跳 7.07(+0.7) ②筑大競
5/1	走幅跳 7.24(+2.8) ①記録突破会

平賀 勇輝

1	宇都宮高校(栃木)
2	体専④
3	トレーナー
4	走幅跳 6.69
4/17	走幅跳 5.82(+1.3) ②筑大競

田中 洋行

1	松山東高校(愛媛)
2	体専④
3	競技会
4	三段跳 14.80
4/4	三段跳 14.59(+2.0) ①筑大競
4/18	三段跳 13.69(+2.9) ②筑大競
5/2	三段跳 14.49(+0.8) ①記録突破会
5/23	三段跳 14.69(+4.0) 関東IC
5/29	走幅跳 6.97(+3.0) ③記録突破会
5/30	三段跳 14.36(-0.1) ③記録突破会
6/19	100m 11.93(+0.9) ③筑大競
6/19	走幅跳 6.80(-0.2) ③筑大競
7/11	三段跳 14.49(+2.3) 愛媛県選
8/21	三段跳 14.79(+2.3) ⑥記録突破会
8/27	三段跳 14.67(+0.1) ⑧記録突破会
10/2	走幅跳 6.70(+0.2) ⑨記録突破会
10/9	三段跳 14.23(-0.3) ⑤筑大競
10/16	三段跳 13.89(+0.8) 関甲信
10/23	走幅跳 6.85(+1.1) ⑥筑大競
10/24	三段跳 14.31(+0.4) ⑥筑大競
10/24	4x400mR 3:44.83 ⑥筑大競

橋本 梨沙

1	幕張総合高校(千葉)
2	体専④
3	ユニフォーム
4	三段跳 12.69
	走幅跳 5.89
4/17	走幅跳 5.16(+1.1) ②記録突破会
4/18	三段跳 11.34(+2.0) ②記録突破会
5/1	走幅跳 5.38(+1.0) ①記録突破会
5/2	三段跳 NM ①記録突破会
5/9	三段跳 11.84(+0.6) ②記録突破会
5/22	三段跳 11.45(+0.1) 関東IC・予
6/19	走幅跳 5.06(+0.4) ③筑大競
6/20	三段跳 11.32(+0.7) ③筑大競
8/21	三段跳 11.55(+1.5) ⑥記録突破会

山下 桐子

1	橘高校(福島)
2	体専④
3	トレーナー
4	三段跳 12.79
4/17	100m 13.21(+1.4) ②筑大競・1次
4/17	100m 13.02(+0.6) ②筑大競・2次
4/17	走幅跳 5.53(+1.5) ②筑大競
4/18	三段跳 11.93(+1.7) ②筑大競
5/2	三段跳 12.45(-0.4) ①記録突破会
5/22	三段跳 12.50(+0.2) 関東IC・予
5/22	三段跳 12.79(+1.2) 関東IC・決

6/5	三段跳	12.21w(+3.2)	個人選手権
6/26	三段跳	12.06(-1.0)	日本選手権
8/20	走幅跳	5.23(+0.7)	⑥記録突破会
8/21	三段跳	12.12(+1.1)	⑥記録突破会
9/18	三段跳	11.94(+0.6)	日本IC

吉岡 美玲

1	星稜高校(石川)
2	体専④
3	広報
4	走幅跳 6.13
	三段跳 11.52
4/17	100m 12.41w(+3.4) ②筑大競・1次
4/17	100m 12.43(+0.6) ②筑大競・2次
4/17	走幅跳 5.83(+1.8) ②筑大競
5/1	走幅跳 6.20w(+2.3) ①記録突破会
5/9	走幅跳 6.10(-0.1) ②記録突破会
5/20	走幅跳 5.85(+1.0) 関東IC・予
5/20	走幅跳 5.79(-0.9) 関東IC・決
5/29	100m 12.33(+1.2) ③記録突破会
6/24	走幅跳 5.84(+0.3) 日本選手権
8/20	100m 12.16(+1.9) ⑥記録突破会
8/20	走幅跳 6.07(+0.5) ⑥記録突破会
9/17	走幅跳 6.13(+0.4) 日本IC

伊藤 鴻児

1	戸山高校(東京)
2	体専③
3	トレーナー
4	三段跳 14.34
4/4	三段跳 14.20(+3.4) ①筑大競
4/18	三段跳 13.85(+4.0) ②筑大競
5/2	三段跳 14.34(+0.1) ①記録突破会
8/21	三段跳 13.70(+0.4) ⑥記録突破会
10/16	三段跳 13.55(+0.4) 関甲信

大熊 建

1	県立千葉高校(千葉)
2	体専③
3	広報
4	三段跳 15.47

柴田 涼太郎

1	社高校(兵庫)
2	体専③
3	広報
4	走高跳 2.13
4/18	走高跳 2.06 ②筑大競
5/2	走高跳 2.08 ①記録突破会
5/22	走高跳 2.08 関東IC
6/4	走高跳 NM 個人選手権
6/19	走高跳 2.10 ③筑大競
7/11	走高跳 2.13 兵庫県選
8/21	走高跳 2.10 ⑥記録突破会
9/18	走高跳 2.10 日本IC
10/16	走高跳 2.00 関甲信

竹内 哲大

1	県立柏高校(千葉)
2	理工 応理③
3	競技会
4	走高跳 2.10

藤井 稜真

1	兵庫高校(兵庫)
2	体専③
3	トレーナー
4	走高跳 2.13
4/18	走高跳 2.06 ②筑大競
5/2	走高跳 2.05 ①記録突破会
5/22	走高跳 2.08 関東IC
6/19	走高跳 2.10 ③筑大競
7/11	走高跳 2.07 兵庫県選
7/24	走高跳 2.05 流経大競
8/22	走高跳 2.13 ⑥記録突破会
9/18	走高跳 2.10 日本IC
10/16	110mH 15.18(+0.1) 関甲信

松田 基

1	山形中央高校(山形)
2	体専③
3	広報・ユニフォーム
4	三段跳 15.77
4/4	三段跳 15.77(-0.8) ①筑大競
4/18	三段跳 15.60(+1.6) ②筑大競
5/2	三段跳 15.15(+0.2) ①記録突破会
5/23	三段跳 15.73(+3.0) 関東IC
7/10	三段跳 15.44(+2.9) 山形県選
8/20	走幅跳 7.23(+0.2) ⑥記録突破会
8/21	三段跳 15.20(+1.2) ⑥記録突破会
9/19	三段跳 15.19(+1.2) 日本IC
10/10	三段跳 15.46(+0.9) ⑤筑大競
10/23	棒高跳 3.50 ⑥筑大競
10/24	三段跳 15.20(+0.6) ⑥筑大競

安保 涼音

1	伊勢高校(三重)
2	情報 知識③
3	データバンク
4	棒高跳 3.10
4/3	棒高跳 2.80 ①筑大競
4/17	棒高跳 2.90 ②筑大競
5/1	棒高跳 3.01 ①記録突破会
5/30	棒高跳 3.00 ③記録突破会
6/19	棒高跳 3.00 ③筑大競
7/10	棒高跳 2.90 三重県選
8/20	棒高跳 3.00 ⑥記録突破会
10/9	棒高跳 2.90 ⑤筑大競
10/16	棒高跳 2.90 関甲信
10/23	棒高跳 3.10 ⑥筑大競

高良 彩花

1	園田学園高校(兵庫)
2	体専③
3	データバンク
4	走幅跳 6.44
	三段跳 13.20
	100m 11.99
4/17	100m 12.50w(+3.4) ②筑大競
4/25	走幅跳 6.35w(+2.8) 兵庫リレーカーニバル
5/9	走幅跳 6.24(-0.1) Ready Steady Tokyo
5/20	走幅跳 6.23(+1.4) 関東IC・予
5/20	走幅跳 6.26(-0.2) 関東IC・決
5/30	三段跳 12.93(0.0) ③記録突破会
6/24	走幅跳 6.30(-1.0) 日本選手権
6/26	三段跳 13.03w(+2.1) 日本選手権
8/20	100m 11.99(+1.9) ⑥記録突破会
8/20	走幅跳 6.18(+0.8) ⑥記録突破会
9/17	走幅跳 6.33(+0.3) 日本IC・決
9/18	三段跳 12.95(+0.2) 日本IC・決
10/17	走幅跳 6.22w(+2.4) 田島記念

10/24 三段跳 13.20(+0.3) ⑥筑大競

塩崎 泉

1	至学館高校(愛知)
2	体専③
3	広報・ユニフォーム
4	棒高跳 4.00
5/1	棒高跳 3.81 ①記録突破会
5/9	棒高跳 NM ②記録突破会
5/20	棒高跳 4.00 関東IC
6/25	棒高跳 3.80 日本選手権
7/17	棒高跳 3.60 愛知県選
8/20	棒高跳 3.70 ⑥記録突破会
9/17	棒高跳 3.70 日本IC
10/16	棒高跳 NM 関甲信
10/23	100m 13.43(+0.4) ⑥筑大競
10/23	棒高跳 3.60 ⑥筑大競

武田 ひすい

1	広尾学園高校(東京)
2	医学 医学③
3	トレーナー
4	走高跳 1.67
	走幅跳 5.70
4/3	走幅跳 5.35(-0.2) ①筑大競
4/4	走高跳 1.55 ①筑大競
4/17	走幅跳 5.40(+0.1) ②筑大競
4/18	走高跳 1.55 ②筑大競
5/1	走幅跳 5.70(-0.3) ①記録突破会
5/2	走高跳 1.55 ①記録突破会
5/29	100m 13.12(+1.2) ③記録突破会
6/19	100m 13.62(+0.4) ③筑大競
6/19	走幅跳 5.05(+0.5) ③筑大競
7/23	走幅跳 5.46(+0.9) ③流経大競
7/24	走高跳 1.55 ③流経大競
8/20	走幅跳 NM ⑥記録突破会
8/28	走高跳 1.55 ⑧記録突破会
10/17	走高跳 NM 関甲信
10/23	100m 13.74(+0.1) ⑥筑大競
10/24	三段跳 11.08(+0.9) ⑥筑大競

野口 美帆

1	江戸川女子高校(東京)
2	社会・国際 社会学③
3	競技会
4	三段跳 12.02
	走幅跳 5.62
	100m 13.00
4/3	走幅跳 5.24(+1.0) ①筑大競
4/4	三段跳 11.47(+0.9) ①筑大競
4/17	100m 13.25(+1.4) ②筑大競
4/17	100m 13.21(+0.6) ②筑大競
4/18	三段跳 11.47(+1.9) ②筑大競
5/2	三段跳 11.59(+0.5) ①記録突破会
5/9	三段跳 11.51(-0.7) Ready Steady Tokyo
5/29	100m 13.05(+1.2) ③記録突破会
5/30	三段跳 11.37(+0.4) ③記録突破会
6/19	100m 13.13(+0.9) ③筑大競・1次
6/19	100m 13.10(+0.7) ③筑大競・2次
6/20	三段跳 11.73(+1.7) ③筑大競
7/3	走幅跳 5.57w(+2.5) 茨城県選
7/4	三段跳 11.27(+0.2) 茨城県選
8/20	走幅跳 5.62(+1.3) ⑥記録突破会
8/21	三段跳 11m43(-0.1) ⑥記録突破会
10/9	100m 13.11w(+2.2) ⑤筑大競
10/10	三段跳 12.02(+0.3) ⑤筑大競
10/17	三段跳 10.82(+1.1) 関甲信
10/23	100m 13.00(+0.4) ⑥筑大競・1次
10/23	100m 12.96w(+2.2) ⑥筑大競・2次

10/23 走幅跳 5.54(+0.1) ⑥筑大競
10/24 三段跳 11.27(-1.2) ⑥筑大競

早瀬 知穂

1	浦和第一女子高校(埼玉)
2	体専③
3	競技会
4	走幅跳 5.45
4/3	走幅跳 5.10(-0.1) ①筑大競
4/17	100m 13.30(+1.5) ②筑大競・1次
4/17	100m 13.43(+0.6) ②筑大競・2次
4/17	走幅跳 5.09w(+2.8) ②筑大競
5/1	走幅跳 5.02(+1.2) ①記録突破会
5/9	走幅跳 5.21(+1.4) ②記録突破会
5/29	100m 13.41(+1.2) ③記録突破会
5/29	走幅跳 5.15(+1.1) ③記録突破会
6/19	100m 13.58(+0.4) ③筑大競
6/19	走幅跳 5.08(-0.5) ③筑大競
6/26	走幅跳 4.98(+0.1) 埼玉県選
8/20	走幅跳 5.08(+0.9) ⑥記録突破会
10/9	100m 13.50w(+2.2) ⑤筑大競
10/9	走幅跳 4.97(+0.5) ⑤筑大競
10/16	走幅跳 5.09(-0.2) 関甲信
10/23	100m 13.40(+0.8) ⑥筑大競・1次
10/23	100m 13.21w(+2.2) ⑥筑大競・2次
10/23	走幅跳 5.15(+1.5) ⑥筑大競

吉田 二千翔

1	伊勢高校(三重)
2	体専③
3	トレーナー
4	走幅跳 5.82
4/3	走幅跳 NM ①筑大競
4/17	100m 12.83(+1.4) ②筑大競
4/17	走幅跳 5.74(+0.7) ②筑大競
5/1	走幅跳 5.82(+1.7) ①記録突破会
5/20	走幅跳 5.40(+1.2) 関東IC・予
5/29	100m 12.58(+1.2) ③記録突破会
6/19	100m 12.92(-0.9) ③筑大競
6/19	走幅跳 5.57(+0.4) ③筑大競
7/10	走幅跳 5.67(+1.4) 三重県選
7/23	走幅跳 5.62 ③流経大競
8/20	走幅跳 5.61(+0.9) ⑥記録突破会
10/16	走幅跳 5.49(-0.2) 関甲信
10/23	走幅跳 NM ⑥筑大競
10/23	100m 13.00(+0.4) ⑥筑大競

大沼 樹生

1	帯広柏葉高校(北海道)
2	理工 応理②
3	競技会
4	走高跳 2.10
4/3	走幅跳 6.57(+0.8) ①筑大競
4/4	走高跳 2.00 ①筑大競
4/18	走高跳 2.03 ②筑大競
5/2	走高跳 2.00 ①記録突破会
5/29	走高跳 1.95 ③記録突破会
6/19	走高跳 2.05 ③筑大競
8/21	走高跳 2.10 ⑥記録突破会
9/18	走高跳 2.05 日本IC

川上 涼

1	作新学院高校(栃木)
2	理工 応理②
3	トレーナー
4	走幅跳 7.10
5/1	走幅跳 6.37(+1.7) ①記録突破会
6/19	走幅跳 6.42(+0.3) ③筑大競

8/27	走幅跳	6.61(+0.2)	⑧記録突破会
10/9	走幅跳	6.50(+1.2)	⑤筑大競
10/16	走幅跳	6.32(-0.7)	佐野選手権
10/23	走幅跳	6.54(+2.4)	⑥筑大競
10/24	走高跳	1.60	⑥筑大競
10/24	4×400mR	3.51.34	⑥筑大競

澁谷 侃

1	仙台第二高校(宮城)		
2	医学②		
3	データバンク		
4	走高跳	2.03	
4/4	走高跳	1.85	①筑大競
5/2	走高跳	NM	①記録突破会
6/19	走高跳	1.80	③筑大競
7/12	走高跳	1.85	宮城県選
10/24	三段跳	12.64(+1.0)	⑥筑大競
10/24	4×400mR	3.51.34	⑥筑大競

田宮 保孝

1	帯広柏葉高校(北海道)		
2	人間教育②		
3	競技会		
4	三段跳	13.24	
4/4	三段跳	12.29(+2.0)	①筑大競
4/18	三段跳	12.34(+1.3)	②筑大競
5/2	三段跳	12.46(-0.1)	①記録突破会
5/30	三段跳	12.29(+0.7)	③記録突破会
6/20	三段跳	13.07(-0.5)	③筑大競
8/21	三段跳	12.88(+0.5)	⑥記録突破会
10/10	三段跳	12.45(+0.6)	⑤筑大競

西澤 和輝

1	長野高校(長野)		
2	理工 エシス②		
3	競技会		
4	三段跳	13.65	
4/4	三段跳	13.65(+1.7)	①筑大競
4/18	三段跳	13.59(+1.7)	②筑大競
5/2	三段跳	13.11(+0.7)	①記録突破会
5/30	三段跳	13.15(-0.4)	③記録突破会
6/19	三段跳	12.80(+0.9)	③筑大競
7/11	三段跳	13.02(+2.2)	長野県選
8/21	三段跳	13.03(+0.4)	⑥記録突破会
8/27	三段跳	12.49(+0.2)	⑧記録突破会
10/10	三段跳	13.28(-0.4)	⑤筑大競
10/16	三段跳	12.25(-0.4)	関甲信
10/24	三段跳	12.70(+0.9)	⑥筑大競
10/24	4×400mR	3.44.83	⑥筑大競

松井 駿斗

1	伊勢高校(三重)		
2	体専②		
3	競技会		
4	棒高跳	5.21	
4/17	棒高跳	4.90	②筑大競
5/1	棒高跳	5.21	①記録突破会
5/22	棒高跳	4.80	関東IC
6/6	棒高跳	5.00	個人選手権
7/11	棒高跳	4.80	三重県選
8/20	棒高跳	5.10	⑥記録突破会
9/19	棒高跳	5.00	日本IC
10/23	走幅跳	6.38(+0.1)	⑥筑大競
10/24	走高跳	1.70	⑥筑大競

宮下 倫太郎

1	長田高校(兵庫)		
2	体専②		
3	広報		
4	走幅跳	7.39	
4/3	100m	10.74(+1.8)	①筑大競
4/3	走幅跳	7.23(+0.1)	①筑大競
4/17	100m	10.90(+0.3)	②筑大競
4/17	走幅跳	6.69(0.0)	②筑大競
7/10	100m	11.60(-2.7)	兵庫県選
7/11	走幅跳	6.84(0.0)	兵庫県選
8/20	走幅跳	6.87(+0.1)	⑥記録突破会
8/27	走幅跳	6.73(-0.4)	⑧記録突破会
10/2	走幅跳	6.51(+0.1)	⑨記録突破会
10/16	走幅跳	5.62(-0.1)	関甲信

渡邊 夏鈴

1	帯広三条高校(北海道)		
2	体専②		
3	広報		
4	走幅跳	5.81	
	200m	24.87	
	400m	56.91	
7/10	走幅跳	5.37w(+2.1)	⑥順大競
7/23	走幅跳	5.47(+1.4)	③流経大競
8/20	走幅跳	5.44(+0.4)	⑥記録突破会
8/27	400m	1.01.99	⑧記録突破会
9/10	走幅跳	NM	関東新人
10/16	走幅跳	5.47(0.0)	関甲信
10/23	走幅跳	5.30w(+2.3)	⑥筑大競

佐伯 舞子

1	純心女子高校(長崎)		
2	体専②		
3	トレーナー		
4	三段跳	12.64	
	走幅跳	5.44	
4/18	三段跳	12.04w(+2.4)	②筑大競
5/2	三段跳	11.93(-0.4)	①記録突破会
5/22	三段跳	12.34(+1.4)	関東IC・予
5/22	三段跳	12.31(+1.3)	関東IC・決
6/5	三段跳	11.94(+1.4)	学生個人
6/26	三段跳	11.65(+0.8)	U20日本選手権
9/18	三段跳	12.02(+0.8)	日本IC・予
10/17	三段跳	11.70(+0.8)	関甲信
10/23	走幅跳	5.42(+1.6)	⑥筑大競

藤家 麻鈴

1	星稜高校(石川)		
2	体専②		
3	ユニフォーム		
4	棒高跳	3.90	
	100m	12.57	
5/9	棒高跳	3.25	②筑大競
5/20	棒高跳	3.40	関東IC
6/5	棒高跳	NM	学生個人
6/25	棒高跳	NM	U20日本選手権
7/17	棒高跳	3.30	石川国体予選
9/17	棒高跳	NM	日本IC

深澤 南

1	秋田高校(秋田)		
2	社会・国際 社学②		
3	広報		
4	走高跳	1.55	
	100m	13.28	
4/1	走高跳	1.50	①筑大競

4/18	走高跳	1.45	②筑大競
5/2	走高跳	1.50	①記録突破会
5/28	走高跳	1.45	③記録突破会
7/2	走高跳	1.45	秋田県選
8/21	走高跳	1.45	⑥記録突破会
9/12	走高跳	1.50	関東新人
10/17	走高跳	NM	関甲信
10/23	100m	13.28(+0.4)	⑥筑大競
10/24	走高跳	1.50	⑥筑大競

稲垣 敬大

1	岡崎北高校(愛知)		
2	体専①		
3	競技会		
4	走高跳	1.95	
5/1	走高跳	1.85	①記録突破会
7/18	走高跳	1.90	愛知県選
8/20	走高跳	1.85	⑥記録突破会
10/9	走高跳	1.90	⑤筑大競
10/23	走高跳	NM	JumpFestival

小野 優介

1	仙台第三高校(宮城)		
2	体専①		
3	トレーナー		
4	三段跳	14.71	
5/1	走幅跳	6.92(+1.4)	①記録突破会
5/2	三段跳	14.03(+0.6)	①記録突破会
5/9	走幅跳	6.34(+0.4)	②記録突破会
5/29	走幅跳	6.79(+1.6)	③記録突破会
5/30	三段跳	14.29(+0.9)	③記録突破会
6/19	走幅跳	6.73(+0.5)	③筑大競
9/11	三段跳	13.94(+1.5)	関東新人
10/10	三段跳	14.71(+0.3)	⑤筑大競
10/23	100m	DNF	⑥筑大競

菊地 主馬

1	千葉東高校(千葉)		
2	体専①		
3	トレーナー		
4	走幅跳	5.91	
5/1	100m	11.29(+0.4)	①記録突破会
5/9	100m	11.34(+1.2)	②記録突破会
6/19	走幅跳	NM	③筑大競
8/20	400m	52.00	⑥記録突破会
10/23	100m	11.30(+1.8)	⑥筑大競

久保田 将也

1	帯広柏葉高校(北海道)		
2	生命 地球①		
3	競技会		
4	走幅跳	7.02	
5/1	走幅跳	6.62(+2.1)	①記録突破会
5/9	走幅跳	NM	②記録突破会
5/29	走幅跳	6.93(+0.8)	③記録突破会
6/19	走幅跳	6.60(+0.3)	③筑大競
8/20	走幅跳	7.02(+0.5)	⑥記録突破会
10/9	走幅跳	6.28(+0.5)	⑤筑大競
10/16	走幅跳	6.94(+0.3)	関甲信
10/23	100m	11.19(+1.8)	⑥筑大競

武政 壮之助

1	社高校(兵庫)		
2	体専①		
3	広報		
4	走高跳	2.10	
4/4	走高跳	2.00	①筑大競

6. 令和3年度 個人記録集

5/2	走高跳	2.00	①記録突破会
5/22	走高跳	2.00	関東IC
6/4	走高跳	NM	学生個人
6/24	走高跳	2.05	U20日本選手権
7/11	走高跳	2.07	兵庫県選
8/20	走高跳	2.05	⑥記録突破会
8/27	走幅跳	7.06(-0.4)	⑧記録突破会
9/10	走高跳	2.00	関東新人
10/16	走高跳	1.95	関甲信
10/23	走幅跳	7.11(+0.2)	⑥筑大競

古澤 一生

1	前橋育英高校(群馬)	
2	体専①	
3	広報	
4	棒高跳 5.52	
5/9	棒高跳 5.15	READY STEADY TOKYO
5/22	棒高跳 5.20	関東IC
6/6	棒高跳 5.20	学生個人
6/26	棒高跳 5.10	日本選手権
7/3	棒高跳 5.20	群馬県選
8/8	棒高跳 5.00	⑩群馬室内
8/15	棒高跳 5.30	⑩群馬室内
8/20	棒高跳 5.52	⑥記録突破会
8/27	走幅跳 6.44	⑧筑大競
9/19	棒高跳 5.40	日本IC
10/23	棒高跳 5.00	⑥筑大競
11/7	棒高跳 5.10	⑩群馬室内
11/21	棒高跳 5.20	⑩群馬室内

柁木 拓

1	法政第二高校(神奈川県)
2	体専①
3	データバンク
4	走幅跳 7.46
4/3	100m 10.48(+1.8) ①筑大競
4/17	100m 10.57(+3.8) ②筑大競
4/17	走幅跳 6.75(+1.8) ②筑大競
5/1	走幅跳 7.46(+2.0) ①記録突破会
5/21	走幅跳 6.70(+3.8) 関東IC
6/19	走幅跳 7.10(+0.6) ③筑大競
8/27	100m 10.72(+0.7) ⑧記録突破会
9/10	100m 10.72(+1.0) 関東新人・予
9/11	100m 10.85(+1.3) 関東新人・準
10/2	走幅跳 6.47(-0.6) ⑨記録突破会
10/9	走幅跳 6.92(-0.6) ⑤筑大競
10/16	100m 11.09(-1.3) 田島記念・予
10/23	走幅跳 6.80(-0.2) ⑥筑大競
10/24	三段跳 13.26(+0.6) ⑥筑大競

竹元 咲

1	鹿児島高校(鹿児島)
2	体専①
3	トレーナー
4	走幅跳 6.09
	100m 12.38
5/30	100m 12.77(+1.2) ③記録突破会
6/4	走幅跳 NM 個人選手権
6/19	100m 12.85(+0.9) ③筑大競
6/24	走幅跳 5.65(+0.1) 日本選手権
7/4	走幅跳 5.50(+0.6) 鹿児島県選
8/20	走幅跳 5.97(+1.6) ⑥記録突破会
9/17	走幅跳 5.48(+0.6) 日本IC
10/24	やり投 23.17 ⑥筑大競

宗澤 ティファニー

1	滝川第二高校(兵庫)
2	体専①
3	トレーナー
4	走高跳 1.73
4/18	走高跳 1.65 ②筑大競
5/2	走高跳 1.70 ①記録突破会
5/21	走高跳 1.60 関東IC
6/27	走高跳 1.65 U20日本選手権
7/11	走高跳 1.66 兵庫県選
8/21	走高跳 1.65 ⑥記録突破会
8/28	走高跳 1.65 近畿選手権
9/18	走高跳 1.65 日本IC
10/23	100m 13.33(+0.4) ⑥筑大競
10/24	走高跳 1.60 ⑥筑大競
10/24	やり投 17.54 ⑥筑大競

八重樫 澄佳

1	黒沢尻北高校(岩手)
2	体専①
3	ユニフォーム
4	走高跳 1.75
	三段跳 11.05
	100m 12.75
4/18	走高跳 1.70 ②筑大競
5/1	走高跳 1.70 ①記録突破会
5/21	走高跳 1.65 関東IC
6/4	走高跳 1.65 学生個人
6/27	走高跳 1.65 U20日本選手権
7/4	走高跳 1.72 岩手県選
8/21	走高跳 1.65 ⑥記録突破会
9/18	走高跳 1.65 日本IC
10/23	100m 12.88(+0.4) ⑥筑大競
10/24	走高跳 1.70 ⑥筑大競
10/24	三段跳 11.05(-0.4) ⑥筑大競

投擲ブロック

岩田 知大

1	一宮北高校(愛知)
2	体育学学位プログラムMC2
3	
4	円盤投 47.00
	ハンマー投 62.08
2/14	円盤投 43.69 投擲競技会
2/14	ハンマー投 54.18 投擲競技会
4/4	ハンマー投 57.72 大川杯
4/18	円盤投 47.00 ②筑大競
4/18	ハンマー投 59.38 ②筑大競
5/1	砲丸投 12.67 ①記録突破回
5/2	円盤投 44.68 ①記録突破回
5/2	ハンマー投 62.08 ①記録突破回
5/20	砲丸投 12.68 関東IC
5/21	ハンマー投 58.27 関東IC
5/22	円盤投 45.02 関東IC
5/30	ハンマー投 60.77 ③記録突破会
6/6	円盤投 42.41 学生個人
6/8	ハンマー投 NM 学生個人
6/20	円盤投 45.41 ③筑大競
6/20	ハンマー投 59.54 ③筑大競
7/17	砲丸投 13.03 愛知県選
7/18	円盤投 42.57 愛知県選
7/18	ハンマー投 60.09 愛知県選
8/21	円盤投 45.08 ⑥記録突破会
8/21	ハンマー投 59.27 ⑥記録突破会
8/22	円盤投 44.95 東海選手権
8/22	ハンマー投 56.78 東海選手権

8/22	砲丸投 12.87	東海選手権
8/27	円盤投 45.89	⑧記録突破会
9/17	円盤投 44.87	日本IC
9/19	ハンマー投 55.58	日本IC
10/10	円盤投 45.87	⑤筑大競
10/10	ハンマー投 56.49	⑤筑大競
10/16	砲丸投 12.44	関甲信
10/17	円盤投 41.99	関甲信
10/17	ハンマー投 55.71	関甲信
10/23	砲丸投 13.03	関甲信
10/24	円盤投 45.84	⑥筑大競
10/24	ハンマー投 56.58	⑥筑大競
11/7	円盤投 44.31	⑩記録突破会

黒住 莉那

1	大安寺中等教育(岡山)
2	体育学学位プログラムMC2
3	
4	やり投 51.86
4/17	やり投 42.25 ②筑大競
5/1	やり投 42.03 ①記録突破回
5/21	やり投 46.30 関東IC
8/20	やり投 42.07 ⑥記録突破会
9/17	やり投 41.78 日本IC

半田 水晶

1	太田女子高校(群馬)
2	体育学学位プログラムMC2
3	
4	円盤投 51.30
4/4	円盤投 46.94 ①筑大競
4/25	円盤投 NM 兵庫リレーカーニバル
5/5	円盤投 43.8 水戸招待
5/9	円盤投 44.58 Ready Steady Tokyo
5/20	円盤投 46.25 関東IC
5/29	円盤投 48.02 ③記録突破会
6/6	円盤投 42.71 学生個人
6/24	円盤投 46.49 日本選手権
7/4	円盤投 42.11 群馬県選
8/20	円盤投 46.22 ⑥記録突破会
8/27	円盤投 46.78 ⑧記録突破会
9/18	円盤投 NM 日本IC
10/10	円盤投 47.55 ⑤筑大競
10/24	円盤投 47.23 ⑥筑大競
10/30	円盤投 50.27 日体大競技会
11/7	円盤投 48.12 ⑩記録突破会

池川 博史

1	滝川第二高校(兵庫)
2	体育学学位プログラムMC1
3	
4	やり投 72.84
5/1	やり投 59.19 ①記録突破回
5/1	砲丸投 13.39 ①記録突破回
5/22	やり投 60.52 関東IC
5/20	砲丸投 13.37 関東IC
8/21	やり投 58.50 ⑥記録突破会

富永 天平

1	多摩科学技術(東京)
2	体育学学位プログラムMC1
3	
4	ハンマー投 60.84
4/18	ハンマー投 55.74 ②筑大競
5/2	ハンマー投 60.23 ①記録突破回
5/23	ハンマー投 59.25 関東IC
6/4	ハンマー投 53.28 学生個人
6/20	ハンマー投 60.30 ③筑大競

8/21 ハンマー投 56.28 ⑥記録突破会
10/24 ハンマー投 53.26 ⑥筑大競

アヒンバレティナ

1 市立尼崎高校(兵庫)
2 体専④
3 ユニフォーム
4 円盤投 48.28
砲丸投 14.15
2/14 砲丸投 13.07 投擲競技会
2/14 円盤投 45.26 投擲競技会
4/4 砲丸投 13.19 ①筑大競
4/4 円盤投 45.24 ①筑大競
4/17 砲丸投 13.45 ②筑大競
4/18 円盤投 48.28 ②筑大競
5/1 砲丸投 13.50 ①記録突破回
5/2 円盤投 45.04 ①記録突破回
5/20 円盤投 43.96 関東IC
5/23 砲丸投 13.34 関東IC
8/7 円盤投 43.08 ⑤記録突破会
8/21 円盤投 41.93 ⑥記録突破会
9/19 砲丸投 11.54 日本IC

小林 裕季

1 花園高校(京都)
2 体専④
3 トレーナー
4 ハンマー投 62.33
2/14 ハンマー投 58.51 投擲競技会
4/18 ハンマー投 61.09 ②筑大競
5/2 ハンマー投 61.66 ①記録突破回
5/22 ハンマー投 60.08 関東IC
8/21 ハンマー投 59.69 ⑥記録突破会
9/19 ハンマー投 61.19 日本IC
10/24 ハンマー投 62.33 ⑥筑大競

杉山 駿介

1 専大松戸高校(千葉)
2 体専④
3 データバンク
4 やり投 70.22
4/17 やり投 64.84 ②筑大競
5/1 やり投 65.20 ①記録突破回
5/20 やり投 64.14 関東IC
8/21 やり投 66.23 ⑥記録突破会
9/17 やり投 61.99 日本IC

田中 彩菜

1 明和高校(愛知)
2 体専④
3 トレーナー
4 円盤投 42.89
4/17 円盤投 41.38 ②筑大競
5/1 円盤投 40.48 ①記録突破回
5/29 円盤投 40.86 ③記録突破会
6/12 円盤投 38.08 名古屋夏季競技会
7/18 円盤投 NM 愛知県選
7/24 円盤投 40.78 流経大競技会
8/7 円盤投 39.91 ⑤記録突破会
8/21 円盤投 42.89 ⑥記録突破会

兵藤 秋穂

1 古川黎明高校(宮城)
2 体専④
3 広報
4 やり投 55.44
4/17 やり投 50.74 ②筑大競

5/1 やり投 53.32 ①記録突破回
5/21 やり投 51.05 関東IC
5/29 やり投 52.18 ③記録突破会
6/5 やり投 53.06 学生個人
7/12 やり投 50.31 宮城県選
8/20 やり投 52.12 ⑥記録突破会
9/17 やり投 51.30 日本IC

佐々木 幸太郎

1 仙台二華高校(宮城)
2 体専③
3 トレーナー
4 砲丸投
4/4 砲丸投 11.79 ①筑大競
4/18 砲丸投 12.22 ②筑大競
5/2 砲丸投 12.36 ①記録突破会
7/12 砲丸投 12.02 宮城県選
8/21 砲丸投 12.68 ⑥記録突破会
10/10 砲丸投 12.37 ⑤筑大競
10/16 砲丸投 11.78 関甲信
10/17 ハンマー投 39.77 関甲信

斎藤 如月

1 南多摩中等(東京)
2 体専③
3 広報
4 やり投 56.21
円盤投 37.56
4/18 円盤投 34.85 ②筑大競
5/2 円盤投 33.49 ①記録突破回
6/19 やり投 45.80 ③筑大競
6/20 円盤投 33.86 ③筑大競
8/20 やり投 48.12 ⑥記録突破会
8/21 円盤投 37.56 ⑥記録突破会
8/27 円盤投 37.17 ⑧記録突破会
10/16 円盤投 35.29 関甲信
10/24 円盤投 35.02 ⑥筑大競
11/7 円盤投 36.62 ⑩記録突破会

小松 真琴

1 土浦湖北高校(茨城)
2 体専③
3 競技会
4 円盤投 48.41
2/14 円盤投 43.48 投擲競技会
4/4 円盤投 43.20 ①筑大競
4/17 砲丸投 12.84 ②筑大競
4/18 円盤投 44.73 ②筑大競
5/2 円盤投 43.99 ①記録突破回
5/5 円盤投 41.82 水戸招待
5/20 円盤投 43.62 関東IC
5/23 砲丸投 12.42 関東IC
5/29 円盤投 43.57 ③記録突破会
6/6 円盤投 42.73 学生個人
8/7 円盤投 42.74 ⑤記録突破会
8/20 円盤投 42.02 ⑥記録突破会
9/18 円盤投 41.05 日本IC
10/24 円盤投 41.45 ⑥筑大競
11/7 円盤投 40.85 ⑩筑大競

高橋 秀徳

1 彦根東高校(滋賀)
2 体専③
3 ユニフォーム
4 やり投 68.57
4/3 やり投 64.03 ①筑大競
4/17 やり投 66.64 ②筑大競
5/1 やり投 67.85 ①記録突破回

5/20 やり投 60.49 関東IC

橋本 昇悟

1 茨城高校(茨城)
2 体専③
3 データバンク
4 砲丸投 14.65
2/14 砲丸投 12.99 投擲競技会
4/4 砲丸投 13.92 ①筑大競
4/17 砲丸投 14.15 ②筑大競
5/1 砲丸投 14.16 ①記録突破回
6/19 砲丸投 13.83 ③筑大競
7/2 砲丸投 14.65 茨城県選
8/20 砲丸投 12.77 ⑥記録突破会
10/9 砲丸投 13.78 ⑤筑大競
10/16 砲丸投 13.89 関甲信代替
10/16 やり投 53.02 関甲信代替
10/23 砲丸投 13.72 ⑥筑大競

松田 貫汰

1 咲くやこの花高校(大阪)
2 体専③
3 競技会
4 砲丸投 15.88
5/1 砲丸投 15.88 ①記録突破回
5/21 砲丸投 15.22 関東IC
10/23 砲丸投 14.34 ⑥筑大競

真鍋 綾萌

1 玉野光南高校(岡山)
2 体専③
3 広報
4 ハンマー投 54.48
8/21 ハンマー投 50.81 ⑥記録突破会
9/19 ハンマー投 52.19 日本IC
10/17 ハンマー投 49.55 関甲信代替
10/24 ハンマー投 51.22 ⑥筑大競

渡邊 寛之

1 宇都宮高校(栃木)
2 体専③
3 トレーナー
4 やり投 61.99
5/1 やり投 58.41 ①記録突破回
8/20 やり投 49.67 ⑥記録突破会

渡邊 ももこ

1 敦賀高校(福井)
2 体専③
3 競技会
4 ハンマー投 60.49
4/4 ハンマー投 57.11 大川杯
4/18 ハンマー投 58.75 ②筑大競
5/3 ハンマー投 53.80 静岡国際
5/21 ハンマー投 58.93 関東IC
5/30 ハンマー投 57.06 ③記録突破会
6/26 ハンマー投 56.97 日本選手権
8/21 ハンマー投 57.61 ⑥記録突破会
9/19 ハンマー投 58.76 日本IC
10/10 ハンマー投 55.52 ⑤筑大競
10/17 ハンマー投 56.95 静岡国際

石原 唯斗

1	姫路商業(兵庫)		
2	体育②		
3	データバンク		
4	砲丸投	15.64	
4/4	砲丸投	14.71	①筑大競
4/17	砲丸投	15.00	②筑大競
5/1	砲丸投	14.36	①記録突破会
5/21	砲丸投	15.64	関東IC
6/19	砲丸投	14.63	③筑大競
7/10	砲丸投	14.50	兵庫県選
9/18	砲丸投	14.35	日本IC

内田 萌奈

1	西武台千葉(千葉)	
2	体育②	
3	競技会	
4	やり投	51.55

執行 大地

1	市立尼崎(兵庫)		
2	体育②		
3	ユニフォーム		
4	ハンマー投	60.39	
5/1	ハンマー投	59.24	①記録突破会
5/22	ハンマー投	59.66	関東IC
5/30	ハンマー投	59.50	③記録突破会
7/11	ハンマー投	56.76	兵庫県選
8/21	ハンマー投	59.97	⑥記録突破会
9/19	ハンマー投	NM	日本IC
10/24	ハンマー投	60.39	⑥筑大競

杉岡 瞭磨

1	大手前(大阪)		
2	体育②		
3	広報		
4	やり投	61.60	
4/3	やり投	53.22	①筑大競
4/17	やり投	58.21	②筑大競
5/1	やり投	59.59	①記録突破会
5/29	やり投	61.60	②記録突破会
6/19	やり投	55.17	③筑大競
7/17	やり投	59.58	大阪府選
8/20	やり投	60.27	⑥記録突破会
9/11	やり投	59.47	関東学生新人
10/23	やり投	54.96	⑥筑大競

堤 洸太郎

1	瑞陵(愛知)		
2	体育②		
3	広報		
4	やり投	72.88	
4/3	やり投	61.27	①筑大競
4/17	やり投	66.06	②筑大競
5/1	やり投	68.66	①記録突破会
5/20	やり投	68.25	関東IC
6/5	やり投	63.18	学生個人
6/19	やり投	60.01	③筑大競
7/17	やり投	72.88	愛知県選
8/20	やり投	70.84	⑥記録突破会
8/21	やり投	69.77	東海選手権
9/17	やり投	70.31	日本IC
10/23	やり投	63.83	⑥筑大競

西山 藍那

1	帯広農業(北海道)		
2	体育②		
3	競技会		
4	砲丸投	12.08	
	円盤投	49.19	
4/4	砲丸投	12.08	①筑大競
4/4	円盤投	46.19	①筑大競
4/17	砲丸投	12.14	②筑大競
5/1	砲丸投	13.13	①記録突破会
5/2	円盤投	44.62	①記録突破会
5/9	円盤投	46.58	READY STEADY TOKYO
5/21	円盤投	41.20	関東IC
5/23	砲丸投	12.83	関東IC
5/29	円盤投	41.04	③記録突破会
5/30	砲丸投	12.12	③記録突破会
6/6	砲丸投	12.14	学生個人
6/6	円盤投	41.04	学生個人
6/19	砲丸投	12.14	③筑大競
6/20	円盤投	42.93	③筑大競
8/20	円盤投	46.18	⑥記録突破会
8/21	砲丸投	12.09	北海道選
8/22	円盤投	43.85	北海道選
8/27	円盤投	47.23	⑧記録突破会
9/18	円盤投	46.07	日本IC
9/19	砲丸投	11.83	日本IC
10/17	砲丸投	12.44	関甲信
10/18	円盤投	43.32	関甲信
11/7	円盤投	43.88	⑩記録突破会

平岩 志萌

1	旭野(愛知)		
2	体育②		
3	トレーナー		
4	ハンマー投	54.58	
2/14	ハンマー投	49.00	投擲競技会
4/4	ハンマー投	52.57	大川杯
4/17	ハンマー投	52.44	②筑大競
5/2	ハンマー投	54.58	①記録突破会
5/21	ハンマー投	51.78	関東IC
6/4	ハンマー投	50.34	学生個人
6/20	ハンマー投	52.33	③筑大競
7/18	ハンマー投	52.77	愛知県選
8/21	ハンマー投	53.22	⑥記録突破会
8/22	ハンマー投	52.94	東海選手権
9/19	ハンマー投	50.96	日本IC
10/10	ハンマー投	50.45	⑤筑大競
10/24	ハンマー投	48.18	⑥筑大競

宮崎 悠輔

1	明善(福岡)		
2	体育②		
3	トレーナー		
4	砲丸投	11.26	
4/4	砲丸投	10.19	①筑大競
4/17	砲丸投	10.40	②筑大競
5/1	砲丸投	11.26	①記録突破会
6/19	砲丸投	10.49	③筑大競
8/21	砲丸投	10.65	⑥記録突破会
9/11	砲丸投	10.85	関東新人
10/9	砲丸投	10.77	⑤筑大競
10/23	砲丸投	10.63	⑥筑大競

巖 優作

1	市立尼崎(兵庫)	
2	体育①	
3	ユニフォーム	
4	やり投	76.41

4/3	やり投	76.41	①筑大競
4/25	やり投	74.13	兵庫リレーカーニバル
5/1	やり投	73.33	①記録突破会
6/27	やり投	NM	日本選手権

上内 達司

1	香川西(香川)		
2	体育①		
3	トレーナー		
4	砲丸投	14.67	
4/3	砲丸投	13.11	①筑大競
4/4	円盤投	38.02	①筑大競
4/17	砲丸投	13.90	②筑大競
5/1	砲丸投	14.67	①記録突破会
5/2	円盤投	40.11	①記録突破会
5/21	砲丸投	13.53	関東IC
6/27	砲丸投	15.83	U20日本選手権
8/21	砲丸投	13.02	⑥記録突破会
10/9	砲丸投	13.57	⑤筑大競
10/10	円盤投	38.41	⑤筑大競

高孝 美咲

1	旭野(愛知)		
2	体育①		
3	広報		
4	ハンマー投	50.99	
4/17	ハンマー投	44.96	②筑大競
5/2	ハンマー投	46.60	①記録突破会
5/30	ハンマー投	46.95	③記録突破会
6/20	ハンマー投	50.20	③筑大競
7/18	ハンマー投	50.86	愛知県選
8/21	ハンマー投	49.34	①記録突破会
8/22	ハンマー投	50.99	東海県選
9/12	ハンマー投	48.70	関東新人
10/11	ハンマー投	44.34	⑤筑大競
10/17	ハンマー投	46.99	関甲信
10/24	ハンマー投	45.89	⑥筑大競

寺崎 真央

1	山形中央(山形)		
2	体育①		
3	競技会		
4	円盤投	43.22	
4/18	円盤投	41.50	②筑大競
5/2	円盤投	39.50	①記録突破会
5/29	円盤投	43.04	③記録突破会
6/24	円盤投	43.22	U20日本選手権大会
8/7	円盤投	41.24	⑤記録突破会
8/20	円盤投	42.99	⑥記録突破会
9/10	円盤投	38.87	関東新人
10/10	円盤投	39.99	⑤筑大競
10/16	砲丸投	11.39	関甲信
10/17	円盤投	37.39	関甲信
10/30	円盤投	41.23	日体大選手権
11/7	円盤投	40.84	⑩記録突破会

堀内 律子

1	生野(大阪)		
2	国際総合①		
3	データバンク		
4	やり投	52.78	
4/17	やり投	45.86	②筑大競
6/25	やり投	49.57	U20日本選手権大会
7/18	やり投	44.54	大阪府選
8/20	やり投	48.98	⑥記録突破会
9/17	やり投	47.40	日本IC
10/23	やり投	49.78	⑥筑大競

混成ブロック

吉武 理香子

1	浪速高校(大阪)
2	体育学学位プログラム②
3	
4	七種競技 4403
4/3	100mH 15.82(+1.1) ①筑大競
4/3	100mH 15.7(1.7) ①筑大競
4/17	七種競技 3789 ②筑大競
5/1	100mH 15.66(-0.1) ①記録突破会
	15.85(-2.5) ①記録突破会
6/19	走幅跳 5.14(±0) ③筑大競
7/16	100mH 15.5(+0.6) 大阪府選
10/16	100mH 15.6(-0.3) 関甲信

橋本 春菜

1	水戸第二高校(茨城)
2	体育学学位プログラム①
3	
4	七種競技 5288
8/20	七種競技 4688 ⑥記録突破会
9/17	七種競技 4428 全日本IC
10/23	七種競技 4402 ⑥筑大競

小谷 柁太

1	京都教育大学附属高校(京都)
2	体育専門学群④
3	競技会運営委員会
4	十種競技 6436
4/17	十種競技 5959 ②筑大競
8/20	十種競技 6436 ⑥記録突破会
10/23	100m 11.3 ⑥筑大競
	200m 23.39 ⑥筑大競
	300m 36.48 ⑥筑大競
	400m 51.63 ⑥筑大競
	800m 2.09.08 ⑥筑大競
	1500m 4.54.02 ⑥筑大競

池田 涼香

1	鳥羽高校(京都)
2	体育専門学群③
3	データバンク委員会
4	七種競技 5289
4/3	100mH 14.78(+1.1) ①筑大競
	101mH 14.96(+1.7) ①筑大競
	走幅跳 5.54(+1.5) ①筑大競
	砲丸投げ 10.16 ①筑大競
5/22	七種競技 4857 関東IC

尾関 航平

1	向陽高校(愛知)
2	体育専門学群③
3	広報委員会
4	十種競技 6176

山口 泰生

1	土浦第一高校(茨城)
2	生命環境学群生物学学類③
3	競技会委員会
4	十種競技 5379
4/17	十種競技 5083 ②筑大競
5/1	十種競技 5201 ①記録突破会
8/20	十種競技 5201 ⑥記録突破会
10/9	十種競技 5379 ⑤筑大競

大井 悠

1	皇學館高校(三重)
2	体育専門学群②
3	競技会委員会
4	十種競技 6157
8/20	十種競技 6157 ⑥記録突破会

新開 俊智

1	福岡大学附属大濠高校(福岡)
2	体育専門学群②
3	トレーナー委員会
4	十種競技 6331
4/3	100m 11.06(+1.8) ①筑大競
	110mH 15.21(-0.3) ①筑大競
	走高跳 1.90 ①筑大競
4/16	十種競技 5591 ②筑大競
5/1	十種競技 6331 ①記録突破会
5/20	十種競技 6461(値い参) 関東IC
7/10	110mH 14.9(+1.3) 福岡県選
8/20	十種競技 5522 ⑥記録突破会

高橋 辰壽

1	山形中央高校(山形)
2	体育専門学群②
3	広報委員会
4	十種競技

小俣 靖二郎

1	文京高校(東京)
2	体育専門学群①
3	競技会委員会
4	十種競技 5503
10/9	十種競技 5503 ⑤筑大競

竹田 俊輔

1	国際情報高校(新潟)
2	体育専門学群①
3	競技会委員会
4	十種競技 6210
10/9	十種競技 6210 ⑤筑大競

佐藤 康

1	公文国際学園高校(神奈川)
2	総合学域群第一類①
3	トレーナー委員会
4	十種競技

松井 泰誠

1	添上高校(奈良)
2	体育専門学群 ①
3	広報委員会
4	十種競技
4/17	走幅跳 6.85(+0.4) ②筑大競
5/1	走幅跳 7.3(+2.8) ①記録突破会
6/12	十種競技(エニフ競輪) 6380 U20日本選手権混成
9/10	110mH 14.75(+2.1) 関東新人・予
9/11	110mH 14.73(+1.5) 関東新人・決
9/12	走幅跳 6.78(-1.1) 関東新人

筑波大学 歴代10傑

<男子>

100m(電気)

1	10"26	東田 旺洋	2019
2	10"28	山下 潤	2019
3	10"29	魚里 勇介	2016
4	10"30	安孫子 充裕	2009
	10"30	鶴澤 飛羽	2021
6	10"33	成田 敦夫	1995
		品田 直宏	2005
7	10"34	茂木 貴志	2004
8	10"35	齋藤 仁志	2008
		東田 旺洋	2017
10	10"36	佐藤 真太郎	2004

100m(手動)

1	10"2	広田 誠一	1983
2	10"3	成田 敦夫	1996
		品田 直宏	2005
4	10"4	清水 禎宏	1981
		高須 明	1982
		坂口 裕幸	1988
		花田 能人	1988
		五十嵐 幸一	1990
		今村 修	1992
		上田 晃裕	97/98

200m(電気)

1	20"40	山下 潤	2019
2	20"42	齋藤 仁志	2009
3	20"48	安孫子 充裕	2009
4	20"71	新井 智之	2003
		長谷川 充	2006
6	20"80	小野田 貴文	1996
7	20"83	石塚 祐輔	2007
8	20"86	花田 能人	1989
9	20"88	東田 旺洋	2017
10	20"90	齋藤 勇真	2018

400m

1	46"02	成迫 健児	2005
		石塚 祐輔	2009
3	46"23	安孫子 充裕	2008
4	46"31	井上 洋佑	2005
5	46"32	磯部 友晴	1983
6	46"56	佐藤 慧太郎	2009
7	46"57	須藤 隆之	1992
8	46"64	名取 英二	1979
		近藤 崇裕	2013
10	46"65	魚里 勇介	2016

110mH(電気)

1	13"54	大室 秀樹	2012
2	13"57	大橋 祐二	2005
3	13"67	石川 周平	2017
4	13"72	山田 真利	2001
5	13"76	谷川 聡	1998
6	13"77	田野 中 輔	2000

7	13"88	神崎 将吾	2000
8	13"89	富田 学	1996
		田中 新也	2015
10	13"93	斎藤 陽平	2013

110mH(手動)

1	13"6	大橋 祐二	2003
2	13"8	田野 中 輔	1999
3	13"9	杉井 将彦	1983
		金子 公宏	1989
5	14"0	村島 正敏	1988
		神崎 将吾	1999
		山田 真利	1999
8	14"1	劍持 英紀	1982
		広瀬 康典	1988
		富田 学	1994

400mH

1	47"93	成迫 健児	2006
2	48"95	庄形 和也	2005
3	49"59	長尾 隆史	1978
4	49"70	河北 尚広	2001
5	50"02	岩瀧 佑貴	2008
6	50"04	吉松 幸宏	1980
7	50"16	荒川 勇希	2004
8	50"34	加藤 誠也	2014
9	50"37	清田 将史	2008
10	50"38	高橋 壘	2019

800m

1	1'48"19	薄田 健太郎	2020
2	1'48"31	中村 康宏	2012
3	1'48"33	二見 優輝	2021
4	1'48"54	小林 航央	2017
5	1'49"08	竹井 康彦	2004
6	1'49"36	柴田 賢二	2001
7	1'49"53	星野 有	1987
8	1'49"62	南田 航希	2021
9	1'49"70	有松 憧	2019
10	1'49"74	登坂 健志	2018
	1'49"74	才記 壮人	2018

1500m

1	3'41"61	小林 航央	2018
2	3'43"01	森田 佳祐	2017
3	3'44"85	才記 壮人	2018
4	3'45"24	柴田 賢二	2001
5	3'45"57	井内 優輔	2021
6	3'45"76	星野 有	1987
7	3'46"33	三津家 貴也	2019
8	3'47"15	小林 竜也	2021
9	3'48"44	平野 了	1997
10	3'48"55	津田 修也	2015

5000m

1	13'51"97	森田 佳祐	2016
2	13'54"76	西 研人	2020
3	13'54"92	小林 竜也	2021
4	13'55"80	杉山 魁声	2021

5	13'59"81	平山 大雅	2021
6	14'00"67	岩佐 一楽	2020
7	14'01"42	渋谷 俊浩	1984
8	14'03"99	才記 壮人	2016
9	14'04"7	前島 啓一	1994
10	14'05"63	藤田 黎士	2018

10000m

1	28'41"71	岩佐 一楽	2020
2	28'45"9	渋谷 俊浩	1984
3	28'49"24	千葉 信彦	1991
4	28'58"41	西 研人	2020
5	29'08"7	堀尾 典臣	1994
6	29'11"71	福谷 颯太	2021
7	29'13"68	才記 壮人	2017
8	29'16"8	米村 雅幸	1981
9	29'19"02	大城 将範	2006
10	29'20"57	金丸 逸樹	2019

ハーフマラソン

1	1:01'43"	猿橋 拓己	2020
2	1:01'46"	西 研人	2020
3	1:02'57"	岩佐 一楽	2020
4	1'02"58	福谷 颯太	2021
5	1:03'02"	杉山 魁声	2020
6	1'03"38	小林 竜也	2021
7	1:03'45"	大土手 嵩	2020
8	1:03'45"	皆川 和範	2020
9	1:03'53"	山本 泰明	1996
		金丸 逸樹	2019

3000mSC

1	8'33"45	河野 匡	1981
2	8'44"57	松村 匡悟	2021
3	8'47"95	津田 修也	2013
4	8'49"58	前島 啓一	1994
5	8'51"80	杉山 喜一	1979
6	8'52"70	川瀬 宙夢	2019
7	8'52"96	長沼 祥吾	1990
8	8'53"16	才記 壮人	2017
9	8'54"40	保田 教之	1982
10	8'55"82	丹治 史弥	2011

10000mW

1	41'39"83	法元 康二	1998
2	42'08"06	山本 隼汰	2019
3	42'50"48	平川 武仁	1997
4	43'53"05	東 正明	2001
5	44'16"76	丸山潤一郎	1999
6	44'23"39	林 祥太朗	2020
7	44'45"22	佐藤 高嶺	2018
8	44'52"79	奥野 哲弥	2017
9	45'22"43	大竹 良徳	2011
	46'44"49	石川林多郎	2010

4×100mR

1	38"58	中野・山下 東田・斎藤	2019
---	-------	----------------	------

2	39"01	品田・齋藤 石塚・安孫子	2007
3	39"21	安孫子・齋藤 若野・佐久間	2008
4	39"23	金森・山下 東田・魚里	2016
5	39"26	山下・山下 東田・魚里	2016
6	39"28	齋藤・品田 野村・長谷川	2006
		井上・山下	2018
8	39"34	薬師寺・齋藤 茂木・新井	2003
		宮田・岡部	
9	39"41	本田・魚里	2015
10	39"42	東田・河室 安孫子・齋藤 伊丸岡・石塚	2009

4×400mR

1	3'04"38	長谷川・庄形 井上・成迫	2005
2	3'05"55	佐久間・長谷川 岩瀧・成迫	2006
3	3'05"83	佐藤・安孫子 田中・石塚	2009
4	3'06"57	佐藤・田中 渡邊・石塚	2009
5	3'06"76	伊藤・齋藤 生亀・山下	2019
6	3'06"77	安孫子・齋藤 田中・石塚	2007
7	3'06"79	長谷川・庄形 荒川・成迫	2005
8	3'06"91	井上・荒川 庄形・成迫	2004
9	3'07"33	大谷・山下 井上・齋藤	2018
10	3'07"48	佐藤・田中 伊藤・安孫子	2010

走高跳

1	2.28	井上 基央 吉田 孝久 戸邊 直人 衛藤 昂 平松 祐司	1987 1990 2013 2014 2015
6	2.26	福岡 純史	1984
7	2.25	阪本 孝男	1979
8	2.24	海鋒 佳輝 土屋 光	1990 2006
10	2.23	小野 晃司 外堀 宏幸	1987 2000

棒高跳

1	5.52	古澤 一生	2021
2	5.51	木越 清信	1999
3	5.50	横山 学	1997
4	5.45	神谷 晃尚	1982
5	5.40	細野 耕司	1999
6	5.35	船津 哲史 川口 直哉	1993 2008
8	5.30	橋岡 利行	1985

		井村 俊雄 植松 倫理 内山 朋也	2001 2016 2019
--	--	-------------------------	----------------------

走幅跳

1	7.94	嶺村 鴻汰	2014
2	7.91	藤川 健司	2006
3	7.90	志田 哲也	1994
4	7.87	伊藤 信之	1985
5	7.86	品田 直宏	2007
6	7.85	石部 浩章	1993
7	7.82	大村 一光 志鎌 秀昭	1981 2004
9	7.81	宮内 勝史	2017
10	7.75	杉林 孝法 渡邊 容史	1996 2001

三段跳

1	16.98	石川 和義	2004
2	16.92	山下 訓史	1985
3	16.85	山下 航平	2016
4	16.67	渡邊 容史	2001
5	16.61	杉林 孝法	1996
6	16.25	松下 翔一	2012
7	16.21	吉田 孝久	1991
8	16.08	伊藤 太一	2011
9	16.07	銭谷 飛鳥	2004
10	16.02	峰村 信弥	1990

砲丸投

1	17.90	森下 大地	2017
2	17.35	赤間 祐一	2017
3	17.28	村川 洋平	2001
4	17.16	瓜田 吉久	1982
5	16.88	笹川 勝彦	1994
6	16.76	久次米裕介	2012
7	16.61	羽生田 智	2019
8	16.40	辻 明宏	2010
9	16.18	大山 圭悟	1998
10	15.91	上田 徹	1997

円盤投

1	55.85	秋本 啓太	2007
2	53.74	前田 奎	2013
3	53.36	小野 真弘	2013
4	52.56	森本 光彦	1980
5	51.39	宮崎 利勝	2004
6	51.22	山崎 祐司	1978
7	50.54	大谷 亮	2004
8	50.28	長谷川祥大	2019
9	50.09	高橋 史門	2019
10	49.24	瀬上 裕司	1987

ハンマー投

1	70.46	保坂雄志郎	2015
2	66.04	碓井 崇	1999
3	64.38	塩野 寿和	1980
4	63.25	森本 真敏	2007
5	62.98	保谷 志郎	1991
6	62.33	小林 裕季	2021
7	62.10	吉田 健一	1989
8	62.08	岩田 知大	2021
9	61.94	成田 智春	2005

10	61.1	斎藤 貴宏	1997
----	------	-------	------

やり投

1	76.41	巖 優作	2021
2	76.18	中嶋 善寛	2012
3	76.04	宇戸田実也	2001
4	75.38	山田 啓太	2007
5	75.06	荒井 謙	2005
6	74.23	園田 健太	2014
7	73.97	田内 健二	1998
8	73.4	村山 隆之	1995
9	73.18	鈴木 功太	1989
10	73.07	村澤 雄平	2018

十種競技

1	7612	安井 亨	1998
2	7526	大島 雄治	2007
3	7457	樋口 利夫	1995
4	7353	鈴木 亮太	2008
5	7316	谷 浩二郎	2013
6	7285	岩橋 翔太	2008
7	7278	金沢 寛樹	1993
8	7256	志賀 充	1997
9	7236	相澤 翔	2013
10	7216	伊藤新太郎	1999

<女子>

100m(電気)

1	11"64	世古 和	2013
2	11"67	岡部 奈緒	2010
		三浦 由奈	2020
4	11"79	立山 紀恵	2012
5	11"82	中野 瞳	2011
6	11"83	新木 詩乃	2017
7	11"84	伊藤 実紀	1998
		福田 良子	1999
9	11"85	景山 咲穂	2020
	11"85	相馬絵里子	2013

100m(手動)

1	11"8	福田 良子	1999
2	11"9	藤沢 朱美	1988
3	12"0	寺田とも子 茂木 麻子 伊藤 実紀	1978 1995 1999

200m(電気)

1	23"95	岡部 奈緒	2010
2	24"10	植竹万里絵	2005
3	24"20	湯野真由美	2001
4	24"28	立山 紀恵	2012
5	24"29	世古 和	2010
6	24"30	神保 祐希	2014
7	24"32	佐野布由美	2010
8	24"35	馬淵さお美 伊藤 実紀	2008 1998
10	24"46	清山ちさと	2013

400m

1	53"52	松本奈菜子	2018
2	53"84	湯野真由美	2003

7. 筑波大学 歴代 10 傑

3	54"62	松田 絵梨	2012
4	54"85	伊藤 明子	2015
5	54"91	真下まなみ	2012
6	54"97	山地佳寿美	1998
7	54"99	小林 美佳	1996
8	55"08	藤沢 朱美	1988
9	55"41	神保 祐希	2014
10	55"55	山形依希子	1995

100mH(電気)

1	13"22	相馬絵里子	2013
2	13"45	吉田 唯莉	2018
3	13"47	川上小百合	2001
		小林 歩未	2019
5	13"49	清山ちさと	2013
6	13"54	佐々木 天	2019
7	13"55	上田 美鈴	2013
8	13"62	久貝 瑞稀	2012
9	13"64	杉浦 絵里	1999
10	13"66	金子 紗織	2006

100mH(手動)

1	13"9	三宅佐江子	1993
		舟木 香織	1995
		近藤 昭子	1995
4	14"0	岸 沙耶香	2005

400mH

1	57"71	湯野真由美	2003
2	57"81	伊藤 明子	2015
3	58"23	松田 絵梨	2012
4	58"32	山形依希子	1995
5	58"40	野村 有香	2008
6	58"51	宮原 綾	2009
7	58"53	菊地さゆり	1998
8	59"56	青木 利佳	1993
		飯田 祐子	1993
10	59"57	世古 和	2011

800m

1	2'03"45	岡本久美子	1995
2	2'03"52	真下まなみ	2012
3	2'05"39	谷本有紀菜	2012
4	2'06"03	桑城 奈苗	2004
5	2'06"37	平野 綾子	2016
6	2'06"43	品田貴恵子	2008
7	2'07"15	山地佳寿美	1989
8	2'07"54	鳥居多香子	1989
9	2'07"83	川島 美桜	2021
10	2'07"88	檜原 沙紀	2021

1500m

1	4'13"14	岡本久美子	1997
2	4'13"82	檜原 沙紀	2021
3	4'14"5	桑城 奈苗	2003
4	4'19"72	岡本由美子	1997
5	4'21"35	中村真悠子	2013
6	4'23"49	秋山 桃子	2013
7	4'23"74	上野 泰加	2011
8	4'23"94	谷本有紀菜	2012
9	4'23"95	山本 陽子	1993
10	4'24"75	菅野 勝子	2001

3000m

1	9'14"0	桑城 奈苗	2004
2	9'17"0	山中美和子	1997
3	9'20"03	中人 幸子	1994
4	9'24"93	和田 典子	1994
5	9'27"0	山本 陽子	1992
6	9'28"8	岡本久美子	1995
7	9'31"9	初見見由己	1990
8	9'32"4	菅原 美和	1996
9	9'32"70	中村真悠子	2013
10	9'33"87	小澤 紋子	2005

5000m

1	15'23"70	藤永 佳子	2000
2	15'39"86	久馬 悠	2012
3	15'42"39	山中美和子	1997
4	15'42"65	菅原 美和	1997
5	15'48"17	岡本由美子	1998
6	15'50"89	菅野 勝子	2001
7	15'53"15	上田 雪菜	2019
8	15'53"9	和田 典子	1995
9	15'55"34	久馬 萌	2012
10	16'01"55	上野 泰加	2012

10000m

1	31'47"8	藤永 佳子	2001
2	32'34"11	山崎 陽子	1994
3	32'59"64	久馬 悠	2012
4	33'04"08	菅原 美和	1997
5	33' 07" 31	上田 雪菜	2019
6	33'09"01	山中美和子	1997
7	33'20"27	山崎 麻子	2001
8	33'36"18	久馬 萌	2012
9	33'43"28	大森由香子	2012
10	33'45"32	吉田 郁子	2001

3000mSC

1	10'06"43	中村真悠子	2013
2	10'15"25	檜原 沙紀	2021
3	10'34"20	本庄悠紀奈	2021
4	11'04"91	伊藤百合子	2017
5	11' 07" 11	狩野 早耶	2019

5000mW

1	21'49"62	小西 祥子	2003
2	22'13"5	塚田美和子	1995
3	23'11"00	照井 貴子	1999
4	23'18"23	林 唯	2010
5	23'21"05	北見 昌子	1997
6	23'23"30	根岸由紀子	2000
7	23'24"74	越 弓恵	2008
8	23'25"01	秋葉 真弓	2001
9	23'50"4	鈴木 奏美	2005
10	24'00"55	安田加奈子	2002

4 × 100mR

1	44"87	中野・岡部 佐野・世古	2010
2	45"12	中野・岡部 佐野・立山	2009
3	45"27	中野・岡部 阿部・世古	2010

4	45"49	世古・中野 立山・岡部	2010
5	45"67	景山・三浦 小林・檀上	2020
6	45"73	大橋・岡部 馬淵・佐野	2008
		中野・立山	2011
		佐野・阿部	
8	45"76	中野・立山 佐野・清山	2011
9	45"80	立山・山田	2011
		世古・清山	
10	45"84	中野・相馬 世古・清山	2013

4 × 400mR

1	3'39"84	菊川・小林 飯田・新地	1998
2	3'40"23	水口・松田 早狩・真下	2012
3	3'40"29	伊藤・佐々木 薬師寺・松本	2018
4	3'40"60	薬師寺・新木 佐々木・松本	2017
5	3'40"73	伊藤・松田 松原・神保	2014
6	3'41"45	薬師寺・神保 松本・伊藤	2015
7	3'41"72	水口・世古 真下・松田	2011
8	3'41"74	早狩・真下 相馬・世古	2013
9	3'42"33	水口・松田 早狩・真下	2012
10	3'42"56	高野・新地 岸田・山形	1995

走高跳

1	1.84	漆原 延江	1985
2	1.81	松永 知子	1993
3	1.79	新美 直子	1992
4	1.78	河原志津子 川井 未央	1985 1996
		小野 祐子	1998
		藤沢 潔香	2004
		浅井さくら	2020
8	1.76	渡邊 道子	2008
		石原 未来	2000
		小山内るり子	1978
		寺谷 諭美	2015

棒高跳

1	4.20	仲田 愛	2011
2	4.00	榎本 優子	2014
		若園 茜	2019
		塩崎 泉	2021
5	3.90	南野 弥生	2004
		吉原 礼	2005
		有川 星女	2011
8	3.80	藤家 麻鈴	2020
9	3.75	吉岡 真美	2003
10	3.70	生島 弥歩	2014

走幅跳

1	6.39	中野 瞳	2013
2	6.35	高良 彩花	2019
3	6.32	佐藤 緑	1979
4	6.24	高野佳寿美	1984
		佐藤さよ子	1998
6	6.15	井上 裕子	1988
		山田 優	2015
8	6.14	杉浦 絵里	1998
9	6.13	吉岡 美玲	2021
10	6.10	平沢 美樹	1986

三段跳

1	13.20	高良 彩花	2021
2	13.14	劔持クリア	2017
3	13.10	前田 和香	2012
4	12.95	劔持 早紀	2013
5	12.87	菊川 恵子	1999
		荘 久慧	2005
7	12.79	山下 桐子	2021
8	12.76	三浦 茉莉	2011
9	12.69	橋本 梨沙	2018
10	12.61	大坂阿玖里	2009

砲丸投

1	15.18	齋藤 友里	2019
2	15.16	伊知地千奈	2018
3	15.06	美濃部貴衣	2007
4	14.97	山野辺 薫	2008
5	14.95	蛭田 伶菜	2010
6	14.93	佐藤あずさ	2008
7	14.80	飯島 要子	1991
8	14.72	林田真那美	2007
9	14.70	下野 由香	1996
10	14.69	吉田いずみ	2006

円盤投

1	54.46	辻川美乃利	2019
2	54.22	高橋 亜弓	2012
3	51.82	山中みどり	1980
4	51.49	日下 望美	2012
5	51.30	半田 水晶	2019
6	50.85	糸満 みや	2013
7	50.79	林田真那美	2007
8	50.19	池田 理恵	2000
9	50.02	下野 由香	1996
10	48.68	尾野 智子	1993

ハンマー投

1	63.82	勝山 眸美	2016
2	60.89	関口 清乃	2019
3	60.49	渡邊ももこ	2019
4	58.75	江原 宇宙	2017
5	57.04	大崎 かな	2012
6	55.89	黒岩 美怜	2017
7	55.66	金子 泰子	2003
8	55.39	窪田恵利子	2000
9	54.58	平岩 志萌	2021
10	53.31	斎藤 華	2012

やり投

1	58.98	久世 生宝	2013
2	58.78	小島 裕子	1995
3	56.86	桑添 友花	2018
4	56.12	秋元 陽子	1991
5	55.76	柴 奏子	2009
6	55.62	中野 美沙	2004
7	55.44	兵藤 秋穂	2019
8	55.26	水野 千鶴	1985
9	53.64	富樫 時子	1993
10	53.48	岡村 節子	1994

七種競技

1	5573	菊川 恵子	1999
2	5559	平戸安紀子	2002
3	5491	竹原 史恵	2011
4	5424	伊藤 明子	2018
5	5371	生方留美子	1991
6	5367	シュレストまや	2018
7	5302	松原 恵	2014
8	5289	池田 涼香	2019
9	5288	橋本 春菜	2019
10	5251	松永 知子	1995

全日本女子駅伝・富士山女子駅伝への挑戦

筑波大学陸上競技部の女子駅伝チームは、昨年 2021 年 9 月 25 日の第 39 回全日本女子駅伝予選会において第 1 位という結果を残し、7 年ぶりに全日本女子駅伝への切符を、また、5000m 7 名のチーム記録により 8 年ぶりに富士山女子駅伝への切符をつかんだ。そして昨年の 10 月 31 日に開催された全日本女子駅伝、12 月 30 日に開催された富士山女子駅伝に、桐の葉を背負ったランナーたちが帰ってきた。

今回は全日本女子駅伝・富士山女子駅伝出走メンバー 7 人に、当時の心情や今回の結果を踏まえて今後の目標について尋ねた。



駅伝出走メンバーとサポートメンバー、監督（全日本女子駅伝 下段 左から 1 区、2 区……）

区間	全日本女子駅伝	所属	富士山女子駅伝	所属
1 区	榎原 沙紀 (2)	体育専門学群	澤井 柚葉 (2)	体育専門学群
2 区	澤井 柚葉 (2)	体育専門学群	榎原 沙紀 (2)	体育専門学群
3 区	西永 菜津 (4)	体育専門学群	兵藤 柚花 (2)	体育専門学群
4 区	阿部 風薫 (3)	情報学群	本庄 悠紀奈 (3)	体育専門学群
5 区	高橋 香澄 (4)	人文・文化学群	高橋 香澄 (4)	人文・文化学群
6 区	本庄 悠紀奈 (3)	体育専門学群	阿部 風薫 (3)	情報学群
7 区			西永 菜津 (4)	体育専門学群

Q1：駅伝出場が決定したときの心情

(高橋) 4年間目指して来た大会だったのでとても嬉しかった。

(西永) 今年はインカレに出場せず全国駅伝予選にかけた選手が多かった。またインカレに出た選手も強い選手であり、インカレ1週間後でもしっかり合わせてくれた。自分自身もこの全国駅伝予選に向けて実業団合宿を頑張ってきたため今回の結果はみんなの努力が実って本当に嬉しかった。

また、練習から見てこのメンバーなら絶対にいけると思っていたため、無事に予定通り終えて良かったという安堵の気持ちもあった。

(阿部) 〈全日本〉関東予選会では、自分のタイムが想定より遅く、予選通過できないかもしれないという不安があった。しかし、チームのメンバーに助けられ、結果は一位通過だった。予選突破を目標としていたが、一位で通過するとは思っていなかったため、驚きと安堵感があった。〈富士山〉5000mのチーム記録での出場を目指しており、他校の記録と比較して出場できると予想していたが、記録は拮抗していた。無事通過することができ、もう一度、このチームで駅伝に出場できるということに対して、楽しみと全日本のリベンジをしたいという気持ちがあった。

(本庄) 〈全日本〉私が1年生の頃から目指してきた予選を突破するという目標を達成できたという嬉しい気持ちと、予選で選手として出場できずチームに貢献できなかったという悔しい気持ちの2つがあった。

〈富士山〉自身の5000mタイムを17'40"11から、16'48"27まで伸ばすことができ、チームに貢献できたことが素直に嬉しかった。富士山女子駅伝には7名のタイムが必要なため、毎年苦戦していたが、今回は5000mのタイムを狙える選手が複数おり、皆で協力し合って出場権を獲得できたことが嬉しかった。

(樫原) 杜の都、富士山女子駅伝ともに、筑波大学として8年ぶりの出場でありました。日ごろはトラック種目メインで個々で高め合っていた女子パートでしたが、駅伝を目指すことを

チームの目標に設定してから集団での練習を増やし、チームとしての底力の向上を図ってきました。8年ぶりの出場は、単に喜ばしい反面、周囲の方から期待や注目の的となり、責任を感じた面もありました。

(澤井) 2つの駅伝、どちらとも久しぶりの出場だったのでとても嬉しかったです。特に、関東予選会があった全日本大学女子駅伝に出場することが決まったときは、ずっと先輩方とともに目標にしてきた大会だったため、みんなで喜び合ったのを鮮明に覚えています。

(兵藤) 〈全日本〉予選会では自己ベストで走ることはできましたが、目標としていたタイムで走ることはできなかったため、申し訳ない気持ちが強く、出場が決まるまでとても不安でした。しかし、先輩方や同期の走りに助けてもらい、予選会1位で出場を決めることができたのはとても嬉しく、あの瞬間の感動は今でも鮮明に覚えています。

〈富士山〉4年生の先輩方と一緒に駅伝に出場できる最後のチャンスだったので、出場権を獲得できたことは本当に嬉しかったです。ただ、直前の記録会5000mのタイムを伸ばすことが出来ず、迷惑をかけてしまったので、決まった時はほっとしました。チームメイトに助けてもらって出場することができたので、とても感謝しています。

Q2：それぞれの駅伝の感想

(高橋) 全国の舞台で強い選手たちの中で走らせていただきとても貴重な経験だった。

(西永) 全日本駅伝では、独特のあの雰囲気感が高校駅伝してた頃を思い出し、駅伝の楽しさを思い出した。筑波大学のみんなと大きな舞台でチーム一丸となって戦えたことが幸せだった。

富士山駅伝では反省が多く、みんな納得の走りが出来なかった。しかし、こうして2度も全国でみんなと襷を繋ぎあえたことは私にとって本当に掛け替えのない宝物となった。

(阿部) 〈全日本〉全日本に調子を合わせることができ、自信をもってレースに挑んだ。前半か

ら積極的に前の選手を追って走った。初めて全国の舞台で走ることができ、駅伝の楽しさを実感した。しかし、チーム目標を達成できず、全国で勝負するためにはまだまだ力をつけなければならぬと感じた。

〈富士山〉襷を受け取った際、前のチームと30秒ほど差があったため、6kかけて追いつこうと考えてスタートした。前半は予定通り走ることができたが、後半、大幅にペースダウンしてしまった。前の選手たちが繋いできた襷をアンカーに繋ぐことができず、悔しい走りとなった。自分たちの力を出し切れず、駅伝の難しさを感じた。

(本庄) 〈全日本〉予選に選手として出られなかった悔しさを晴らすためにも、順位を落とさないこと・1つでも順位を上げることが意識して走ったが、順位を落とさないという最低限の目標しか達成することができず、悔しい結果だった。14学年の中に全日本大学女子駅伝出場経験者がおらず、皆にとって初めての全日本だった。駅伝特有の序盤の流れの大切さや集団走・単独走への対応などの課題が見つかり、皆にとって貴重な経験となった。

〈富士山〉この大会では駅伝主将を任せて頂いたが、チームをうまくまとめることができず、学年を越えた縦のつながりが弱い中で本番を迎えてしまった。また、チーム目標が曖昧なまま出場してしまったため、23位という結果で終わってしまい、全日本の反省を十分に活かすことができなかった。個人としては、集団から離されてしまい、チームに悪い流れを与えてしまったことが悔しく、来年必ずリベンジしたいと強く思った。

(檜原) 大学の名前を背負って駅伝を走るということは、責任が伴います。また、テレビ放映などでメディアへの露出も多くより多くの方に応援していただける機会です。駅伝に出場するからには、筑波大学として活躍する姿を皆様にお届けすることが使命であり、私自身の目標でもありました。駅伝にむけては、これまで行ったことのないような長距離的なメニューやロード走に取り組み、準備を進めていました。しかし、慣れない練習とトラックシーズンの疲れが出てしまい、思うように練習に取り組むことが

できませんでした。本番のレースでも、序盤の区間に配置していただいたので、チームの流れを作る走りをしたかったのですが、振るわない結果となってしまいました。不甲斐ない走りや、悔しさが残っています。このような結果に終わってしまったのにもかかわらず、ご支援をいただいた多くの方々からねぎらいのことばをかけていただき、応援して下さる方々への感謝を改めて感じました。

(澤井) 全日本大学女子駅伝では、二区を走りました。前半の流れをつくる役割を果たそうと意気込んだのですが、自分の思うようなレース展開にならなかったことが心残りでした。チームの結果も思うような結果にはならず、このまま終わりたいと思ったのと同時に来年リベンジできるように大きくチームも個人も変えていかないと感じました。

富士山女子駅伝は初めての1区を任せていただきました。正直、不安もあり、全日本大学女子駅伝と同様に思ったように走れずに悔いの残る試合となりました。

(兵藤) 〈全日本〉予選会後はけがによって思うように走れなくなり、全日本の舞台で走ることができませんでした。チームも悔しい結果に終わり、自分がけがをしてチームに不安を与えてしまったことに後悔が残っています。しかし、サポートとして選手が走っている姿を見て、富士山女子駅伝では自分もメンバーに入って襷を繋ぎたいという思いがより強くなりました。

〈富士山〉富士山女子駅伝ではメンバーに入って走りましたが、チームに貢献するような走りができず、自分の力のなさを痛感した駅伝となりました。また、チームとしても、襷が繋がらずとても悔しい結果となってしまいました。

Q3：今後の抱負

(高橋) この経験を糧に生きていきたい。後輩たちにはこの悔しさを来年以降に繋げて欲しい！

(西永) 今回の反省を糧に、後輩たちなら必ずやってくれると思うので、頑張ってもらいたい。自分自身もプロ選手として陸上を続けるので後輩

たちに刺激を与えられる選手になれるよう頑張りたい。

(阿部) 今年度は、全日本、富士山ともに久しぶりに出場を果たすことができた。しかしながら、どちらも目標は達成できず、出場しただけとなってしまった。来年度は、今回の経験・反省を踏まえ、応援してくださっている方々に成長した姿を見せられるよう、全国でリベンジしたい。私自身、4年生として最後の挑戦となるため、その責任と覚悟をもって競技に取り組みたい。

(本庄) 昨年は全日本大学女子駅伝、富士山女子駅伝と2つの駅伝出場を叶えることができたが、チーム全体がインカレを目標にしていたため、駅伝までを見据えた練習は年間を通してできていなかった。また、出場するという目標になってしまい、この2つの大会で入賞やシード権獲得などの結果を残せる状態ではなかった。今年はお出場のだけで終わらず、練習の成果を結果で示せるように年間を通した計画性のある練習をしていきたい。

(樫原) チームとしては、来年度も駅伝に出場し10位以上を目指してより一層努力していきたいと考えています。個人としては、トラック種目と駅伝の両方で結果を残すことを目標としています。これまで、自分で攻めるレースができた事はありません。来シーズンは、自分の限界に挑戦するような攻めたレースをし、挑戦してからこそ解る・見える世界を見てみたいと思います。その先に、私の競技人生の最大の目標の世界で戦う選手への道が見えることを信じて、トレーニングに励みたいです。自分自身を信じることは何よりも難しいことだと思いますが、自分の心に従って、貪欲に競技に向き合っていく人間でありたいと思います。

(澤井) 来年もまたリベンジできるように、目標を明確にたて、チームづくりをしていけるようにしたいです。そして、今年の悔しさを晴らせるように、頑張りたいです。

(兵藤) 大変な状況の中で開催していただいたことに感謝の気持ちを忘れず個人としてもチームとしても成長し、出場しただけで終わるのではなく、結果を残せるように取り組んでいきたいと思います。

インカレ優勝者コメント

～関東インカレ～

男子3部総合優勝

投擲ブロックM2 岩田 知大

私は本年度、院生主将（自称）として関東インカレに臨み、見事、男子3部総合優勝を果たすことができました。皆様、本当にありがとうございました。この結果は、共にインカレを戦った院生たちはもちろん、そんな院生たちにまだやれる、まだやりたい、まだやってもいいんだと思わせ、支えてくださったコーチの方々、OB.OGの方々、素敵な後輩たちのおかげです。もはや、皆様の成果といった方が正しいのかもしれない。そう考えると自分のことのように「ありがとう」というのは烏滸がましい気がします。ということで。陸上競技部および関係者の皆様、男子3部総合優勝おめでとうございませぬ。これもこれで他人事すぎて変かもしれません。「ありがとう」、「おめでとう」のどちらでもあり、どちらでもない、そんな感じでしょうか。こんなときにピッタリな言葉があります。「卍イエーイ卍」。きっと、私たちは拍手してお辞儀をする関係ではなく、ハイタッチして握手して、抱擁する関係なのでしょう。それでは気を取り直して。皆様と共にこのような栄誉を手にし、喜びを分かち合えたことを大変嬉しく思います。「卍イエーイ卍」！！

憧れ

跳躍混成ブロックM2 谷内 剣

桐の葉が描かれた水色のユニフォームに憧れ、この競技部の門を叩いてから6年近くが経ちました。最後に憧れを身にまとい、表彰状を受け取れたことを非常に嬉しく思います。

この6年間、この文字数では書き表すことができないほど、たくさんのことを経験させていただきました。高校生の時に地元で活躍し、意気揚々とここへ来ましたが、度重なる怪我やスランプによって過去の自分を超えられない苦しさを嫌というほど味わいました。昔はあれほど好きだった陸上競技が、いつしか、自分を苦し

めるものへと変わっていました。それでも諦めずに競技を継続し、4年ぶりに自己ベストを更新したり、関東インカレ3部で優勝したりすることができたのは、やはり、この筑波大学陸上競技部に対する強い憧れがあったからだと感じます。私は憧れに勝る原動力はないと考えています。この競技部に残る皆様にも、憧れをもてる何かを見つけて欲しいと思います。そうすれば、男女総合アベック優勝も近づいてくるのではないのでしょうか。

最後になりますが、木越先生をはじめとするコーチの皆様、共に切磋琢磨しあった部員の皆様、そして私の夢への挑戦を支援して下さった家族に深く感謝の意を示し、結びとさせていただきます。

筑波での6年間を通じて

投擲ブロックM2 黒住 莉那

陸上競技人生最後のシーズンこそ「チームに貢献できるように」と覚悟を決めて臨んだ両インカレでした。関東インカレではこのように部報に執筆させていただけるだけの成果を出すことができてほっとしています。一方で、この試合の直後、長年痛めていた棘上筋を完全断裂してしまい、目標としていた学生個人選手権と日本インカレを最後まで全力で駆け抜けることができなかつたことだけが心残りではあります。しかしながら、決して楽しいだけではなかつたやり投に全力で取り組み、引退試合の際、「楽しかった」「やりきった」と締め括ることができたのは、筑波大学陸上競技部というチームがあったからこそだと考えております。大山先生、中野先生、投擲ブロックをはじめ多くの方々と関わり合い、切磋琢磨することができたこの6年は、私にとってかけがえのない経験と時間となりました。心より御礼申し上げます。

来年度からは、これまでとは違う立場で陸上競技に関わることとなります。筑波での学びを、新たな世代の糧とすることができるよう、日々精進してまいります。6年間、このチームで陸上競技に取り組めて本当に幸せでした。ありがとうございました。

「青に染まる」ということ

投擲ブロック M2 半田 水晶

この度、関東インカレ2部女子円盤投に出場し、優勝することができました。関東インカレに出場した経験から、強く感じたことは、インカレにおける戦いは、決して一人ではなく、多くの人に支えられたものであるということです。

筑波大学に入学し、対校戦でのみ着用できるユニフォーム、「青桐」の存在を知りました。下級生の頃は、試合に出るだけで精一杯でしたが、上級生になるにつれ、「青桐」を纏うことの意味や先生方を始め、多くの仲間が試合をサポートし、出場者を後押ししてくれていることを強く感じるようになりました。

これまで、陸上競技は個人競技であるという考えが強かった私にとって、「青桐」を纏った経験は、自身の視野を広げる契機となりました。「青桐」を纏い、多くの声援の中、競技できた時間はとても尊い時間でした。また、その中で、チャンスを掴む、競技の難しさも感じました。この先、これだけ多くの人の後押しを受けて、競技をすることはないかもしれません。しかし、この経験から、新天地においても、応援される選手でありたいと強く思いました。そのような選手になれるよう、今後も精進していきたいと思えます。6年間、ありがとうございました。

「関東インカレに出場して」

中長距離ブロック M1 山本 隼汰

この度、関東インカレ3部男子10000mWに出場し、優勝することができました。学群生時から数えて4回目の関東インカレではありましたが、独特な雰囲気や気持ちの昂ぶる舞台というのは初出場から変わっていませんでした。学群4年次の関東インカレはCovid-19感染拡大の影響で対抗戦ではなくなってしまったため、入賞はしたものの点数という形でチームに貢献できなかったことが残念だったのですが、今回初めて3部の総合優勝に点数獲得という形でチームに貢献でき嬉しかったです。これまで支えてくださった先輩・後輩には感謝しかありません。

また、昨年度・今年度はインカレでも、無観客・声援なしで拍手のみという制限での開催と

なりました。そのため、部員全員での集団応援がなく、大変寂しい気持ちになると共に、あの応援がいかに選手を鼓舞するものであったのかを実感しました。

来年度は、桐の葉を背負って戦うことのできる最後の年となります。入学当初からの目標であった全日本インカレで入賞してチームに貢献できるように残り1年邁進していきたいと思えます。

大学院生としてのインカレ

中長距離ブロック M1 重山 源斗

私は今シーズンから大学院生として競技に取り組んできました。関東インカレでは3部となり、1部での得点に貢献できなくなりました。昨年の関東インカレでは2位になることができましたが、コロナ禍の影響により対校戦ではなかったため、なんとなく寂しく感じました。そして今回、3部の得点に貢献することはできなかったものの、やはり筑波大全体の得点に貢献できない歯がゆさを感じました。今年の目標としていた日本インカレに出場することもできず、今年1年筑波大学のインカレでの活躍に貢献することができませんでした。しかし、シーズン後半に辛うじて日本インカレの標準を切り、出場のチャンスを来シーズンに作ることができました。このチャンスを活かし、来シーズンはインカレの得点に1点でも貢献したいと考えています。また私自身、学生陸上に取り組みる最後の年となるので、自分の納得のいく取り組みをして後悔なく締めくくれるよう、日々を大切に過ごしていきたいです。

最後に、マイナーな種目であるにもかかわらず大変な競技会準備や熱い応援をして下さる陸上部の皆さん、親身になって指導して下さい先生方に深く感謝いたします。

関東インカレ優勝コメント

跳躍混成ブロック M1 小木曾 光

関東インカレ男子三部棒高跳に出場し、5m20の記録で優勝することができた。大会当日は追い風が吹いており、身体の調子も非常に良かった。試合中も、“ベスト記録を絶対に跳ぶ”と意気込み、モチベーションを高めた。しかし、

ベスト記録(5m35)に挑戦したものの、跳ぶことは叶わなかった。本試合において、優勝した事はとても嬉しく思ったが、決して満足することはなかった。むしろ、“ここぞ”という大事な場面で最高のパフォーマンスが発揮できない自分の力不足を痛感した。特に助走が安定しないことが、本試合でベストが跳べなかった一要因であった。

関東インカレに向けた練習では、ポールの下ろしを利用した、スムーズな助走の獲得を目標に、ポールドロップや助走練習に励んだ。練習の成果として、助走速度の向上やポールサイズ・握りの向上が認められた。しかし、本試合においては、良い助走を安定して出すことができなかった。今後のトレーニングでは、良い助走を安定して出すために、基礎練習を怠らず、応用練習の中で良い動きを反復し“動きの自動化”を目指していく。

新たなスタート

短距離障害ブロック M1 村富 浩太郎

私は昨年、順天堂大学を卒業し、筑波大学大学院に進学しました。新たな環境でのスタートで不安もありましたが、指導者や仲間にも恵まれ、研究や競技に打ち込むことができています。この機会をお借りして感謝申し上げます。関東インカレでは満足のいく記録ではありませんでしたが、優勝という形で筑波大学に貢献することができました。しかしながら、全日本インカレでは個人種目が9位、マイルリレーも10位と非常に悔しい結果に終わりました。この関東インカレでの優勝と全日本インカレでの0点を、ただの経験で終わらせるのではなく、自身の成長につながる糧としていきます。

小学2年生から始めた陸上競技も今年で一区切りです。かけっこが大好きだった当時の思い、陸上競技での学び、そして関わってきた方々への感謝を忘れずに、残り少ない競技生活を有意義なものにしていきます。16年間の集大成として、全日本インカレ優勝と県記録(49"90)の更新を目標に精進していきます。今後ともよろしく願いいたします。

関東インカレ総括-大学院生からの視点-

投擲ブロック M1 池川 博史

関東インカレにおきまして男子3部部砲丸投げ、男子3部槍投げで優勝することができました。また筑波大学大学院は総合1位も獲得することができました。これも日頃から応援していただいているOBOG会の皆様や先生のご指導あつての結果だと感じております。

今年から大学院生になり今まで体験してきたインカレとは一味違う大会になりました。出場選手が極端に少なく3投しか投げられないという条件のもと競技に挑みました。自己ベストには程遠い結果にはなりましたが無事2つとも優勝できよかったです。

また今回は院生として自分は後輩たちに何ができるのかを考えていました。自身の競技を頑張り後輩たちに魅せることも大切ではありますが後輩たちの試合中の動画撮影、即時的なフィードバックや悩みの相談などでも今大会中は頑張ろうと思いました。学群生の時より視野を広げてチーム、ブロックを見渡して何ができるのかを考えることができるようになりました。それと同時に学群生の時にできていればと感じました。

コロナ禍でチーム内での関わりが薄れていっている現状でブロック、チーム全体を見られる人間は少ないと思います。一人でも多くチームやブロックの意識を生むためにも院生としてやるべき役割は競技結果以外の面でも大きいのではないかと感じられる大会になりました。

「あと一步」

跳躍混成ブロック 3年 高良 彩花

私にとって関東インカレは、大学に入って初めてタイトルを手にした思い出深い試合です。そんな関東インカレも気づけば3回目を終えて、残すところあと1回となりました。昨年の関東インカレが10月開催であったことも相まって、時の流れを早く感じ、より一層日々を大切に丁寧に過ごさなければならないと強く実感しています。

今年も天候に恵まれない中での試合となり、目標としていた自己ベストの更新は達成できず、試技内容も納得のいかない結果となりました。

た。しかし、記録的な悔しさは残ったものの、今後の跳躍へのヒントを掴めたことや無事に3連覇を達成できたことは自信に繋がりました。特に、日々共に切磋琢磨してきた同期の活躍や応援に心強さを感じ、自分の可能性を信じて思い切った跳躍をすることができたと思います。

来年の関東インカレは4年間の集大成として、関東学生記録及び大会記録の更新を達成し、4連覇を果たします。また、挑戦できる環境に感謝し、来年こそは有言実行できる1年にします。

～日本インカレ～

「三度目の正直」

跳躍混成ブロック3年 高良 彩花

全日中の優勝、インターハイの3連覇。連覇が続くほど欲が深くなるもので、大学でも4連覇してやろう、そう意気込んで入学しました。しかし、1年目は2位、2年目は4位と理想や期待からかけ離れた結果に自信を無くしかけていました。そんな中、念願の日本インカレでの優勝を果たすことができ、シンプルですが諦めずに継続することの大切さを改めて実感しました。

今シーズンは試合当日になると、日本選手権での両足が痙攣するアクシデントをフラッシュバックしてしまい、大きな試合では力を発揮することができませんでした。記録の面で悔しさが残りましたが、同時にピットに立つまでがピーキングであると学びました。

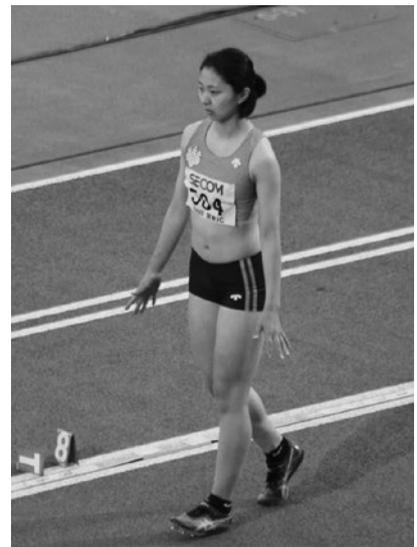
身体の感覚や動きに対して少し敏感になりすぎたことで、余計な意識や心配をしてしまうことも増えてきましたが、今まで取り組んできたことが徐々に実を結びつつあります。いつでも自己ベストを更新できる準備はできているので、来シーズンは自分自身を誇りに思える結果を残します。

今シーズンも多くの方々に支えていただき、競技に向き合うことができました。本当にありがとうございました。

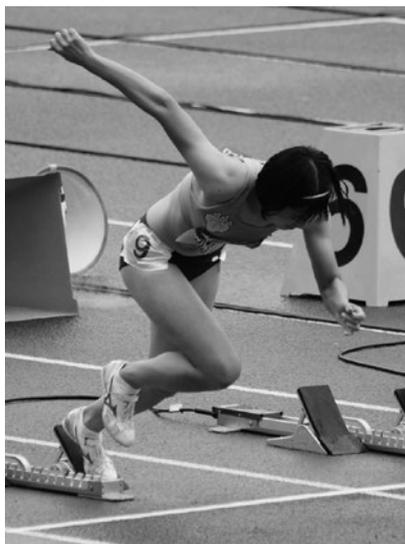
努力は人を裏切らない

跳躍混成ブロック1年 古澤 一生

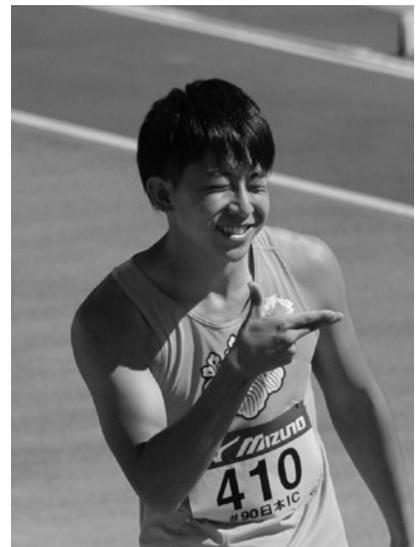
私は昨年9月に行われた第90回日本学生陸上競技対校選手権大会において、初優勝を果たす事が出来ました。しかし、大学一年生最後の大会で有終の美を飾る事が出来るまでには過酷な試練がありました。私は筑波大学に入学する前に腰痛に悩まされており、高校三年生の終わりから大学一年生の春頃までほとんど跳躍練習を積むことができない状態でした。ようやく痛みが少なくなってきた頃には目標としていた日本選手権は目前となっており十分に練習を積む事無く出場した結果、メダル獲得は疎か入賞さえも出来ないという情けない結果に終わってしまいました。その後残された大会は日本インカレしかなく、私は絶対に結果を残したいという気持ちで練習に励みました。これまで怪我で出来なかった全助走での跳躍練習を最低でも週に1～2回取り入れ、自分なりに補強練習も考えてまずは選考会に臨みました。すると、それまで5m30も頻繁に跳べていなかった私が5m52の筑波大新記録を樹立する事が出来たのです。そしてそのまま勢いに乗った私は日本インカレのタイトルも獲得する事が出来ました。私がこの苦しい試練を乗り越える事が出来たのは両親をはじめ、支えてくださった方々のおかげであると思っています。来シーズンは、日本インカレ連覇は勿論、世界大会の出場も大きな目標の一つとして頑張りたいです。



左上から右へ、アヒンバレ (投擲④)、檜原 (中長②)、塩崎 (跳躍③)、井内 (中長④)、吉岡 (跳躍④)
高良 (跳躍③)、山下 (跳躍④)



左上から右へ、吉田（短障④）、宮内（跳躍④）、古澤（跳躍①）、三浦（短障②）、執行（投擲②）、
児玉（跳躍④）



左上から右へ、柴田（跳躍③）、渡邊（投擲③）、小林（投擲④）、小林（中長③）、杉山（投擲④）、松田（跳躍③）



左上から右へ、松村（中長③）、菅野（短障①）、村富（短障M①）、石原（投擲②）、池田（短障②）、小松（投擲③）



左上から右へ、八重樫（跳躍①）、南田（中長②）、兵藤（投擲④）、本多（中長④）、中谷（中長④）

筑波大学陸上競技部 規約・諸規程

筑波大学陸上競技部規約

第1章 総則

(名称および事務局)

第1条 本競技部を筑波大学陸上競技部と称し事務局を筑波大学内に置く。

(目的)

第2条 本競技部は、陸上競技の技能の向上を図り、学生競技者精神の高揚と、部員相互の親睦を深めることを目的とする。

(活動)

第3条 本競技部は、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 本学学長に対し、部活動の申請を行い、かつ、体育会が行う事業に参加、もしくは、これらに協力する。
- (2) 年間計画に基づき、合同練習、合宿練習等を行う。
- (3) 日本学生陸上競技連合ならびに関東学生陸上競技連盟に加盟するとともにこれらの団体が行う事業に参加、もしくは、協力する。
- (4) 対校競技会、各種競技会を開催し、もしくは、これらに参加する。
- (5) 陸上競技に関する研究会、講習会等を開催、もしくは、これらに参加する。
- (6) 入部式、送別会、各種代表選手激励会等を行う。
- (7) その他、本競技部の目標達成に必要な一切の活動を行う。

第2章 組織

(組織)

第4条

-1 本競技部は、短距離、障害、中・長距離、跳躍、投擲、混成の6競技ブロックをもって、組織する。

-2 本競技部は、第1項の他に運営執行部及びユニフォーム、広報、トレーナー、データバンク、競技会運営の5つの委員会を設ける。

(新たな組織、委員会、チームの設置)

第5条

-1 本競技部は、必要に応じて、新たな組織・委員会・チームを設けることができる。

-2 新たな組織・委員会・チームの設置は、役員会の議を経て部員総会において決定する。

第3章 部員の資格および義務

(部員の資格)

第6条 本競技部に入部できる者は、本学学群学生および大学院生にして第2条の目的に賛同する者とする。

(入部の手続)

第7条 本競技部に入部を希望する者は、所定の様式により入部届を提出し、部長の

承認を得るものとする。

(休部について)

第8条 部員にして休部を希望する者は、所定の様式により休部届を提出し、部長の承認を得るものとする。

(退部の手続)

第9条 部員にして退部を希望する者は、所定の様式により退部届を提出し、部長の承認を得るものとする。

(部員の義務)

第10条 部員は、本規約を遵守するとともに、定められた入部金、部費等を納入しなければならない。

第4章 役員

(役員)

第11条 本競技部に次の役員を置く。

- | | |
|------------------|-------|
| (1) 部長 | 1名 |
| (2) 副部長 | 若干名 |
| (3) 顧問 | 若干名 |
| (4) 監督 | 1名 |
| (5) コーチ | 若干名 |
| (6) アシスタントコーチ | 若干名 |
| (7) コーチアシスタント | 若干名 |
| (8) プレーイングコーチ | 若干名 |
| (9) チームドクター | 若干名 |
| (10) マネージメントスタッフ | 若干名 |
| (11) 監事 | 若干名 |
| (12) 主将 | 1名 |
| (13) 主事 | 男女各1名 |
| (14) 会計 | 2名 |
| (15) ブロック長 | 6名 |
| (16) 委員会・チーム代表 | 若干名 |
| (17) 副主将 | 1名 |
| (18) 運営執行部幹事 | 若干名 |
| (19) 副会計 | 4名 |
| (20) ブロック主事 | 6名 |
| (21) 学年代表 | 若干名 |
| (22) 体育会運営委員 | 1名 |

(役員を選任と職務)

第12条

-1 部長は、本学教員中より役員会の議を経て部員総会において推挙する。

-2 部長は、本競技部の活動を統括するとともに、本競技部を代表する。

第13条

-1 副部長は、本学教員中より部長の推薦を経て役員会において推挙する。

-2 副部長は、部長を補佐し、部長に事故があるときはその職務を代行する。

第14条

-1 監督は、本学教員中より役員会の議を経て部員総会において推挙する。

-2 監督は、本競技部の活動を指導するとともに、これを監督する。

第15条

- 1 コーチは、部長、監督、主将、主事の合議を経て役員会において推挙する。
- 2 コーチは、主として担当するブロックの活動を指導する。

第16条

- 1 アシスタントコーチは、部長、監督、担当コーチ、主将、主事の合議を経て役員会において推挙する。
- 2 アシスタントコーチは、担当コーチを補佐する。

第17条

- 1 コーチアシスタントは、部長、監督、担当コーチ、主将、主事の合議を経て役員会において推挙する。
- 2 コーチアシスタントは、担当コーチ・アシスタントコーチを補佐する。

第18条

- 1 プレイングコーチは、部長、監督、担当コーチ、主将、主事の合議を経て役員会において推挙する。
- 2 プレイングコーチは、競技者として競技活動を遂行するとともに、担当コーチ・アシスタントコーチ・コーチアシスタントを補佐する。

第19条

- 1 チームドクターは部長の推薦を経て役員会において推挙する。
- 2 チームドクターは部員の疾病・障害への対応、およびその他の医療に関する助言を行う。

第20条

- 1 監事は、部長の推薦を経て役員会において推挙する。
- 2 監事は、本競技部の財務を監査する。

第21条

- 1 本競技部に顧問を置くことができる。顧問は、部長の推薦を経て役員会において推挙する。
- 2 顧問は、本競技部の重要事項について部長の諮問に応ずる。

第22条

- 1 本競技部にマネジメントスタッフを置くことができる。マネジメントスタッフは、部長の推薦を経て役員会において推挙する。
- 2 マネジメントスタッフは、主として本競技部の運営について部員を指導する。

第23条

- 1 主将は、次年度の最高学年者中からの候補者に対し、部員総会で部員による投票を行い、過半数を獲得したものが選出され、部長の承認を得て決定する。
- 2 前項の投票において、いずれの候補者の獲得票数も過半数に満たない場合、上位2名による決選投票を行う。
- 3 主将は、部員の活動を統括するとともに、部員を代表する。

第24条

- 1 主事は、原則として運営執行部員のうち次年度の最高学年者中から男女1名ずつ部員

総会で部員による投票を行い、過半数を獲得したものが選出され、部長の承認を得て決定する。

- 2 前項の投票において、いずれの候補者の獲得票数も過半数に満たない場合、上位2名による決選投票を行う。
- 3 主事は、主将を補佐し、本競技部の業務を担当する。

第25条

- 1 会計は、原則として前年度の副会計のうち次年度の最高学年中から男女1名ずつ役員会において決定する。
- 2 会計は、本競技部の財務を担当する。

第26条

- 1 ブロック長は、各ブロックにおいて1名選出する。
- 2 ブロック長は、ブロック内を統括するとともに、ブロック員を代表する。

第27条

- 1 委員会・チーム代表は、委員会、チーム内において1名選出する。
- 2 委員会・チーム代表は、委員会、チーム内の活動を統括するとともに、委員会、チームを代表する。

第28条

- 1 副主将は、次年度の最高学年者中から（本規約第23条に基づき主将に選出されるものを除く）候補者に対し、部員総会で部員による投票を行い、過半数を獲得したものが選出され、部長の承認を得て決定する。
- 2 前項の投票においていずれの候補者の獲得票数も過半数に満たない場合、上位2名による決選投票を行う。
- 3 副主将は主将を補佐する。
- 4 主将と副主将は対校競技会などにおいて男女の主将として、その任を果たす。

第29条

- 1 運営執行部幹事は、運営執行部員のうち次年度の最高学年者中より学生役員会の議を経て部員総会において選出する。
- 2 運営執行部幹事は、主事を補佐する。

第30条

- 1 副会計は、各学年部員中よりそれぞれ男女1名ずつ役員会において決定する。
- 2 副会計は、会計を補佐する。

第31条

- 1 ブロック主事は、各ブロックにおいて1名選出する。
- 2 ブロック主事は、各ブロック内の庶務を担当するとともに、主事およびブロック長を補佐する。

第32条

- 1 学年代表は、各学年部員中よりそれぞれ選出する。
- 2 学年代表は、役員会および学生役員会に当該学年の意思を反映させる。

(役員任期)

- 第33条 部長、副部長、顧問、監督、コーチ、アシスタントコーチ、コーチアシスタント、プレイングコーチ、チームドク

ター、マネージメントスタッフ、監事の任期は、2ヶ年とし、それぞれの任期は、会計年度に準ずる。なお留任は妨げない。

第34条 主将、主事、会計、ブロック長、委員会・チーム代表、副主将、運営執行部幹事、副会計、ブロック主事、学年代表、体育会運営委員の任期は1ヶ年とし、それぞれの任期は会計年度に準ずる。

(役員)の補充)

第35条

- 1 役員に欠員が生じた場合は、当該役員の選出方法に基づき補充することができる。
- 2 補充により選出された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)の任免)

第36条 役員)の任免は、部長が行う。

(役員)の報酬)

第37条 役員は、本競技部の業務に関し、報酬を受けることができない。

(体育会)執行委員および運営委員)

第38条 体育会)執行委員は役員会において部員中より選出する。任期および期間は体育会の定めるところによる。

第39条 体育会)運営委員は役員会において部員中より選出する。任期および期間は会計年度に準ずる。

(学生)連盟役員)

第40条 関東学生)陸上競技連盟に派遣する学生役員(候補者を含む)は、役員会において選出する。任期および期間は、当該連盟の定めるところによる。

第5章 会議

(会議)の種類)

第41条 本競技部)に次の会議を置く。

- (1) 部員)総会
- (2) 役員)会
- (3) コーチ)会議
- (4) 学生)役員会
- (5) 主事)会
- (6) 計画)推進会議
- (7) その他)の会議

(部員)総会)

第42条 部員)総会は、本競技部の最高議決機関とし、毎年次の事項を審議するために開催し、主将がこれを招集するとともに次の事項を付議するものとする。

- (1) 事業)計画
- (2) 予算)
- (3) 事業)報告
- (4) 決算)報告
- (5) 役員)の選出
- (6) 規約)・細則等の制定および改廃
- (7) その他)競技部の重要事項

(臨時)部員総会)

第43条

- 1 前条)の規定にかかわらず、部長が必要を認めた場合、または、部員の3分の1以上の書面による要求があった場合、主将は、臨時

部員)総会を招集しなければならない。

- 2 臨時)部員総会は、要求のあった日から30日以内に開催しなければならない。

(部員)総会の通知、成立、議決、議長)

第44条

- 1 部員)総会の招集は、原則として1週間前までに会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面を掲示しなければならない。
- 2 部員)総会に出席できない者は、所定の様式により欠席届を提出し、主将の承認を得なければならない。
- 3 部員)総会は、部員の3分の2以上の出席をもって成立する。
- 4 部員)総会の議決は、出席部員の過半数の同意を必要とする。
- 5 部員)総会の議長は、主将とする。

(役員)会)

第45条

- 1 役員)会は、部長、副部长、監督、コーチ、アシスタントコーチ、コーチアシスタント、プレイングコーチ、チームドクター、マネージメントスタッフ、監事、主将、主事、会計、ブロック長、委員会・チーム代表、副主将、運営執行部幹事、学年代表、体育会運営委員によって構成する。ただし副会計は、予算案、決算報告の際は、構成に含む。
- 2 役員)会は、部長が必要に応じて招集するとともに、次の事項を付議する。

- (1) 事業)計画案
- (2) 予算)
- (3) 事業)報告
- (4) 決算)報告
- (5) 規約)・細則等の制定および改廃案
- (6) 代表)選手選考
- (7) 受賞)者選考
- (8) その他)本競技部の重要事項

(役員)会の通知、成立、議決、議長)

第46条

- 1 役員)会の招集は原則として1週間前までに会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。
- 2 役員)会は、構成員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 役員)会の議決は、出席役員の過半数の同意を必要とする。
- 4 役員)会の議長は、部長とする。

(コーチ)会議)

第47条 コーチ)会議は、監督、コーチ、アシスタントコーチによって構成する。

(コーチ)会議の通知、成立、議長)

第48条

- 1 コーチ)会議は、本競技部活動に関する指導について協議する。
- 2 コーチ)会議の招集は、原則として1週間前までに会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。
- 3 コーチ)会議は、構成員の3分の2以上の出席により成立する。
- 4 コーチ)会議の議長は、監督とする。

(学生役員会)

第49条

- 1 学生役員会は、主将、主事、会計、ブロック長、委員会・チーム代表、副主将、運営執行部幹事、ブロック主事、学年代表および体育会運営委員によって構成し、議長は主将とする。ただし副会計は、予算案、決算報告の際は、構成に含む。
- 2 学生役員会は、本競技部の運営上の重要事項について協議する。

(主事会)

第50条

- 1 主事会は、主事、会計、運営執行部幹事、副会計、ブロック主事によって構成し、議長は主事とする。
- 2 主事会は、本競技部の運営上の業務的問題点について協議する。

(計画推進会議)

第51条

- 1 計画推進会議は、主事または運営執行部幹事と議題の検討に必要とされる役員によって構成し、議長は主事または運営執行部幹事とする。
- 2 計画推進会議は、本競技部の運営上の問題点・改善点に関する発議に応じて招集され、協議する。

(その他の会議)

第52条 その他の会議については、別途細則で規定するものとする。

第6章 練習

(練習)

第53条 本競技部の練習は、短距離、障害、中・長距離、跳躍、投擲、混成の6競技ブロックに分かれて実施する。

(練習計画)

第54条 ブロック長は、監督、コーチの指導のもとに練習を計画し、これを実行する。

(練習の参加)

第55条

- 1 部員は、合同練習、合宿練習、ならびに行事等に参加しなければならない。
- 2 全体集合・練習参加不能の場合は、事前にコーチ、ブロック長の承認を得なければならない。
- 3 行事参加不能の場合は、事前にコーチ、ブロック長の承認を得て主事に欠席届を提出するものとする。

(練習に要する費用)

第56条 練習に要する費用は、原則として部員の自弁とする。

第7章 財務

(財務の構成)

第57条 本競技部の歳入は、次の通りとする。

- (1) 部費
- (2) 事業収入
- (3) 雑収入
- (4) 寄付金
- (5) 繰越金

(6) その他

第58条 本競技部の歳出は、次の通りとする。

- (1) 総務費
 - (2) 事業費
 - (3) 予備費
 - (4) その他
- (会計年度)

第59条 本競技部の会計年度は、毎年12月1日に始まり、翌年11月30日に終わる。

第8章 賞罰

(賞罰の対象、警告)

第60条

-1 本競技部は、部員に対して次の賞罰をあたえることができる。

- (1) 本学学生、または、陸上競技部員として名誉ある活動をした者に対して、これを表彰する。
- (2) 本学学生、または、陸上競技部員としての名誉を棄損する行為をした者に対して、これを除名する。
- (3) 部員にして、本規約に示された義務を履行しない時は、警告を発し、その後を除名することがある。

-2 賞罰は、役員会において決定する。ただし、警告については、監督、主将の合意により、監督が発することができる。

第9章 規約の改正

(規約の改正)

第61条 本規約の改正は、部員総会において、出席部員の3分の2以上の同意を必要とする。

第10章 補則

第62条 本規約の施行について、必要な事項は別途細則で規定するものとする。

第63条 本規約は、昭和12年12月23日より施行する。

昭和59年12月24日一部改正

昭和60年12月23日一部改正

昭和61年12月24日一部改正

昭和62年12月23日一部改正

昭和63年11月16日一部改正

昭和63年12月21日一部改正

平成元年12月22日一部改正

平成6年3月23日一部改正

平成8年12月21日一部改正

平成11年12月12日一部改正

平成14年11月8日一部改正

平成22年12月20日一部改正

平成24年12月14日一部改正

平成25年12月24日一部改正

平成26年12月23日一部改正

令和3年10月24日一部改正

事務規程

第1章 総則

(総則)

第1条 この規程は、筑波大学陸上競技部規約第4章第24条-3に基づいて、業務の運営に関するものを定めるものとする。

第2章 事務局の機構及び業務

(事務局の機構)

第2条

-1 事務局に運営執行部、会計係を置き、主事がこれを総括する。

-2 前項のほか、各ブロック主事係を置く。

(運営執行部の業務)

第3条 運営執行部は以下の業務を処理する

- (1) 庶務・渉外に関する業務
- (2) 学内競技会に関する業務
- (3) OB・OG会に関する業務
- (4) 施設用器具に関する業務
- (5) 体育会に関する業務

(庶務・渉外に関する業務)

第4条

-1 運営執行部は、次の庶務に関する業務を処理する。

- (1) 役員の委嘱に関する事。
- (2) 規約、その他、諸規程に関する事。
- (3) 部員総会、その他、会議および式典に関する事。
- (4) 表彰に関する事。
- (5) 連絡先一覧作成に関する事。
- (6) 合宿に関する事。
- (7) 入試への協力に関する事。
- (8) 研究会に関する事。
- (9) 入部手続きに関する事。
- (10) 高校総体および国民体育大会等の視察に関する事。
- (11) その他、他の係に属さないこと。

-2 運営執行部は、次の渉外に関する業務を処理する。

- (1) 関東学生陸上競技対校選手権大会、日本学生陸上競技対校選手権大会に関する事。
- (2) 東京箱根間往復大学駅伝競走、全日本大学駅伝対校選手権に関する事。
- (3) 関東学生競技会に関する事。
- (4) 関東学連および日本学連との折衝に関する事。
- (5) 茨城陸協および日本陸連との折衝に関する事。

(学内競技会に関する業務)

第5条 運営執行部は、次の学内競技会に関する業務を処理する。

- (1) 筑波大学で行われる筑波大競技会、関東学生競技会および対校戦開催に関する事。

(OB・OG会に関する業務)

第6条 運営執行部は、次のOB・OG会に関する業務を処理する。

- (1) 陸上競技OB・OG会との折衝に関するこ

と。

- (2) 陸上競技OB・OG会会員への資料発送に関する事。

(施設用器具に関する業務)

第7条 運営執行部は、次の施設用器具に関する業務を処理する。

- (1) 競技場、器具庫の管理に関する事。
- (2) 備品監査に関する事。
- (3) 器具購入および修理に関する事。

(体育会に関する業務)

第8条 運営執行部は、次の体育会に関する業務を処理する。

- (1) 体育会との折衝に関する事。

(会計系の業務)

第9条 会計係は、次の業務を処理する。

- (1) 予算ならびに決算に関する事。
- (2) 収入および支出に関する事。
- (3) 部費、入部金徴収に関する事。
- (4) 体育会決算報告に関する事。
- (5) 特別会計に関する事。

(ブロック主事系の業務)

第10条 ブロック主事係は、次の業務を処理する。

- (1) ブロック内の活動計画の企画に関する事。
- (2) 合宿の企画、運営に関する事。
- (3) ユニフォーム委員会の活動賛助。

第3章 本規程の改正

第11条 本規程の改正は、本競技部の規約第9章第61条に準ずるものとする。

附則 この規程は、昭和58年11月19日より施行する。

昭和60年12月23日一部改正

昭和61年12月24日一部改正

平成元年12月22日一部改正

平成11年12月12日一部改正

平成14年1月24日一部改正

平成22年12月20日一部改正

平成25年12月24日一部改正

表彰規程

第1章 総則

第1条 この規程は、筑波大学陸上競技部規約第8章第60条に基づいて表彰に関する事項を定めるものとする。

第2章 賞の種類

第2条 本競技部に、次の賞を設ける。

- | | |
|--------------|-----|
| (1) 最優秀選手賞 | 各1名 |
| (2) OB・OG会賞 | 若干名 |
| (3) 優秀選手賞 | 若干名 |
| (4) 特別賞 | 若干名 |
| (5) 敢闘賞 | 若干名 |
| (6) 努力賞 | 若干名 |
| (7) 功労賞 | 若干名 |
| (8) 筑波大学新記録賞 | 若干名 |

- (9) 筑波大学タイ記録賞 若干名
- 第3条 最優秀選手賞は、優秀選手のうち、最も活躍が顕著であり、かつ部員として他の範となった者で、原則的に男女各1名に与えるものとする。
- 第4条 OB・OG会賞は、最優秀選手に準ずる活躍をした者のうち、最高学年及び大学院生を除く者に与えるものとする。
- 第5条 優秀選手賞は、関東学生陸上競技対校選手権大会（東京箱根間往復大学駅伝競走）、日本学生陸上競技対校選手権大会（全日本大学駅伝・全日本大学女子駅伝）、で2回優勝、もしくはそれに相当する活躍があり部員として他の範となったものに与えるものとする。
- 第6条 特別賞は、本競技部に特別に貢献したものに与えるものとする。
- 第7条 敢闘賞は、関東学生陸上競技対校選手権大会（東京箱根間往復大学駅伝競走）、日本学生陸上競技対校選手権大会（全日本大学駅伝対校選手権・全日本大学女子駅伝対校選手権）もしくは、これらに相当する競技会において初入賞した者に与えるものとする。
- 第8条 努力賞は、本競技部に在籍している期間を通じて、競技において顕著な努力が認められ、部員として他の範となったものに与えるものとする。
- 第9条 功労賞は、部の運営等に顕著な功績があり、かつ部員として他の範となった者に与えるものとする。
- 第10条 筑波大学新記録賞は、筑波大学記録を更新した者に与えるものとする。
- 第11条 筑波大学タイ記録賞は、筑波大学タイ記録を出した者に与えるものとする。

第3章 受賞者の決定

- 第12条
- 1 受賞候補者は、原則として、各ブロックまたは各委員会・チームから推薦するものとする。
- 2 受賞者の推薦は、所定の様式により、毎年2月1日までに役員会に提出するものとする。
- 第13条
- 1 受賞者は、役員会において決定するものとする。
- 2 最優秀選手賞、OB・OG会賞、優秀選手賞、特別賞、努力賞については、原則として重複して与えないものとする。

第4章 本規程の改正

- 第14条 本規程の改正は、本競技部の規約第9章第61条に準ずるものとする。

附則 この規程は、昭和58年11月19日より施行する。
昭和60年12月23日一部改正
昭和63年11月16日一部改正
平成3年11月25日一部改正
平成7年3月20日一部改正

平成14年1月24日一部改正
平成22年12月20日一部改正
平成26年12月23日一部改正

懲罰規程

第1章 総則

(総則)

- 第1条 この規程は、筑波大学陸上競技部規約第8章第60条に基づいて、懲罰に関する事項を定めるものとする。

第2章 罰

(懲罰の種類)

- 第2条 本競技部の懲罰は、除籍、部活動の停止及び警告とする。

(懲罰の対象)

- 第3条 懲罰は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。
- (1) 性行不良で改善の見込みがない者。
 - (2) 正当な理由がなく、出席常でない者。
 - (3) 部費その他の支払うべき金銭を2ヶ月以上滞納している者。
 - (4) 本競技部の秩序を乱し、もしくは本競技部の名誉を著しく棄損した者。

(発議の検討)

- 第4条
- 1 主将は、部員が懲罰の検討の必要があると判断される行為を犯した場合、懲罰委員会を招集し懲罰の必要の有無を検討しなければならない。
- 2 懲罰委員会は、その問題が発覚した日から30日以内に招集しなければならない。
- 3 前項の行為を犯した部員は、懲罰委員会に出席して、事情説明、釈明することができる。

- 第5条 懲罰委員会で懲罰の必要ありと決定された場合、主将は、これを役員会に図らなければならない。

(決定)

- 第6条 懲罰は、役員会において決定し、部長がこれを行う。

第3章 委員会

- 第7条 懲罰委員会は、原則として、部長、監督、主将、主事、関係コーチ、ブロック長で構成し、議長は主将とする。

第4章 報告

- 第8条 懲罰において除籍が決定した場合、主将は部員に、これを報告しなければならない。

第5章 本規程の改正

- 第9条 本規程の改正は、本競技部の規約第9章第61条に準ずるものとする。

附則 この規程は、昭和58年11月19日より施行する。
平成22年12月20日一部改正

ユニフォーム委員会規程

第1章 総則

第1条 この規程は、筑波大学陸上競技部規約第2章第4条-2に基づいて、ユニフォーム委員会に関することを定めるものとする。

第2章 目的

第2条 本委員会は、部員に対して、本競技部指定のユニフォーム等の選定、トレーニングウェア・シューズ等を斡旋するものとする。

第3章 業務

第3条 ユニフォーム委員会は、前条の目的を達成するため、次の業務を行うものとする。

- (1) 本競技部のユニフォーム等の選定。
- (2) 桐葉ユニフォームの作成、ならびに提供。
- (3) トレーニングウェア・シューズ等の斡旋。

第4章 委員

第4条 ユニフォーム委員会に、次の役員を置く。

- (1) 委員長1名
- (2) 委員若干名

第5条

- 1 委員長は、ユニフォーム委員会で選出する。
- 2 委員は、各ブロックから1名以上選出することが望ましい。

第6条

- 1 委員長は、ユニフォーム委員会を代表し、業務を統括する。
- 2 委員は、委員長を助け、その業務を行う。

第5章 委員会

第7条 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、その議長を務める。

第6章 本規程の改正

第8条 本規程の改正は、本競技部の規約第9章第61条に準ずるものとする。

附則 この規程は、昭和58年11月29日より施行する。

昭和59年12月24日一部改正

昭和60年12月23日一部改正

昭和61年12月24日一部改正

平成22年12月20日一部改正

広報委員会規程

第1章 総則

第1条 この規程は、筑波大学陸上競技部規約第2章第4条-2に基づいて、広報委員会に関することを定めるものとする。

第2章 目的

第2条 本委員会は、部報の発行を中心に、本競技部の各種活動の広報を行うことを目的とする。

第3章 業務

第3条 広報委員会は、前条の目的を達成するため、次の業務を行うものとする。

- (1) 部報発行
- (2) 部内外に対する広報活動

第4章 委員

第4条 広報委員会に、次の役員を置く。

- (1) 委員長1名
- (2) 委員若干名

第5条

- 1 委員長は、広報委員会で選出する。
- 2 委員は、各ブロックから1名以上選出することが望ましい。

第6条

- 1 委員長は、広報委員会を代表し、業務を統括する。
- 2 委員は、委員長を助け、その業務を行う。

第5章 委員会

第7条 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、その議長を務める。

第6章 本規程の改正

第8条 本規程の改正は、本競技部の規約第9章第61条に準ずるものとする。

附則 この規程は、昭和59年12月24日より施行する。

昭和60年12月23日一部改正

昭和60年12月24日一部改正

平成22年12月20日一部改正

トレーナー委員会規程

第1章 総則

第1条 この規程は、筑波大学陸上競技部規約第2章第4条-2に基づいて、トレーナー委員会に関することを定めるものとする。

第2章 目的

第2条 本委員会は、部員に対して、スポーツ障害の処置、予防に関する活動、およびその援助を行うことを目的とする。

第3章 業務

第3条 トレーナー委員会は、前条の目的を達成するために、次の業務を行うものとする。

- (1) 年間のトレーナー勉強会を通じての、トレーナーに必要な知識、技術を習得する。
- (2) 日常の練習前にトレーナー活動を行う。

- (3) 関東学生陸上競技対校選手権大会、日本学生陸上競技対校選手権大会、関東甲信越大学体育大会、東京箱根間往復大学駅伝競走、全日本大学女子駅伝対校選手権等の主要な試合でトレーナー活動を行う。
- (4) 各ブロックの合宿、遠征等でトレーナー活動を行う。

第4章 委員

第4条 トレーナー委員会に、次の役職を置く。

- (1) 委員長1名
- (2) 委員若干名

第5条

- 1 委員長は、トレーナー委員会で選出する。
- 2 委員は、各ブロックから1名以上選出することが望ましい。

第6条

- 1 委員長は、トレーナー委員会を代表し、業務を統括する。
- 2 委員は、委員長を助け、その業務を行う。

第5章 委員会

第7条 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、その議長を務める。

第6章 本規程の改正

第8条 本規程の改正は、本競技部の規約第9章第61条に準ずるものとする。

附則 この規程は、昭和61年12月24日より施行する。

昭和62年12月23日一部改正

平成22年12月20日一部改正

データバンク委員会規程

第1章 総則

第1条 この規程は、筑波大学陸上競技部規約第2章第4条-2に基づいて、データバンク委員会に関することを定めるものとする。

第2章 目的

第2条 本委員会は、本競技部に関する情報の収集を中心に、広く部に関する情報の整理及び管理に協力し、また、委員による研究を推進するものである。

第3章 業務

第3条 データバンク委員会は、前条の目的を達成するために、次の業務を行うものとする。

- (1) 部員名簿の作成。
- (2) 記録集の発行。
- (3) 競技会運営への賛助。
- (4) 日常の記録集計活動。
- (5) データ収集等に関する研究活動。

第4章 委員

第4条 データバンク委員会に、次の役員を置く。

- (1) 委員長1名
- (2) 委員若干名

第5条

- 1 委員長は、データバンク委員会で選出する。
- 2 委員は、各ブロックから1名以上選出することが望ましい。

第6条

- 1 委員長は、データバンク委員会を代表し、業務を統括する。
- 2 委員は、委員長を助け、その業務を行う。

第5章 委員会

第7条 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、その議長を務める。

第6章 本規程の改正

第8条 本規程の改正は、本競技部の規約第9章第61条に準ずるものとする。

附則 この規程は、昭和61年12月24日より施行する。

平成22年12月20日一部改正

競技会運営委員会規程

第1章 総則

第1条 この規程は、筑波大学陸上競技部規約第2章第4条-2に基づいて、競技会運営委員会に関することを定めるものとする。

第2章 目的

第2条 本委員会は、本競技部が主催する競技会の運営をし、それを通して競技の場を広めるものとする。

第3章 業務

第3条 競技会運営委員会は、前条の目的を達成するために、次の業務を行なうものとする。

- (1) 競技会における運営
- (2) 学外への競技会周知
- (3) 競技会運営に関する研究活動
- (4) その他目的を達成するための業務

第4章 委員

第4条 競技会運営委員会に、次の役員を置く。

- (1) 委員長1名
- (2) 委員若干名

第5条

- 1 委員長は、競技会運営委員会で選出する。
- 2 委員は、各ブロックから1名以上選出することが望ましい。

第6条

- 1 委員長は、競技会運営委員会を代表し、業

務を統括する。

-2 委員は、委員長を助け、その業務を行う。

第5章 委員会

第7条 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、その議長を務める。

第6章 本規程の改正

第8条 本規程の改正は、本競技部の規約第9章第61条に準ずるものとする。

附則 この規程は、平成11年12月1日より施行する。

平成22年12月20日一部改正

筑波大学陸上競技部 会計内規

【制定目的】

- ・ 具体的な予算枠組み作成のための指針とする
- ・ 臨時支出に対する指針の作成
- ・ 会計規則の部員への周知徹底と、より円滑な活動への発展

【前提】

- ・ 全体会計規則は年度毎に見直しを行う。
- ・ 主事会（規約第5章第44章参照）において、会計内規の見直しを行う。
- ・ 会計内規は第二回役員会の承認（予算承認時）をもって施行され、その後の部員総会で報告される。

【内容】

<歳入>

○部費について

基本的に年間20,000円とする。但し、事業計画に基づいた全体の歳出に対し歳入が極端に少なく、部の運営に支障をきたすことが予想される場合は、部長、監督、主事、会計の話し合いを行ない、万が一その額に前年度からの変更があった場合は部員総会で議決を行ない、部員の3分の2以上の承認を得て施行される。

<歳出>

○部費負担について

競技部運営に関する歳出に関しては全額全体会計で負担する。各種項目は以下に示す。

1. 交通費について

- 1-1. 代表委員総会、代表者会議等
全額全体会計で負担する。
- 1-2. 対校戦(部員全員参加;関東IC,全日本IC等)における主事、運営執行部員、トレーナー
上記の者に関して、車を使用する場合は全額全体会計で負担する。その他の交通手段を用いた場合は個人負担とする。
- 1-3. 上記以外の対校戦、対校戦以外における主事、運営執行部員、トレーナー、審判・補助員派遣
移動手段に関わらず全額全体会計で負担する。但し、選手と兼任する場合は個人負担とする。
電車利用の場合は、原則つくばまたは研究学園駅から最寄り駅までの往復分を負担する。
大会で移動費が支給される場合は、支給された移動費は一般会計に組み込む。

1.4. 各種視察

「視察について」の項目参照

1-5. 貸切バス利用

選手は三割程度を全体会計で負担する。

1-6. 駅伝の試走交通費

一回分のみ三割程度を全体会計で負担する。

2. 宿泊費について

- 2-1. 対校戦(部員全員参加;関東IC,全日本IC等)
選手、主事、運営執行部員、トレーナー
上記の者に関して三割程度を全体会計で負担する。
但し、全員宿泊の場合は全体会計での負担はしない。

2-2. 上記以外の対校戦

選手は三割程度を全体会計で負担する。主事、運営執行部員、トレーナー、審判・補助員は全額全体会計で負担する。

2-3. 対校戦以外

選手は個人負担とする。運営執行部員、トレーナーが派遣される場合は全額全体会計で負担する。

2-4. 各種視察

「視察について」の項目参照

2-5. 推薦入試合格者研修

合宿所（または他の宿泊施設）に宿泊する部員の宿泊代は全額全体会計で負担する。

3. 運搬費について

- 3-1. 対校戦における槍、ポール等
全額全体会計で負担する。
- 3-2. 対校戦以外（青桐着用）における槍、ポール等
上記の試合においては三割程度全体会計で負担する。
- 3-3. 対校戦以外（青桐を着用しない）における槍、ポール等
上記の試合においては個人負担とする。

4. 視察費について

コーチ、主将、副主将、主事、運営執行部員の宿泊代、交通費等の必要経費は全額全体会計で負担する。但し、上記の者以外で全体会計での負担を希望する場合は、予算作成の段階で主事へ理由を添えて申し出ることを条件とする。

5. ブロック強化費について

前年度のブロック決算、及び当年度のブロック人数、ブロック別事業計画等に基づいて、主事及び会計の話し合いにおいて決定される。この案件はブロック長、ブロック主事の合意をもって成立し、5月中に配分される。

6. 海外遠征激励金について

部員が日本陸連・学連等の機関で選出され各種海外遠征を行なう場合、激励金として該当者一人につき一万円を支給する。特例として、世界選手権及びオリンピックは激励金として五万円を支給する。該当者は部長、監督及び主事に事前に遠征内容についての報告を行なった上で支給されるものとする。

7. 破損、修理費について

7-1. 競技会、主事携帯電話の修理費

競技会、主事携帯電話を破損し、修理費または購入費が掛かる場合、全額全体会計で負担する。但し、使用者に破損の過失がある場合、五割全体会計で負担するが、残りの五割は該当者負担とする。

7-2. 車の破損、故障の修理費

部の活動の範疇で個人の車を利用し、所持者がその車を破損または事故を起こした場合、全体会計で負担は行わない。

上記2点について、個人の過失か否か等を判断するため役員会を開催し、その役員会で承認を得ることができれば、負担額はこの限りではないものとする。

8. その他

事前に予算で組まれていない祝賀会や各種イベントが行われた場合は、その特別会計を決算で報告しなければならない。

協賛企業団体一覧

鍼										舎	
金			の		馬					結	
め	ん	と	る	ス	テ	ー	シ	ョ	ン	つ	く
ク			ラ		レ			ッ			ト
免	キ	ラ	☆	つ	く	ば	ベ	ー			ス
ハ			ン			ア					リ
ア			ジ		ア		住				販
j	u		p		i	t	e				r
鍼	灸	接	骨	院	I	W	A	M	O	T	O
お	持	ち	帰	り	処	仲					々
肉				八							や
夢											屋
あ					じ						彩
中	島	モ	ー	タ	ー	サ	イ	ク			ル
む			じ			ゃ					き
と					よ						助
T	H		E			S		U			N
ド					ル						フ
か					つ						大
ふ			く			ろ					う
プ	リ		ム		ロ		ー				ズ
印					晶						堂

鍼舎

鍼舎(ハリシャ)では、鍼・灸・マッサージ・指圧・その他各種電気治療器を用いて以下のような症状や痛みに対して治療をしていきます。

- | | | |
|--------------------------------|-------|--|
| ■アスリートの怪我に対するケア・試合前後のコンディショニング | ※局所治療 | ：痛みのある部分を局所的に治療。(30~40分) |
| ■肩こり・腰痛・五十肩など日常から身体におこる様々な不調 | ※全身治療 | ：全身マッサージ。
※試合前のコンディショニング
全身疲労など。(50~60分) |
| ■テニス・ゴルフなど各種スポーツ活動による疲労感や怪我の痛み | | |

治療を行う際、事前のカウンセリングをじっくり行うことで、一人一人の症状に対する訴えや、原因を把握し、その症状に最適な治療を進めていきます。

また、治療に加え、補強トレーニングや自宅でも出来るセルフケア方法等もお教えしています。早期復帰・再発予防の為、様々な方向からアプローチし、総合的にサポート致します。



電話：029-863-6077

住所 〒305-0005

つくば市天久保3-15-3

タイショウマンション102

診察時間：AM10:00~PM8:00

最終受付：PM7:30

※要予約



金バケ飯で金をとれ！ 全品大盛り無料

辛さが選べます
麻婆豆腐

※水曜定休日
台湾めし

※その他、多数メニューあり◎

うまくいかない日、調子がいい日、パツとしない日…
どんな時でも皆さんを応援しています！

金の馬結 きんのばけつ



テイクアウトも
やっています！

↓↓詳しくはコチラ↓↓



Twitter



Instagram



HP

つくば市天久保2丁目15-7

TEL: 029-879-7283

運転免許の専門店

合宿免許

通学免許

めんどる
ステーション



店頭で相談できる!
ご予約・お支払いも!



運転免許相談の他にも、いろいろ便利! 楽しい!

イベントスペースとして



サークル・部活の
ミーティングルームとして



カフェスペースや
勉強スポットとして



ご相談はお電話または公式ラインで!

☎ 029-869-9230



営業時間 / 11:00~20:00 定休日 / 金曜

茨城県つくば市天久保2-7-19 つくば大学平砂宿舎入口正面になります。

LINE公式アカウント



喫茶・定食
クラレット

お重
定食
お弁当

自分ができると自分で思える努力

17:30 - 22:30 定休日 土曜

〒305-0005
天久保3丁目10-6
029-852-0425

喫茶・定食
クラレット

「筑波大学陸上競技部」を応援します



いつもご利用ありがとうございます

免許でキラリ☆
ツチキョー
土浦自動車学校

【お問い合わせ先】

免キラ☆
つくばベース

LINE WORKS イコ-コロシク

TEL 0120-154649

〒305-0853 茨城県つくば市南大谷1-1-1



LINE WORKS

いつもご利用いただきありがとうございます。

右のQRコードより友達登録後、「筑波大陸上部の〇〇です」とお知らせください。筑波大様の料金をご案内いたします。



免許相談、
ご予約の手数料かかりません



安心の教習所直営
(指導員が窓口相談担当)

免許でキラリ☆グループは



いつもご利用ありがとうございます

免許でキラリ☆ カミツク

上筑波自動車学校

【お問い合わせ先】

免許でキラリ☆ つくばベース

TEL 0120-154649

〒305-0853 茨城県つくば市大塚3-108



LINE WORKS

いつもご利用いただきありがとうございます。

右のQRコードより友達登録後、「筑波大陸上部の〇〇です」とお知らせください。筑波大様の料金をご案内いたします。



免許相談、
ご予約の手数料かかりません



安心の教習所直営
(指導員が窓口相談担当)

炭火焼肉・韓国料理

ハンアリ

11:00 - 14:30
17:00 - 24:00

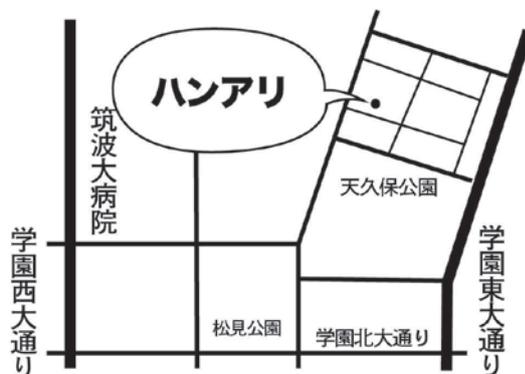
<http://www.nikuyaku.com>

●営業時間 11:30-14:30 17:00-24:00

●月曜定休

宴会等のご予約承ります ご気軽にご相談ください

029-875-4989



学生様のお部屋探し 大歓迎

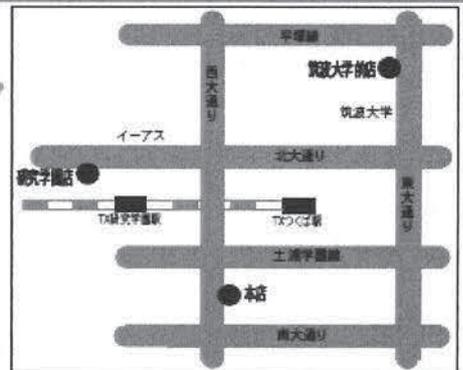
アパートマンション・テナント情報センター

株式会社 **アジア住販**

筑波大学周辺の物件多数
年中無休のサービス
いつでも内覧できます

お問
合
わ
せ

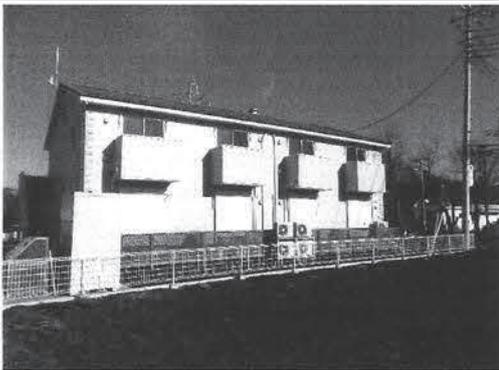
本 店 029-856-2298
筑波大学前店 029-860-2298
研究学園店 029-855-2298
URL <http://www.asiajyuhan.co.jp>



住まい賃貸
ハウスマイト



ア
パ
ー
ト
か
ら



多
数
の
物
件
を



マ
ン
シ
ヨ
ン
ま
で



取
り
揃
え
て
お
り
ま
す。



つくばの全てのゲストに『綺麗』を届ける。
【綺麗とは何か?】をテーマにjupiterでは全ての
ゲストに「最先端の技術」「最小限のダメージ」
「最大限の再現性」をお届けします。一人一人の
骨格、髪質にあわせたスタイルを提案。前回よりも
美しいスタイルを。一緒に「最高」に「最カワ」な
スタイルを作りましょう!

茨城県つくば市天久保

1-7-2浪漫通り1丁目

-TEL-

029-886-8856



jupiter will never be completed.
It will continue to grow as long as there is dreams left in the world
All our dreams can come true, if we have the courage to pursue them.
I only hope that we don't lose sight of one thing.



『人生を良いものにするお手伝いができる治療院』

これまでたくさんの患者様やスポーツ選手を診てきた中で、ケガによって目標を諦めてしまった方、ケガをきっかけに一回りも二回りも大きく成長した方。そういった方々にたくさん出会ってきました。

できることなら皆様に後者になって頂きたい。

ケガや不調の大小に関わらず苦しいことであるからこそ、そこにどう向かい合い、乗り越えていくか、その考え方や取り組み方が非常に大切になってくると思います。

「鍼灸接骨院 IWAMOTO」というツールを通して、

「人生が変わった」、「あきらめていた目標にもう一度挑戦してみようと思った」、「新しい夢ができた」と言って頂けるような、人生を良いものにするお手伝いができる治療院になりたいと思います。

そして、皆様や子供たち、私たちの夢が溢れる、地域に愛される治療院になれるように努力致します。



鍼灸接骨院 IWAMOTO

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 2-10-23

 029-898-9877



お持ち帰り処

ゆの

**出来立ってお弁当をテイクアウト！
看板メニューはてんこ盛り唐揚げ弁当！**

☎029-896-8283

つくば市春日4丁目20-1

11:00～14:00 17:00～22:00 火曜定休

ご注文をいただいてからお作りするので、事前の電話注文をお勧めします。
オードブル、まとまった数でのお弁当の御予約も内容やご予算に応じて承ります！

炭火焼肉 ホルモンの店



TEL 029-856-2989

[月、水、木、金、土、祝日]
11:30~14:30 (14:00L.O)
17:00~23:00 (22:00L.O)

[日曜日]
17:00~23:00
(22:00L.O)

定休日 火曜日



〒305-0067 茨城県つくば市館野5-1

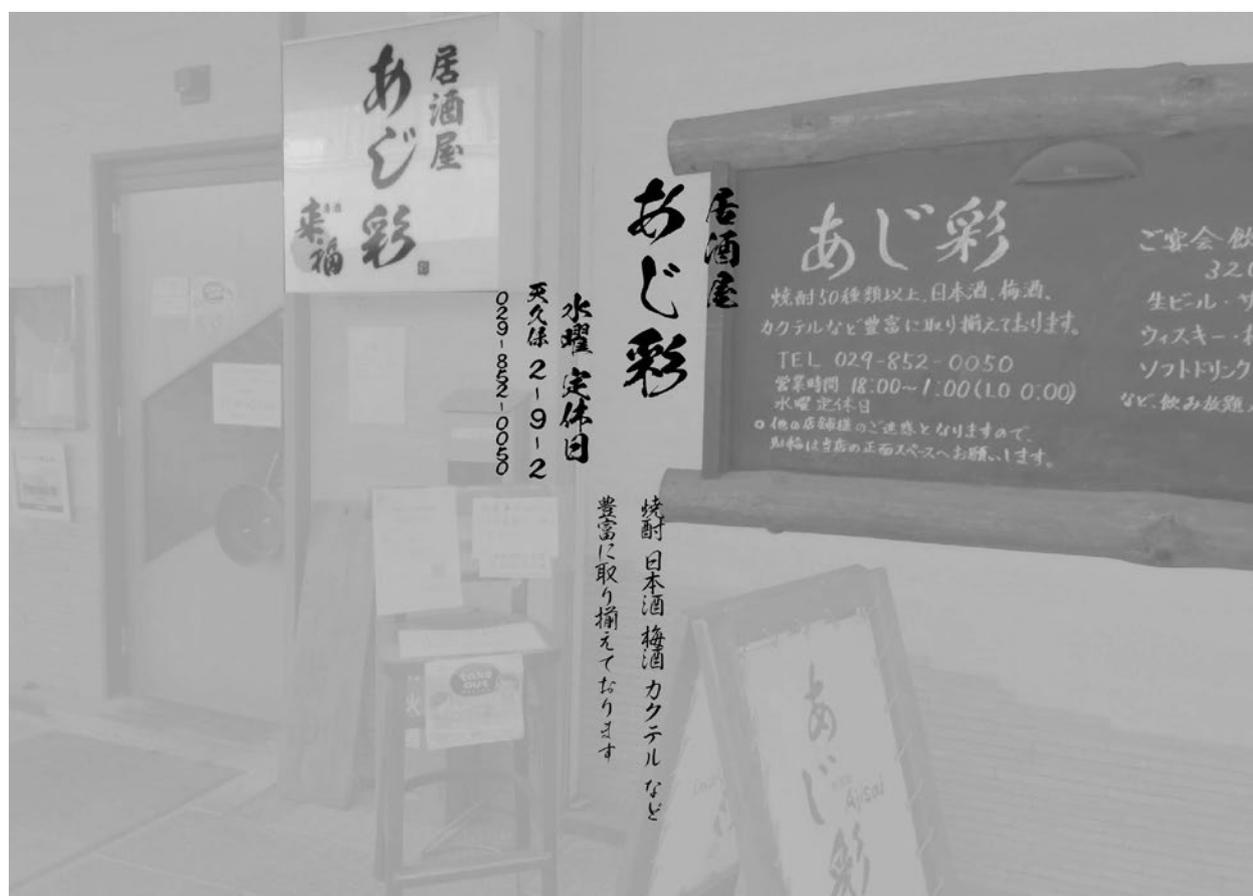


頑張れ！！筑波大学陸上競技部！！
走れ！跳べ！投げろ！
食べろ！

夢屋

つくば市春日4丁目4-5

TEL 858-0668



—筑波大学と歩いて43年、

中島モーターサイクル

原付販売 / 自転車修理 / メンテナンス

MOTOR CYCLE
NAKAJIMA

TEL:029-851-9777

〒305-0005

茨城県つくば市天久保3丁目8-8



追い飯付、大盛無料でお腹いっぱい！

女性一人でも入りやすいおしゃれ空間！

追い飯付、大盛無料でお腹いっぱい！

限定メニューが頻繁に出るから楽しい！

卓上の豊富な調味料で自分好みに味変！

リーズナブルに1000円以下で大満足！

11:30 ~ 14:30, 18:00 ~ 22:00 毎日営業！

☎029-896-8988

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 2-10-19



とよい助

七輪炭火焼 とよ助
茨城県つくば市天久保 1-15-9,10
☎029-879-5010
営業時間 PM 18:30 ~ PM 24:00

THE SUN

ガスト 東雲
西大通り
とんかつ かつ大 スタジオ アリス
養生堂
#つくば美容室 THE SUN

Instagram
〒305-0033
つくば市東新井 13-3
中村ビル2F
Tel: 029-875-9227 the_sun0614

COFFEE LUNCH DORF

ドルフ

〒305-0005
茨城県つくば市天久保3丁目8-6
☎029-845-7434
11:00 ~ 15:00
18:00 ~ 22:00
(土曜夜・日曜定休)
Twitter : @dorf_tsukuba

とんかつ弁当

かつ大

大次

●日曜定休●
AM10:30 ~ PM10:00
つくば市天久保3-13-3
TEL 029 (853) 7953
日曜：予約注文弁当承ります

第1学群 平塚線
東大通り
大学会館
かつ大
平塚線
筑波大学 陸上競技場
平砂・追越

名物 元祖 つくばの味

大まるとり串焼



つくばの野鳥

秘伝の香味だれと独自の塩をベースに独自にブレンドした塩を使用して焼き上げました

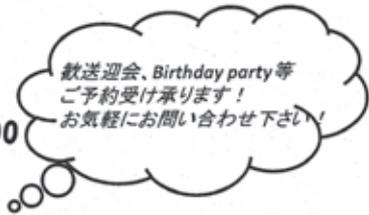
Tel: 029-851-6550
炭火串焼専門店 ふくろう

スリムローズ

Primrose



- 営業時間●
Am 11:00~pm 3:00
/ pm 5:00~pm 10:00
- 定休日●
毎週月曜日



つくば市春日3丁目-10-11 メソードつくば1F
※筑波大学付属病院近く！
TEL 029-856-1185

・認印等の在庫確認をいたしますので
お気軽にお電話でお問合せ下さい。
・珍しいお名前・カタカナ・ローマ字
で作成できます。(別注品¥1,000より)



みとめ印



印章・ゴム印
印刷・合カキ

印晶堂

TEL 029-854-0997

FAX 029-854-0674

〒305-0005 つくば市天久保3-13-3 (筑波大学側)

[https:// www.inshoudo8583.com](https://www.inshoudo8583.com)

編集後記

日頃より筑波大学陸上競技部をご支援いただき誠にありがとうございます。広報委員長の塩崎泉です。本年度も無事に部報第36号が完成し、皆様のお手元に届けることができました。完成までにご協力いただいた前田印刷株式会社様をはじめ、ご寄稿くださったコーチングスタッフや部員の皆様、ご協賛いただいた企業の皆様に心より感謝申し上げます。

本年度の特集では「全日本女子駅伝・富士山女子駅伝への挑戦」を掲載させていただきました。7年ぶりの全日本女子駅伝、8年ぶりの富士山女子駅伝での奮闘の様子を出走メンバーに語っていただきました。

本年度も新型コロナウイルスの影響により無観客試合など、変則的な運営形態での実施となったためインカレの写真集などを通して選手の活躍をお伝えできましたら幸いです。

本年度の広報活動としましては、昨年同様、HP、SNSを用いた活動発信の充実を通して筑波大学陸上競技部の魅力や学生の活躍を多くの方々へお届けしていきたいと考えております。最後になりますが、部報作成にあたり原稿や広告の収集に奔走してくださった広報委員の皆さん、各データをご提供くださった関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

筑波大学陸上競技部
広報委員長
塩崎 泉

データバンク委員会
(代表) 井海 雅之

筑波大学陸上競技部 部報 第36号

令和4年3月1日発行

編集者 筑波大学陸上競技部 広報委員会

(代表) 塩崎 泉

筑波大学陸上競技部 データバンク委員会

(代表) 井海 雅之

発行者 筑波大学陸上競技部 部長 尾縣 貢

〒305-0031 茨城県筑波学園郵便局私書箱18号

印刷所 前田印刷株式会社 筑波支店

宣揚歌

作詞 大和資雄（一番・二番）

大山信郎（三番）

作曲 不明

桐の葉は 木に朽ちんより

秋来なば 先駆散らん

名のみなる 廢墟を捨てて

醒めて起て 男の子ぞ我等

日の本の 教の庭に

いと高き 学舎ありと

人ぞ知る 茗溪の水

よし涸れよ 濁さんよりは

年を経て 百年すぎぬ

今ここに 水は濁るとも

新泉は 筑波の麓に

いざ左たん 若人われら